

岡山県がん診療連携拠点病院 院内がん登録報告書

2017年版



2020年3月

発行：岡山県がん診療連携協議会事務局（岡山大学病院）

写真提供：岡山県観光連盟

目 次

はじめに	3
岡山県院内がん登録の概況	4
2017 年岡山県院内がん登録集計対象等	5
参加施設（13 施設）・担当者	6
岡山大学病院	8
岡山済生会総合病院	11
岡山赤十字病院	14
岡山医療センター	17
倉敷中央病院	20
川崎医科大学附属病院	23
津山中央病院	26
金田病院	29
高梁中央病院	32
岡山労災病院	35
岡山市立市民病院	38
川崎医科大学総合医療センター	41
倉敷成人病センター	44
岡山県院内がん登録 全登録数・初回治療数 集計結果	48
胃	60
大腸	66
肝臓	72
肺	78
乳房	84
膵臓	90
子宮（頸部）	94
子宮（体部）	98
前立腺	102
血液腫瘍	106
（奥付）	

はじめに

2017年版岡山県院内がん登録集計結果報告書を上梓いたします。本報告書は国指定の“がん診療連携拠点病院”7施設と“地域がん診療病院”2施設、さらに岡山県指定の“がん診療連携推進病院”4施設において、2017年にかん診療を受けた約17,000件の情報を集計したものです。比較が可能な2016年のデータを参照すると、これら13病院全体での院内がん登録件数はおよそ74%を占めており、岡山県のがん患者の受療動向とがん診療の実績を示していることになります。

2017年版は2016年版に引き続き希少がん、AYA（Adolescent and Young Adult、思春期・若年成人）世代・小児がんについての統計を記載するとともに、新たな試みとして院内がん登録データが比較可能な2015～2017年間の比較、診断時居住地域による受療動向に焦点を当てた統計を追加しています。また、施設別集計の最初に各病院長から市民へのメッセージを記載して頂きました。本報告書の作成にあたり、岡山県がん診療連携協議会がん登録部会の皆様、ならびに岡山大学病院院内がん登録室の皆様に多大なご協力を賜りました。末尾になりますが、深謝申し上げます。

岡山大学病院腫瘍センター

センター長 田端 雅弘

岡山県院内がん登録の概況

2017 年の全登録数は 2016 年の約 16,000 件からおおよそ 1,000 件増加していますが、70 歳以上の高齢でのがん罹患数の増加のみならず、就労年齢にある壮年期での罹患も同程度に増加しています。罹患数の多い 5 大がん（胃・大腸・肝臓・肺・乳がん）に比して、いわゆる希少がんもこの年代での罹患が多く、今後のがん対策において AYA 世代・就労年齢のがん患者に対する「がんとの共生」を支援する取り組みの必要性がうかがわれる結果でした。

発見時の居住地を二次保健医療圏毎にみると、5 大がんの罹患割合は医療圏間ではほぼ同様でした。しかし、発見経緯からみると、肺がんにおいては医療圏間に検診発見の比率に差を認めないものの、その他のがんでは医療圏間で検診発見の比率に若干の違いが認められます。受療動向を発見時居住地からみると、高梁・新見保健医療圏の 78%、真庭保健医療圏の 47%、津山・英田保健医療圏の 31%、県北の医療圏全体の 45% のがん患者が県南のがん診療連携拠点病院、がん診療連携推進病院を受診しています。

各がんについての統計は 2016 年の概況と同様の傾向でした。

2017 年岡山県院内がん登録集計対象等

○参加施設（13 施設）

がん診療連携拠点病院（7 施設）

- ・岡山大学病院
- ・社会福祉法人 恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院
- ・総合病院 岡山赤十字病院
- ・独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター
- ・公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
- ・学校法人 川崎学園 川崎医科大学附属病院
- ・一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院

地域がん診療病院（2 施設）

- ・社会医療法人 緑社会 金田病院
- ・医療法人 清梁会 高梁中央病院

がん診療連携推進病院（4 施設）

- ・独立行政法人 労働者健康安全機構 岡山労災病院
- ・地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院
- ・学校法人 川崎学園 川崎医科大学総合医療センター
- ・一般財団法人 倉敷成人病センター

○集計対象期間は診断日が 2017 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日までの症例

○集計対象症例は「国際疾病分類－腫瘍学 第 3 版（ICD-O-3）において性状コード 2（上皮性悪性腫瘍）もしくは性状コード 3（悪性腫瘍）の症例（例外として脳・中枢神経系腫瘍の性状コード 0（良性）と性状コード 1（良悪性の別不詳）の症例と胃腸間質腫瘍（GIST）の性状コード 0（良性）と性状コード 1（良悪性の別不詳）の症例、一部の卵巣腫瘍の性状コード 1 の症例）

○UICC「TNM 悪性腫瘍分類 第 7 版」を適用

UICC 病期分類が存在しない部位や取り扱われない組織型のステージは、2015 年症例では「空欄」、2016 年症例からは「該当せず」で登録

○施設における対象症例は入院・外来を問わず自施設における新規初回症例もしくは初診症例で、初発・再発例ともに含まれるが、登録済みの症例について経過観察中に再発を来した症例は登録対象とはならない

○原則、1 腫瘍 1 登録、多重がんの判断は国立がんセンターの登録ルールに基づき登録

○同一患者が複数の施設を受診し、それぞれの施設で重複登録された症例では集計参加施設のがん診療情報を明らかにするため名寄せは行わず、各施設で計上

○小児がんについては、診断時年齢 15 歳未満に発生した上記条件の悪性および良性の新生物で集計

○希少がんについては、我が国においては希少がんについての明確な定義はなく、本報告書では下記のサイトの定義をもとに ページにあげられている症例を集計

（参考：Surveillance of Rare Cancer in Europe URL：www.rarecare.eu）

○表の中で 10 未満の数値については「1～3、4～6、7～9」で表記

参考

国立がん研究センター がん情報サービス

http://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/brochure/hosp_c_registry.html

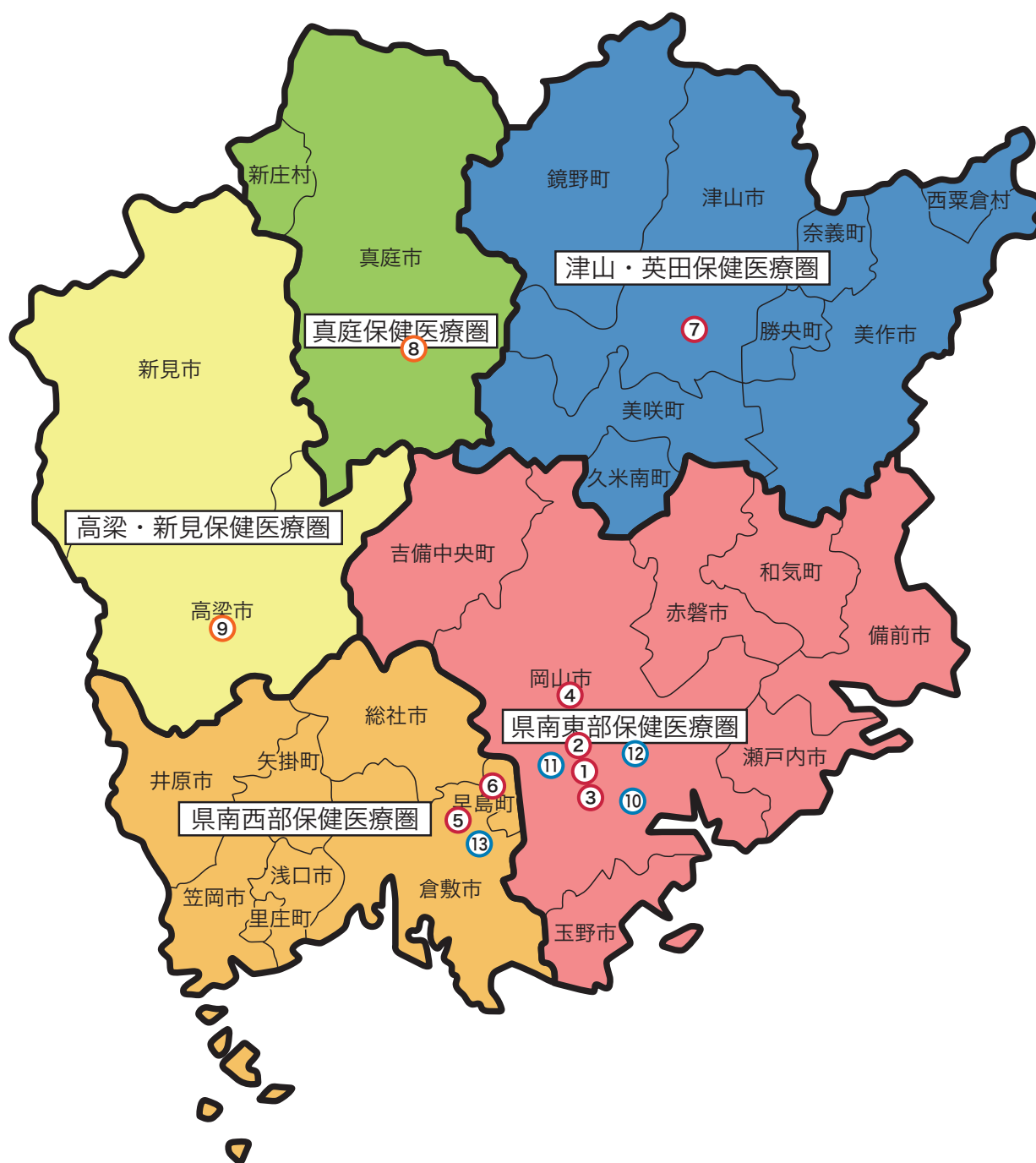
岡山県 保健福祉部 医療推進課

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/34/>

Surveillance of Rare Cancer in Europe

www.rarecare.eu

参加施設（13 施設）・担当者



地域がん診療病院（2 施設）

- ⑧ 社会医療法人 緑社会 金田病院
海野正俊 田澤利政 長田寛子 高田真奈美
- ⑨ 医療法人 清梁会 高梁中央病院
滝澤宏和

がん診療連携拠点病院（7施設）

① 岡山大学病院

田端雅弘 郷原英夫 頼冠名 瀬浪尚子 上原亜希 大塚理可 杉野理紗子
中島直美 大木康佑

② 社会福祉法人 恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院

赤在義浩 塩出純二 高畑隆臣 多田京子 藤田純子 近藤裕香

③ 岡山赤十字病院

森山重治 藤井総一郎 小田美恵 田中裕子

④ 独立行政法人 国立病院機構 岡山医療センター

米井敏郎 藤原慶一 倭ゆかり 戸村悦子

⑤ 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

河本和幸 岡部道雄 長久倫子 成友麻紀 木村郁美 白根澤沙由里
諸上加代子 高木春奈 伊藤友美

⑥ 学校法人 川崎学園 川崎医科大学附属病院

中田昌男 日野啓輔 山口佳之 湯浅加奈子 小西和子 浅雄真由美
白川愛未

⑦ 一般財団法人 津山慈風会 津山中央病院

林同輔 宮島孝直 野中泰幸 富岡貴美男 出原雄太 福井優葵乃

がん診療連携推進病院（4施設）

⑩ 独立行政法人 労働者健康安全機構 岡山労災病院

古澤卓也 原修宙 佐田野夏生

⑪ 地方独立行政法人 岡山市立総合医療センター 岡山市立市民病院

西村守 佃和憲 山本和彦 田尾友哉 波多野歩行

⑫ 学校法人 川崎学園 川崎医科大学総合医療センター

岸野由紀子

⑬ 一般財団法人 倉敷成人病センター

松本なみ 瀬戸渚

岡山大学病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山大学病院
所 在 地	〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1
電話（代表）	086-223-7151
ホームページ	https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/
交通アクセス	岡山駅より車で5～10分、バスで約10分

集計期間：2018年4月1日～2019年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科※4	総合内科・総合診療科、消化器内科、血液・腫瘍内科、呼吸器・アレルギー内科、腎臓・糖尿病・内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、循環器内科、脳神経内科、感染症内科、消化管外科、肝・胆・膵外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、泌尿器科、心臓血管外科、小児外科、小児心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、精神科神経科、脳神経外科、麻酔科蘇生科、小児科、小児循環器科、小児神経科、小児血液・腫瘍科、小児麻酔科、小児放射線科、産科婦人科、放射線科、救命救急科、病理診断科、緩和支援医療科、臨床遺伝子診療科、総合歯科、むし歯科、歯周科、クラウンブリッジ補綴科、咬合・義歯補綴科、口腔外科（再建系）、口腔外科（病態系）、歯科放射線・口腔診断科、歯科麻酔科、矯正歯科、予防歯科、小児歯科 合計 49 診療科		
病 床 数※4	855 床	平均在院日数※1	11.5 日
入院患者のべ数※2	226,249 人	外来患者のべ数※3	662,317 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数）※4	実務者 5 名（中級者 2 名、初級者 2 名）		

※1 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※2 在院患者延数（24 時時点）

※3 初再診合わせた患者延数

※4 2019 年 6 月 30 日現在



1870

OKAYAMA
UNIVERSITY
HOSPITAL





岡山大学病院 院長

金 澤 右

1. がん診療連携拠点病院としての基本方針

岡山大学病院は平成 18 年 8 月に厚生労働大臣より岡山県の「都道府県がん診療連携拠点病院」に指定され、地域における質の高いがん医療体制の整備、地域医療機関との診療連携の推進、がん患者と家族に対する相談支援及び情報提供に取り組んでまいりました。

岡山大学病院では患者さんやご家族としっかりと向き合い、職員同士心をつなぎ、そして、地域につながり、さらに世界に私たちの医療を広げること「向きあう (Facing your face)、つながる (facing community)、広がる (facing the world)」をモットーとしております。

加えて、岡山大学病院の診療にとって大事なことは、「思いやりの心 (hospitality)、高い質 (quality)、絶え間ない持続性 (sustainability)」だと考えております。

まず、私たちが何よりも大事にしたいのが患者さんやご家族への思いやりであり、できる限り心穏やかな医療環境を皆様に提供したいと思います (hospitality)。

また、私たちは我が国のリーディングホスピタルのひとつとして、高度医療を提供し、多くの優れた医療人材を輩出し、臨床研究に力を注いでいます。

結果として、現在、臨床研究、橋渡し研究、ゲノム医療などで国から中国四国地方唯一の中核拠点として認められております (quality)。

そして、1870 年に岡山の地に創設された本院の歴史は、途切れることなく、2020 年には創設 150 周年を迎えます (sustainability)。

2. がん診療・治療の特徴

本院は臓器移植、小児心臓外科、幹細胞移植などの高度先進医療の推進、遺伝子細胞治療などの先端的治療の開発において、全国でもっとも進んだ施設です。今後も新しい医療の開発を続け、他の施設ではみられない先進的な医療を創造し、実践して参りたいと存じます。そのために、本院ではさまざまなセンターを立ち上げております。腫瘍センター、乳がん治療・再建センター、頭頸部癌センター、臓器移植医療センター、ゲノム医療総合推進センターを始めとする大学病院のユニークな診療科連携を活かした集学的チーム治療を提供するとともに、サルコーマセンター、メラノーマセンター、小児医療センターでは希少がんに対しても大学病院ならではの特性を活かした、わかりやすく高度な医療を提供したいと存じます。

3. 今後の課題と展望

岡山大学病院はがんの個別化医療、遺伝子細胞治療、臓器・幹細胞移植などの高度先進医療を進めるとともに、がんゲノム医療を担う専門医療人の育成に努めます。さらに、中国四国地方で唯一の厚生労働省の臨床研究中核病院、がんゲノム医療中核拠点病院として、日本発の革新的な医薬品・医療機器等及び医療技術の開発を創出する体制の構築を目指します。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

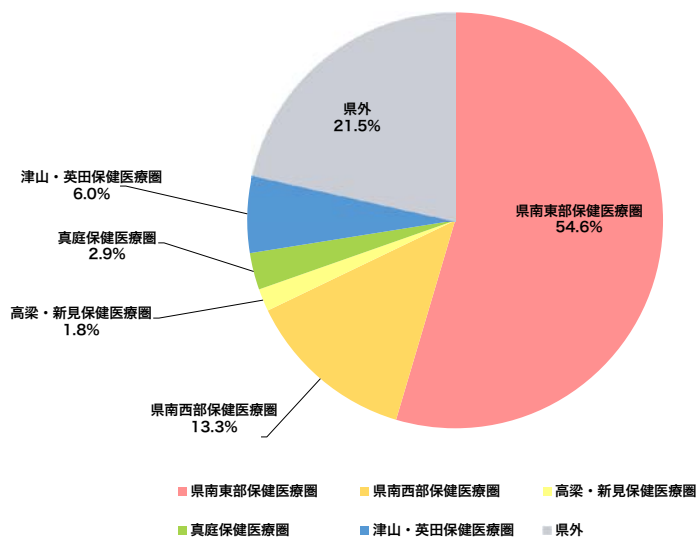
医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,870	54.6%	岡山市北区	535
			岡山市中区	340
			岡山市南区	310
			岡山市東区	250
			玉野市	155
			備前市	79
			瀬戸内市	72
			赤磐市	82
			和気郡和気町	26
			加賀郡吉備中央町	21
県南西部保健医療圏	455	13.3%	倉敷市	283
			笠岡市	31
			井原市	26
			総社市	49
			浅口市	37
			都窪郡早島町	15
			浅口郡里庄町	7~9
			小田郡矢掛町	4~6
高梁・新見保健医療圏	60	1.8%	高梁市	29
			新見市	31
真庭保健医療圏	98	2.9%	真庭市	98
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	207	6.0%	津山市	109
			美作市	34
			苫田郡鏡野町	13
			勝田郡勝央町	15
			勝田郡奈義町	4~6
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	7~9
			久米郡美咲町	23
県外	736	21.5%		736
			合計	3,426

担当医療圏

担当医療圏
岡山県全域

県内患者住所の割合
78.5%

県外患者住所の割合
21.5%



岡山済生会総合病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山済生会総合病院
所 在 地	〒700-8511 岡山県岡山市北区国体町2番25号
電話（代表）	086-252-2211
ホームページ	http://www.okayamasaiseikai.or.jp/
交通アクセス	●岡山駅（運動公園口）より北に徒歩9分 ●岡山インターチェンジより国道53号を岡山方面へ約15分、清心町交差点手前約200mを左折

集計期間：2018年4月1日～2019年3月31日

診 療 案 内※5			
診 療 科※4	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、内分泌内科、腎臓内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、食道外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、美容外科、心療内科、精神科、神経内科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、救急科、病理診断科、緩和ケア内科 合計 35 診療科		
病 床 数※4	553 床 （～2018年8月31日） 473 床 （2018年9月1日～）	平均在院日数※1	10.3 日 （緩和ケア内科除く）
入院患者のべ数※2	141,981 人	外来患者のべ数※3	38,682 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数）※4	実務者2名（中級者1名 初級者1名）		

※1 在院患者延数÷[(新入院患者数+退院患者数)×0.5]、小数点第2位四捨五入

※2 在院患者延数（24時時点）

※3 初再診合わせた患者延数

※4 2019年6月30日現在

※5 病院機能を2つに分離する入外分離方式導入に伴い、地域がん診療連携拠点病院に指定されている岡山済生会総合病院（国体町）の症例のみが院内がん登録の対象（2016年症例より）





岡山済生会総合病院 院長

山 本 和 秀

岡山済生会総合病院は2002年に県下で初めて「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けています。当院の特徴は、健診によるがんの予防や早期発見、がんの診断・治療、さらに緩和医療の提供と、がん診療に対する一貫した体制を構築しているところです。また、がんの診断および治療は、チーム医療によるがん診療とともにがん化学療法センターや放射線治療センターを設置して行っています。

緩和医療では、1998年に中四国の総合病院として初めて緩和ケア病棟を設置し、緩和医療の積極的な推進と在宅支援を行っています。精神科医、緩和ケアリンクナースや臨床心理士の参加によりきめ細かい連携を行っています。

がん患者・家族のこころの悩みに対してがん相談支援センターを設置し、がん患者の交流や正しい知識を得るための場所としてがんサロンを設置しています。

2017年の院内がん登録は1,343件でした。男性が56.7%とやや多く、部位別登録件数では、大腸が339件と最も多く、次いで胃が223件、肺が170件、乳房が104件となっています。男女別にみると、男性では大腸が189件、胃が164件、肺が104件、前立腺が59件、肝臓が56件、すい臓が37件となっています。女性では、大腸が150件、乳房が104件、肺が66件、胃が59件、すい臓が35件、肝臓が25件となっています。

大腸がんでは70-79歳87件、60-69歳86件、80歳以上56件と高齢者に多く、84.8%が手術治療を受けています。胃がんは男性が75%を占め、70-79歳80件と最も多く、78.2%が手術治療を受けています。肺がんは男性が59.4%とやや多く、60-69歳38件、70-79歳50件、80歳以上41件となっています。46.1%が手術治療を受けており、そのうち鏡視下手術が90.9%でした。膵がんは男性が51.5%で、70-79歳26件と最も多く、46.3%が手術治療を受けています。肝および肝内胆管では男性が71.8%を占め、70-79歳にピークがあります。手術治療は30.4%と低率でした。乳房は70-79歳にピークがあり、58.7%が手術治療を受けていました。

今後の課題として、がんの発症に年齢とともに生活習慣が深く関与しており、健診を通じて生活習慣の改善指導などを積極的に行い予防に努める必要があります。また健診による早期発見により治療成績の向上を目指す必要があります。

がんの治療においては、ロボット手術など低侵襲手術の導入やゲノム医療などの個別化医療を推進していく必要があります。また、新規の治療薬の導入により、治療を受けながら働くことができるようになってきており、仕事と治療の両立支援に積極的な対応が必要となります。

がん治療の早期から緩和医療の介入が必要であり、在宅での緩和医療と緩和ケア病棟での医療を切れ目なく提供して行きます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,189	88.5%	岡山市北区	542
			岡山市中区	244
			岡山市南区	51
			岡山市東区	142
			玉野市	21
			備前市	37
			瀬戸内市	38
			赤磐市	75
			和気郡和気町	27
			加賀郡吉備中央町	12
県南西部保健医療圏	56	4.2%	倉敷市	28
			笠岡市	4~6
			井原市	1~3
			総社市	19
			浅口市	1~3
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	18	1.3%	高梁市	4~6
			新見市	14
真庭保健医療圏	10	0.7%	真庭市	10
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	37	2.8%	津山市	7~9
			美作市	11
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	4~6
			久米郡美咲町	10
県外	33	2.5%		33
			合計	1,343

担当医療圏

担当医療圏

県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合

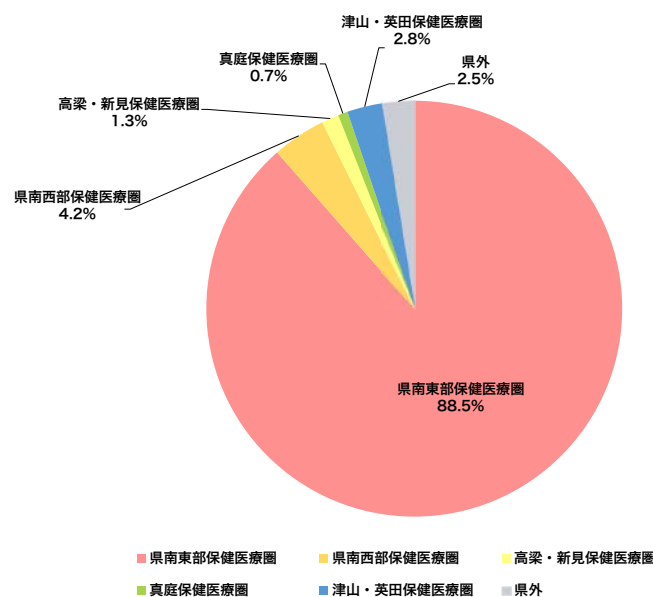
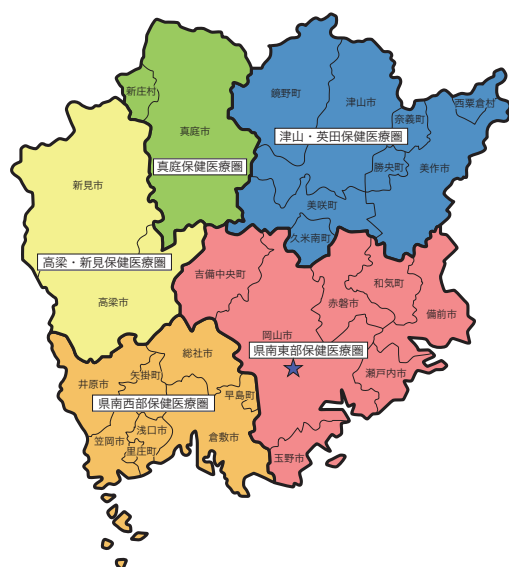
88.5%

県内担当医療圏外の割合

9.0%

県外患者住所の割合

2.5%



岡山赤十字病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山赤十字病院
所 在 地	〒700-8607 岡山県岡山市北区青江2-1-1
電話（代表）	086-222-8811
ホームページ	https://www.okayama-med.jrc.or.jp/
交通アクセス	岡山駅より車で約15分、バスで約20分

集計期間：2018年4月1日～2019年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科※4	総合内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、肝臓内科、腎臓内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、脳神経内科、緩和ケア科、膠原病・リウマチ内科、脳卒中科、精神神経科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、脳血管内治療外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、形成外科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック科、歯科、救急科、病理診断科 合計36診療科		
病 床 数※4	500 床	平均在院日数※1	10.7 日
入院患者のべ数※2	137,951 人	外来患者のべ数※3	277,326 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※4	実務者4名（中級者1名 初級者3名）		

※1 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※2 在院患者延数（24時時点）

※3 初再診合わせた患者延数

※4 2019年6月30日現在





岡山赤十字病院 院長

辻 尚 志

岡山赤十字病院は、全国に91か所ある日本赤十字社グループ病院のうちのひとつです。

基幹災害拠点病院、救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院という3本柱に加え、患者さんのニーズに合わせて、さまざまな疾患・症状に対応できるよう、36の診療科を構えて病院機能の充実を図っています。また、全職員が優良な医療人となるべく、人材育成にも力を注いでいます。

さらに、がん検診にも力を入れており、早期発見・早期治療を目標にしていますが、進行がんの患者さんに対しても、寄り添い、患者さんにとってのベストな治療を提供することを心がけています。

これからも、「信頼され親しまれる病院に」をモットーに、地域の『マザーホスピタル』として愛と心が通う医療を提供していきます。

がん診療・治療の特徴

●患者さんの治療も生活も支援できる体制づくり

当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、がん診療においても高度な医療の提供に努めています。

遺伝子検査を含めた正確な組織診断とエビデンスに基づいて、質が高く、そして個々の患者さんに合った最適な治療を行っています。また、手術においては、体への負担が少ない鏡視下手術を積極的に行っており、ご高齢の方でも手術を受けることが可能です。合併症などの対応が難しい症例に対しても、36診療科の総合力で、必要に応じた積極的な治療を実施しています。

2015年には外来化学療法室と放射線治療室を新設し、リニアックも導入し、常勤の放射線治療医が、強度変調放射線治療（IMRT）、体幹部定位放射線治療（SBRT）なども実施しています。

2014年には独立型緩和ケア病棟を開設しました。緩和ケア専任の医師を中心に、看護師や薬剤師、栄養士やソーシャルワーカーなど、多職種で患者さんのサポートを行っています。がんの進行によって生じる体のつらさ、気持ちのつらさを和らげ、生きることを考える治療とケアを提供しています。また、地域の開業医との連携を大事に考え、病院と家の行き来ができる関係を作っており、体調がつかない時には入院し、病状が落ち着いたら家に帰り、その時々体調に適した生活の場を一緒に考えていきます。暮らしやすい場所でその人らしく生きることを大事にして、地域住民のよりよい生活を支えていくことを使命と考えています。

そのほかにも、患者さんやご家族が利用できる「がん相談支援センター」、「がん専用図書室」を設置するなど、がん診療だけでなく、がん患者さんの生活も支援できる体制を整えています。

今後の課題と展望

がんで命を落とす人を少しでも減らすために、検診体制のさらなる充実と、住民への啓発活動を継続し、有効な新規治療も積極的に取り入れていきます。そして、仮にがん罹患したとしても治療と仕事の両立に向けた支援をすべく、就労を含む療養環境の調整などに係る窓口の設置も重要と考えます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1,133	94.3%	岡山市北区	230
			岡山市中区	123
			岡山市南区	362
			岡山市東区	128
			玉野市	164
			備前市	32
			瀬戸内市	75
			赤磐市	15
			和気郡和気町	4~6
			加賀郡吉備中央町	0
県南西部保健医療圏	28	2.3%	倉敷市	20
			笠岡市	1~3
			井原市	0
			総社市	1~3
			浅口市	1~3
			都窪郡早島町	1~3
			浅口郡里庄町	1~3
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	7~9	0.6%	高梁市	1~3
			新見市	4~6
真庭保健医療圏	1~3	0.2%	真庭市	1~3
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	7~9	0.6%	津山市	1~3
			美作市	1~3
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	1~3
			久米郡美咲町	1~3
県外	24	2.0%		24
			合計	1,202

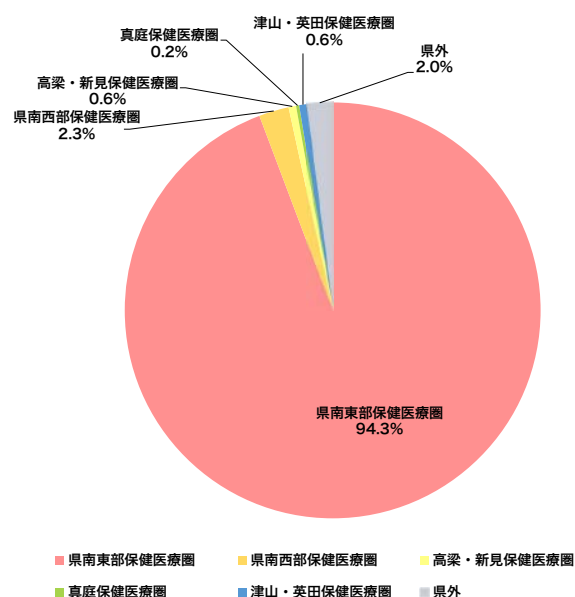
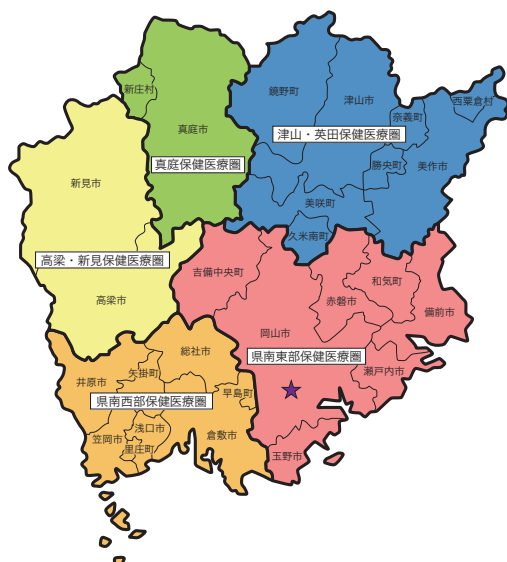
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
94.3%

県内担当医療圏外の割合
3.7%

県外患者住所の割合
2.0%



岡山医療センター

基 本 情 報	
病 院 名	岡山医療センター
所 在 地	〒701-1192 岡山県岡山市北区田益 1711-1
電話（代表）	086-294-9911
ホームページ	https://okayama.hosp.go.jp/
交通アクセス	バスの場合、岡山駅より約 25 分 車の場合、山陽自動車道 岡山インターより約 2 分

集計期間：2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※ ₄	内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科、感染症内科、救急科 合計 28 診療科		
病 床 数※ ₄	609 床	平均在院日数※ ₁	11.2 日
入院患者のべ数※ ₂	182,844 人	外来患者のべ数※ ₃	186,510 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※ ₄	実務者 2 名 (中級者 1 名 初級者 1 名)		

※₁ 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入※₂ 在院患者延数 (24 時時点)※₃ 初再診合わせた患者延数※₄ 2019 年 6 月 30 日現在

岡山医療センター 院長

久保俊英



岡山医療センターは県南東部及び北部真庭保健医療圏の医療を支える、全 28 診療科を有する総合病院です。平成 20 年に「地域がん診療連携拠点病院」に指定され、がん診療の均霑化を目標に地域におけるがん診療連携体制の構築、相談支援及び情報提供等に取り組んでいます。

当院では、がん専門医が多種多様な「がん」に対して先進的で高度な診療に取り組んでいるのはもちろんです。例えば、呼吸器内科では悪性腫瘍に対する呼吸器インターベンションを積極的に行っており、がんによる気道狭窄に対するインターベンションとして、硬性鏡や気管支鏡を用いた「ステント」治療も積極的に行っています。消化器外科では腹腔鏡下手術がほぼ応用されるようになっており、3D 内視鏡システムによるハイレベルの手術手技を行っています。また、消化器内科とタイアップして難治の進行膵臓がんに対する術前化学療法の導入にも取り組んでいます。更に、皮膚科ではセンチネルリンパ節生検が可能です。

しかし、当院におけるがん診療の一番の特徴は、「がん診療を総合的に支える」の一言に尽きます。がん患者さんはがんを患っているだけではなく、多くの場合循環器疾患や糖尿病など、その他の様々な疾患を併せて抱えています。そうした患者さんへのがん診療においては、専門的ながん診療だけでなく、様々な疾患を診療できる医療機関としての総合力が求められます。上記しましたように、当院は全 28 診療科を有する総合病院であり、総合病院の特長を生かして、各専門家が多種多様ながんに対して診療・治療を行うのはもちろん、がんの状態に応じて複数の診療科が協力してがん診療・治療を行う万全の体制が整っています。さらには、がんに関連した身体的苦痛や精神的苦痛などの緩和を担い、がん患者さんに対してトータルな診療を提供できるように努めている「緩和ケアチーム」が各診療科を横断して活動しており、また、一般的ながんに関する相談については「がん相談支援センター」を設置して、がん患者さんやご家族の方々の不安・悩みや、提供可能な地域医療連携施設の紹介などに対応しています。さらに、がん患者さんやその家族などが集まり、交流や情報交換をする場であるがんサロンとして、当院で診療を受けておられるがん患者さんとそのご家族を対象とした「ほのほのサロン」、同じ病気を体験したがん患者さんやそのご家族などが、『仲間＝ピア』として『体験を共有し、ともに考える』ことで、がん患者さんやそのご家族などを支援していくピアサポートも開設して、少しでもがん患者さんやそのご家族の不安感や孤独感など様々な思いが和らげられるよう努めています。

今後は、岡山大学病院と協力して、がんゲノム医療連携病院の指定を受けるなど先進的ながん診療に取り組みつつも、当院の理念である「今、あなたに、信頼される病院」をモットーに全人的な診療に力を注いでいきたいと思っています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	724	69.0%	岡山市北区	394
			岡山市中区	52
			岡山市南区	22
			岡山市東区	37
			玉野市	1～3
			備前市	41
			瀬戸内市	23
			赤磐市	68
			和気郡和気町	22
			加賀郡吉備中央町	62
県南西部保健医療圏	26	2.5%	倉敷市	11
			笠岡市	0
			井原市	1～3
			総社市	7～9
			浅口市	1～3
			都窪郡早島町	1～3
			浅口郡里庄町	1～3
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	23	2.2%	高梁市	7～9
			新見市	14
真庭保健医療圏	68	6.5%	真庭市	67
			真庭郡新庄村	1～3
津山・英田保健医療圏	162	15.4%	津山市	72
			美作市	28
			苫田郡鏡野町	12
			勝田郡勝央町	4～6
			勝田郡奈義町	1～3
			英田郡西粟倉村	1～3
			久米郡久米南町	18
			久米郡美咲町	24
県外	47	4.5%		47
			合計	1,050

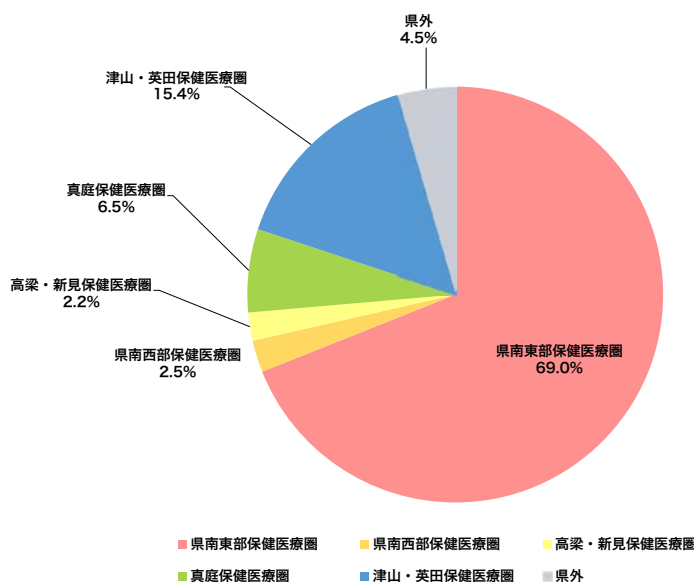
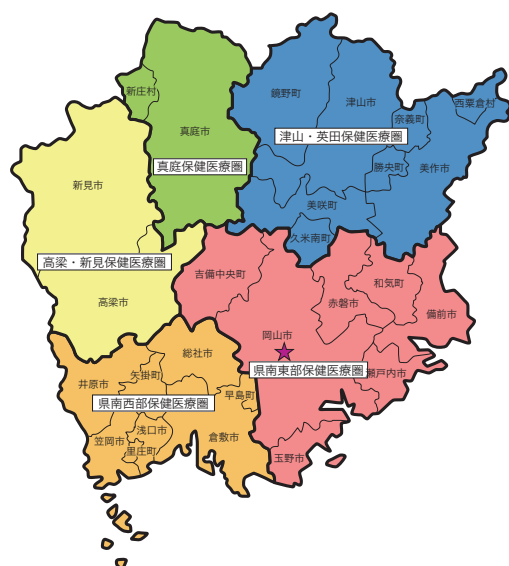
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
69.0%

県内担当医療圏外の割合
26.6%

県外患者住所の割合
4.5%



倉敷中央病院

基 本 情 報	
病 院 名	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
所 在 地	〒710-8602 岡山県倉敷市美和1-1-1
電話（代表）	086-422-0210
ホームページ	https://www.kchnet.or.jp/
交通アクセス	倉敷駅より徒歩10分、山陽自動車道倉敷ICより車で10分

集計期間：2018年4月1日～2019年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科※4	内科、精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、形成外科、心臓血管外科、呼吸器外科、循環器内科、歯科、矯正歯科、小児歯科、歯科口腔外科、脳神経内科、リハビリテーション科、美容外科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・代謝内科、リウマチ科、救急科、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア外科、臨床検査科、病理診断科、消化器外科、乳腺外科、小児外科、頭頸部外科 合計 41 診療科		
病 床 数※4	1,166 床	平均在院日数※1	12.0 日
入院患者のべ数※2	358,741 人	外来患者のべ数※3	690,783 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※4	実務者 6 名（中級者 3 名 初級者 1 名）		

※1 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※2 在院患者延数（24 時時点）

※3 初再診合わせた患者延数

※4 2019 年 6 月 30 日現在



倉敷中央病院
Kurashiki Central Hospital





倉敷中央病院 院長

山 形 専

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院は、倉敷紡績社長・大原孫三郎によって、大正12年に設立されました。キリスト教的人道主義の影響を受けた大原は、社会貢献を重大な使命と考え、最新・最高の医療を地域に提供するという理念のもとに当院を設立しました。そうした大原の精神は、「患者本位の医療」「全人医療」「高度先進医療」の3つの基本理念として現在も引き継がれています。

当院は、国際的な医療機能評価（JCI）をはじめ、日本医療機能評価機構、災害拠点病院、総合周産期母子医療センター、地域医療支援病院、エイズ治療拠点病院、臨床研修指定病院、救命救急センターなどの認定を得て、質の高い医療の提供に努めています。

がん診療についても、平成15年12月に地域がん診療連携拠点病院に指定されました。2017年症例の院内がん登録では全国19位と、中・四国の医療機関の中ではトップの登録数で、各診療科において多くのがん患者さんの治療を行っています。平成31年4月にはがんゲノム医療連携病院の指定を受け、がんゲノム医療中核拠点病院と連携して、がんゲノム医療を提供できる体制づくりを進めています。当院のオンコロジーセンターでは、専門的な知識やスキルをもった多職種で構成される「ボーダレス医療チーム」が治療やケアに参加し、診療科や部門の隔てなく病院として全人医療を提供しています。

がん相談支援センターでは、医療ソーシャルワーカーやがん看護専門看護師が、がんに関する様々な相談（不安や悩み、がん治療と仕事の両立支援、小児、AYA世代の治療・療養生活や就学など）に対応しています。

緩和ケアにも力を入れており、緩和ケア病棟は14室で運営しています。緩和ケア科医師と診療科主治医が連携し、看護師、薬剤師、臨床心理士、ソーシャルワーカー、作業療法士、歯科衛生士、管理栄養士など多職種がチームとなってケアにあたっています。

また、総合相談・地域医療・入退院支援センターでは、県内で最多実績の「がん地域連携パス」を通して、当院医師とかかりつけ医が共有できるがん治療計画の普及に取組み、患者さんが安心して地域で治療を行えるよう、地域医療連携を進めています。

令和元年6月1日には、『健康を 暖かい心をそえて 人へ地域へ』を理念に人間ドック施設として予防医療プラザがオープンしました。当院の高度な臨床医学と最新の予防医学を統合した、総合病院ゆえに可能な予防医療を実現します。各種がんの早期発見に繋がるよう、より専門的なドックも行っています。

倉敷中央病院では、安全で質の高い医療を提供するとともに、患者さんとそのご家族が、安心してがん治療を行え、心からご満足していただけるよう、職員一同一丸となって努力してまいります。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	191	5.2%	岡山市北区	56
			岡山市中区	7~9
			岡山市南区	60
			岡山市東区	11
			玉野市	30
			備前市	4~6
			瀬戸内市	1~3
			赤磐市	1~3
			和気郡和気町	1~3
			加賀郡吉備中央町	14
県南西部保健医療圏	3,057	83.1%	倉敷市	2,176
			笠岡市	161
			井原市	81
			総社市	314
			浅口市	158
			都窪郡早島町	53
			浅口郡里庄町	45
			小田郡矢掛町	69
高梁・新見保健医療圏	210	5.7%	高梁市	137
			新見市	73
真庭保健医療圏	19	0.5%	真庭市	17
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	14	0.4%	津山市	7~9
			美作市	1~3
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1~3
県外	189	5.1%		189
			合計	3,680

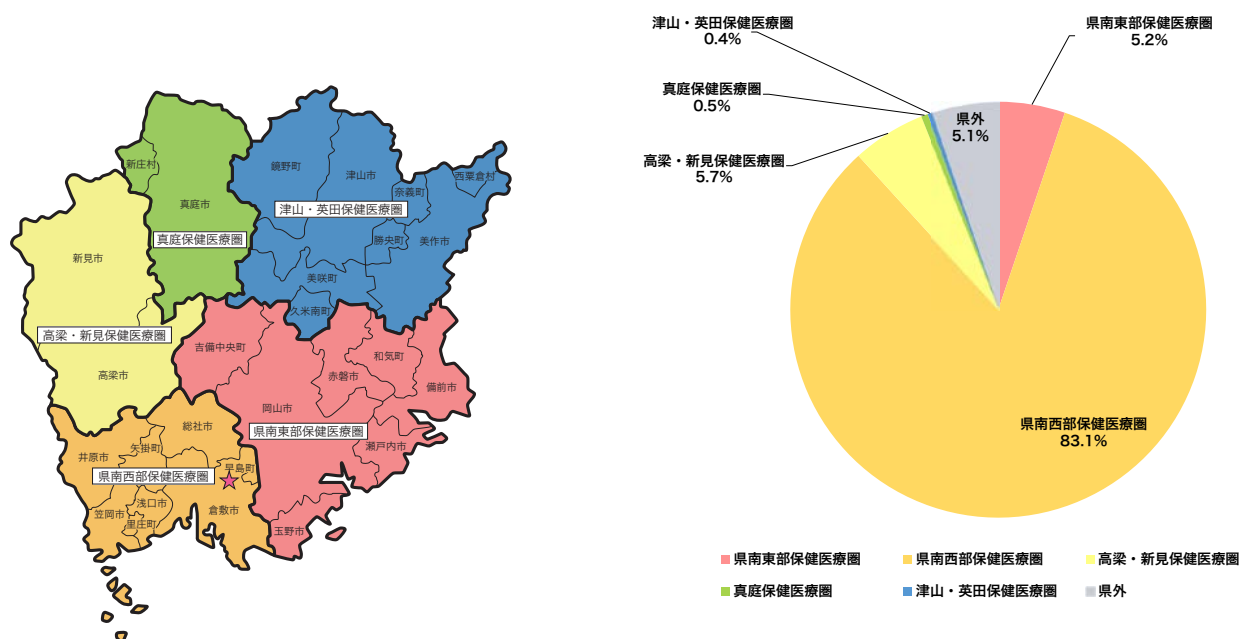
担当医療圏

担当医療圏
県南西部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
83.1%

県内担当医療圏外の割合
11.8%

県外患者住所の割合
5.1%



川崎医科大学附属病院

基 本 情 報	
病 院 名	川崎医科大学附属病院
所 在 地	〒701-0192 岡山県倉敷市松島 577
電話（代表）	086-462-1111
ホームページ	https://h.kawasaki-m.ac.jp/
交通アクセス	JR 山陽本線・伯備線「中庄（なかしょう）駅」下車、徒歩 10 分

集計期間：2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科 ^{※4}	総合診療科、救急科、臨床腫瘍科、循環器内科、呼吸器内科、心臓血管外科、呼吸器外科、腎臓内科、泌尿器科、血液内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、脳神経内科、脳卒中科、脳神経外科、心療科、小児科、新生児科、小児外科、産婦人科、乳腺甲状腺外科、皮膚科、リウマチ・膠原病科、整形外科、形成外科・美容外科、リハビリテーション科、食道・胃腸内科、肝・胆・膵内科、消化器外科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科・口腔外科、麻酔・集中治療科、放射線科（画像診断）、放射線科（治療）、放射線科（核医学診療）、健康診断センター 合計 36 診療科		
病 床 数 ^{※4}	1,182 床	平均在院日数 ^{※1}	13.5 日
入院患者のべ数 ^{※2}	228,680 人	外来患者のべ数 ^{※3}	437,104 人
院内がん登録実務者数 （研修終了者数） ^{※4}	実務者 4 名（中級者 3 名 初級者 1 名）		

※1 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※2 在院患者延数（24 時時点）

※3 初再診合わせた患者延数

※4 2019 年 6 月 30 日現在



川崎医科大学附属病院 院長

園 尾 博 司



超高齢社会を迎えている我が国では老人病ともいえるがんの罹患・死亡が年々増加の一途をたどっております。がんは、男女とも2人に1人が罹患し、亡くなる人の3割を占める国民病となっています。2016年に成立したがん登録推進法により全国の病院のがん登録が義務化され、各自治体のがんの実態が分かるようになりました。この度、岡山県の地域がん診療連携拠点病院等の13病院のがん登録2017年版が刊行され、これらの各病院のがん統計が明らかになりました。各病院の特長が具体的に把握できるようになったことは、各病院はもとより岡山県全体のがん対策を検討する上でも大変喜ばしいことと思います。

当院におけるがん診療・治療

川崎医科大学を中心とする川崎学園は2020年に創設50周年を迎え、その一員である当院は、開設47年目を迎えています。「医療は患者のためにある」という病院の基本理念を開設以来、継承し、がんを含むすべての疾患に対して全人的医療を行っています。当院は、2008年に地域がん診療連携拠点病院に指定されています。また、2019年にはがんゲノム医療連携病院、遺伝性乳癌卵巣癌総合診療基幹病院に指定され、遺伝子情報に基づいた医療にも対応しております。開設以来、各科が臓器別編成されており、各科の垣根が低く、がん診療においても科横断的な協力体制を取れるのが特徴です。また、2018年に県南西部では唯一の「緩和ケア病棟」を開設し、患者のQOL向上に努めています。当院は特定機能病院として高度で安全・安心ながん診療を今後も続けて参ります。

当院のがん登録

当院のがん登録件数は、2015年1,552件、2016年1,697件、2017年1,684件で増加傾向を示しています。2017年診断症例では、当院の存在する県南西部からの患者割合が55.6%と最も多く、県南東部15.5%、県北部3医療圏は16.3%、県外12.6%の順でありました。すなわち医療施設の少ない県北や近隣の広島県・香川県からも相当数の患者の来院がありました。また、他院からの紹介患者が全体の66.0%を占めていました。一方、当院のがん登録で件数の多い順に並べると、乳癌、大腸癌、胃癌、肺癌、血液腫瘍の順であり、血液腫瘍が多いのが特徴のひとつです。

今後の課題

検診受診率の向上によるがんの早期発見が大きな課題です。また、超高齢社会を迎えている今日、病院の機能分化と地域包括ケアシステムの構築が急がれます。がん診療において、当院は地域の医療機関とさらなる連携を強め、がん患者の早期退院と医療連携を目指す努力をさらに進める所存です。また、充実した医療施設の少ない県北のがん医療が今後の課題であると思います。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	261	15.5%	岡山市北区	137
			岡山市中区	10
			岡山市南区	39
			岡山市東区	14
			玉野市	21
			備前市	4~6
			瀬戸内市	4~6
			赤磐市	4~6
			和気郡和気町	1~3
			加賀郡吉備中央町	21
県南西部保健医療圏	937	55.6%	倉敷市	595
			笠岡市	74
			井原市	18
			総社市	100
			浅口市	70
			都窪郡早島町	47
			浅口郡里庄町	12
			小田郡矢掛町	21
高梁・新見保健医療圏	161	9.6%	高梁市	78
			新見市	83
真庭保健医療圏	55	3.3%	真庭市	54
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	58	3.4%	津山市	27
			美作市	14
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	4~6
			勝田郡奈義町	4~6
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	4~6
県外	212	12.6%		212
			合計	1,684

担当医療圏

担当医療圏

県南西部保健医療圏

担当医療圏内における

患者住所の割合

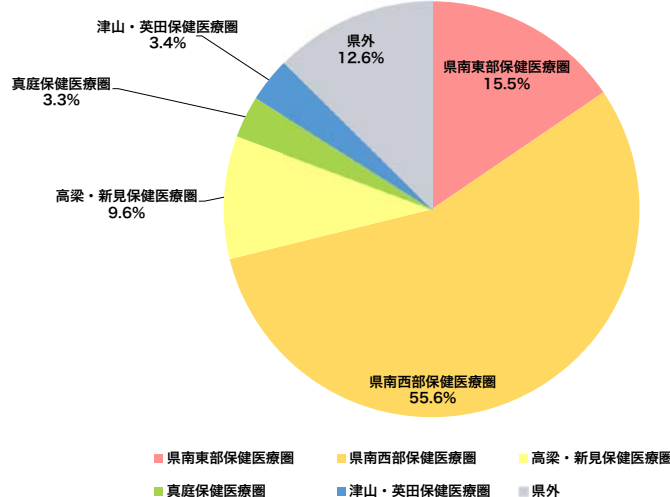
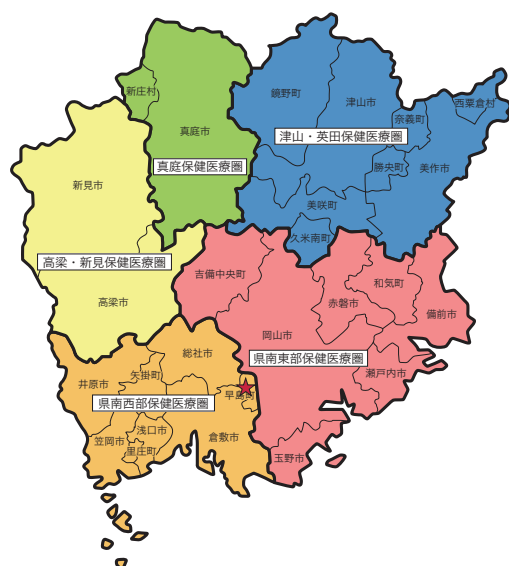
55.6%

県内担当医療圏外の割合

31.8%

県外患者住所の割合

12.6%



津山中央病院

基 本 情 報	
病 院 名	一般財団法人津山慈風会 津山中央病院
所 在 地	岡山県津山市川崎 1756
電 話 (代 表)	0868-21-8111
ホームページ	http://www.tch.or.jp/
交通アクセス	津山駅より車で 15 分、津山 IC より車で 5 分

集計期間：2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※ ₄	内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、呼吸器内科、感染症内科、糖尿病内科、神経内科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、救急科、眼科、歯科、歯科口腔外科、放射線科、病理診断科、麻酔科、リハビリテーション科、ペインクリニック内科、ペインクリニック外科 合計 30 診療科		
病 床 数※ ₄	515 床	平均在院日数※ ₁	13.08 日
入院患者のべ数※ ₂	153,195 人	外来患者のべ数※ ₃	214,051 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※ ₄	実務者 4 名 (中級者 1 名 初級者 3 名)		

※₁ 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※₂ 在院患者延数 (24 時時点)

※₃ 初再診合わせた患者延数

※₄ 2019 年 6 月 30 日現在





津山中央病院 院長

林 同 輔

1. がん診療連携拠点病院としての基本方針

津山中央病院は、20年前に現在の津山市川崎に新築移転し、県北唯一の救命救急センターを併設した高度急性期病院として発展してきました。その後「地域がん診療連携拠点病院」の指定も受け、救命救急とがん診療を2本の柱として岡山県北の医療を支えています。検診センターを併設し、がんの早期発見から検査・診断・治療・緩和まで一貫したがん診療に取り組んでいます。がん登録数も年々増加しており、2016年には1435例を登録いたしました。近年病院の再基盤整備を行い、増設した新病棟には人員の関係でまだ稼働できていませんが、14床の緩和ケア病棟も新設しております。今後ますます増加する高齢者人口に対応し、日本人の2人に1人は罹ると言われる「がん」の撲滅に寄与していきたいと思っております。

2. がん診療・治療の特徴

当院のがん治療の最大の特徴は、中四国で初となる「がん陽子線治療センター」です。岡山大学と共同運用しており、総合病院としては、近畿以西の西日本では唯一で、合併症のある患者さんや化学療法併用の患者さん、全身麻酔が必要となる小児がんの患者さんも受け入れています。現在保険適応となっているのは、小児がん・骨軟部腫瘍・非扁平上皮の頭頸部がん・前立腺がんの4疾患ですが、肝臓がんや肺がんをはじめ多くのがん腫で効果が認められており、将来の保険収載が期待されます。岡山県内の患者さんが中心ですが、広く中四国地方や九州からも来られています。また、医療インバウンドとして海外（特に中国）からの患者さんも増えてきており、地域の活性化にも貢献していると思っております。

検査機器としては、MDCTやMRIはもとより県内で2番めに導入していたPET/CTも新機種に更新し診断の向上に努めています。放射線治療も陽子線だけでなく、通常のリニアックに加えIMRTも開始いたしました。また20ベッドの化学療法センターもフル活用しており、年間4000件を超える化学療法を行っています。

がんの手術件数も増加傾向にありますが、低侵襲手術を目指して2019年3月より従来の内視鏡手術に加えてロボット手術を導入いたしました。再基盤整備で増設した新手術室にはロボット手術用の広い部屋を確保しており、現在は前立腺がんや肺がんを中心に症例を重ねているところです。

3. 今後の課題と展望

今後も県北住人の健康を守るため、救急診療と並んでがんの集学的治療を含めた高度医療の提供を行っていきます。また、がんゲノム医療にも対応できる体制づくりをしていく予定です。しかし、少子高齢化の波が押し寄せている地域であり、若者の減少に伴い人員確保に難渋している問題があります。地域の医療機関と連携しながら引き続き県北の医療を支えていきたいと考えていますので、なお一層のご支援をお願いいたします。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	36	2.4%	岡山市北区	11
			岡山市中区	4~6
			岡山市南区	4~6
			岡山市東区	1~3
			玉野市	1~3
			備前市	1~3
			瀬戸内市	1~3
			赤磐市	7~9
			和気郡和気町	0
県南西部保健医療圏	17	1.1%	倉敷市	12
			笠岡市	1~3
			井原市	0
			総社市	1~3
			浅口市	1~3
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	10	0.7%	高梁市	0
			新見市	10
真庭保健医療圏	133	8.9%	真庭市	130
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	1,177	78.9%	津山市	669
			美作市	183
			苫田郡鏡野町	96
			勝田郡勝央町	73
			勝田郡奈義町	36
			英田郡西粟倉村	4~6
			久米郡久米南町	14
			久米郡美咲町	101
県外	118	7.9%		118
			合計	1,491

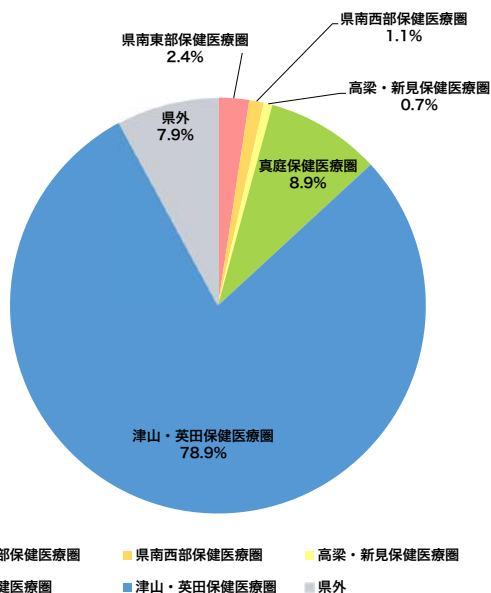
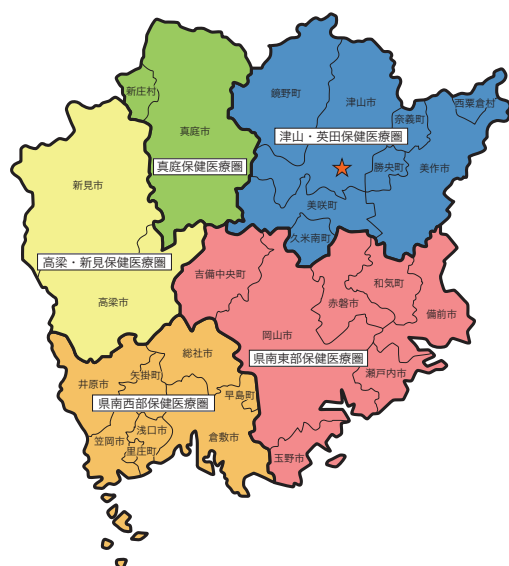
担当医療圏
津山・英田保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
78.9%

県内担当医療圏外の割合
13.1%

県外患者住所の割合
7.9%

担当医療圏



金田病院

基 本 情 報	
病 院 名	金田病院
所 在 地	岡山県真庭市西原 63 番地
電 話 (代 表)	0867-52-1191
ホームページ	kaneda-hp@kaneda-hp.com
交通アクセス	美作落合駅から徒歩 5 分 まにわくん・さくらバス金田病院前からすぐ

集計期間：2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※ ₄	内科、循環器内科、糖尿病内科、神経内科、腎臓内科、リウマチ科、外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、乳腺外科、眼科、心臓血管外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科 合計 17 診療科		
病 床 数※ ₄	172 床	平均在院日数※ ₁	25.1 日
入院患者のべ数※ ₂	42,071 人	外来患者のべ数※ ₃	68,902 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※ ₄	実務者 2 名 (中級者 0 名 初級者 2 名)		

※₁ 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第 2 位四捨五入※₂ 在院患者延数 (24 時時点)※₃ 初再診合わせた患者延数※₄ 2019 年 6 月 30 日現在

金田病院 院長

水 島 孝 明



日本では2人に1人はがんを患い、3人に1人はがんで死亡される時代となり、全国どこでも標準的ながん診療を受けられることを目的にがん診療拠点病院制度ができました。また、わが国のがん診療の質を高める事を目的に、がん対策基本法が施行されました。これらの理念は、当院の理念と合致するものです。

当院は、岡山県北部の真庭市西原（落合地区）に70年前に開設され、平成24年4月1日より、がん診療連携推進病院に認定され、県内のがん治療拠点病院と連携して、真庭地域を中心としたがん患者の診療に取り組んでまいりました。平成27年4月1日からは岡山県北部中央地区の地域がん診療連携拠点病院に認定され、独立行政法人 岡山医療センターおよび一般財団法人 津山慈風会津山中央病院と連携し、がんの検査、治療、手術、化学療法に加え、緩和ケアの提供や緩和ケア研修会の開催、がん相談支援、セカンドオピニオン、がん情報提供、一般向けや医療者向けの講演会、患者会、がん登録を行っております。現在の許可病床は172床で、内科、外科、脳神経外科、整形外科の診療科を中心に、急性期一般病棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟で構成しております。また岡山大学や川崎医科大学からの非常勤医師の派遣を通じて、多くの診療科に対応する体制を整えております。地域の病院・診療所と連携を取りながら、院内の勉強会、地区医師会の研究会の開催などを通じて、様々な状況の患者様に対して適切な医療を提供できるよう体制を整えていきたいと思っております。

当院は、人間ドック学会認定の人間ドック検診施設を併設しており、がんの早期発見、治療も力を入れて取り組んでおります。

あらゆるがん患者さんの治療に関し、外科、内科専門医のカンファレンスを通し、また、高難度症例に対しては専門病院と連携を行い、患者さんとそのご家族に対し、最善かつ質を重視した治療を行うように心がけています。

さらに在宅におけるがん医療や緩和ケア、相談支援など一層の充実が課題となっているなかで、訪問診療、訪問看護ステーションみどり、居宅介護支援事業所みどりと連携し、在宅の患者様に対するがん治療についても取り組んでおります。

また医学部学生、看護学生、初期臨床研修医、内科学会総合内科専門医研修専攻医、日本プライマリケア連合学会専門医研修専攻医の受け入れを行っており、地域におけるがん診療を行う医師、看護師等の養成にも取り組んでおります。

最後に医家の皆様に置かれましては、より一層のご鞭撻をお願い申し上げます。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	1~3	0.9%	岡山市北区	0
			岡山市中区	0
			岡山市南区	0
			岡山市東区	0
			玉野市	0
			備前市	0
			瀬戸内市	0
			赤磐市	0
			和気郡和気町	0
			加賀郡吉備中央町	1~3
県南西部保健医療圏	0	0.0%	倉敷市	0
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	0
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	10	4.7%	高梁市	1~3
			新見市	7~9
真庭保健医療圏	173	81.6%	真庭市	172
			真庭郡新庄村	1~3
津山・英田保健医療圏	24	11.3%	津山市	7~9
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	4~6
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	7~9
県外	1~3	1.4%		1~3
			合計	212

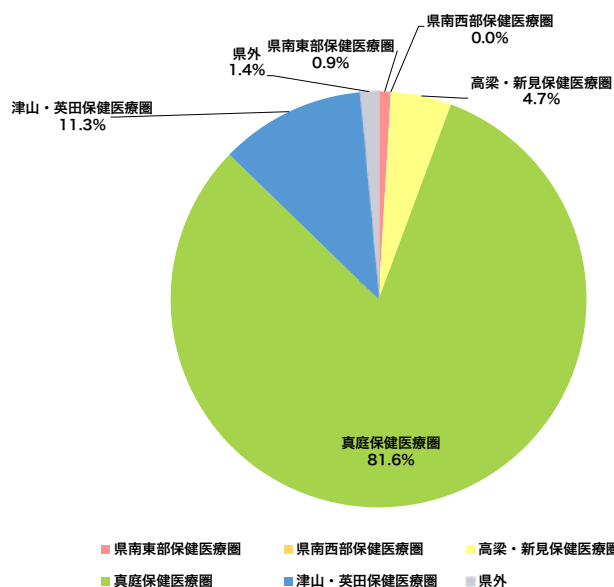
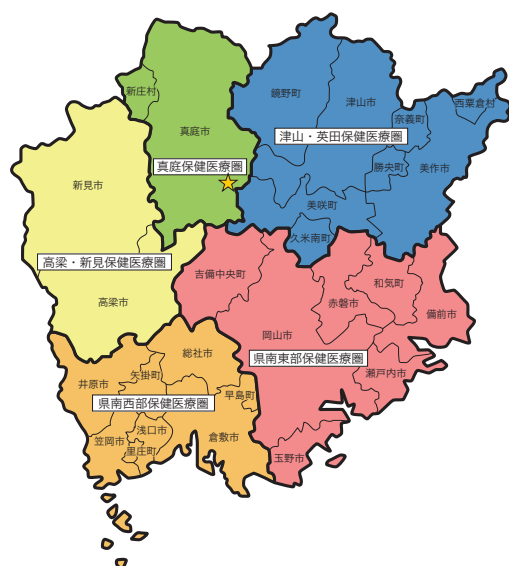
担当医療圏
真庭保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
81.6%

県内担当医療圏外の割合
17.0%

県外患者住所の割合
1.4%

担当医療圏



高梁中央病院

基 本 情 報	
病 院 名	医療法人清梁会 高梁中央病院
所 在 地	岡山県高梁市南町 53
電 話 (代 表)	086-22-3636
ホームページ	http://seiryokai.jp/takahashi/index.html
交通アクセス	備中高梁駅より徒歩 5 分

集計期間：2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※4	内科、外科、消化器内科、消化器外科、脳神経外科、肛門外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、眼科、循環器内科、皮膚科、心療内科、精神科、呼吸器内科、リハビリテーション科、腎臓内科、血液内科、糖尿病内科、内分泌内科、呼吸器外科、リウマチ科、肝臓内科、胆のう・膵臓内科、耳鼻咽喉科、乳腺・内分泌外科 合計 26 診療科		
病 床 数※4	192 床	平均在院日数※1	19.4 日
入院患者のべ数※2	64,114 人	外来患者のべ数※3	93,040 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※4	実務者 1 名 (中級者 1 名 初級者 0 名)		

※1 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※2 在院患者延数 (24 時時点)

※3 初再診合わせた患者延数

※4 2019 年 6 月 30 日現在



SEIRYO GROUP

医療法人 清梁会 高梁中央病院

見つめているのは命、未来。



高梁中央病院 院長

吉田 栄一

はじめまして、医療法人清梁会高梁中央病院院長の吉田栄一です。

平素より当院に格別なご支援、ご協力を賜り心より御礼申し上げます。当院は岡山県における高梁・新見保健医療圏内において、中核病院としての役割を担っており、地域に根ざした病院としてより質の高い医療の提供・連携による地域への貢献に努めております。

病床の規模としては急性期一般、地域包括ケア、障害者施設等一般、療養、介護療養のケア・ミックス型で構成されています。また、平成20年には地域災害医療センターとしての指定を受け、平成23年におかやまDMAT指定医療機関としての指定を受ける等、地域の災害医療にも対応ができるよう体制を整えております。

そして、平成27年より地域がん診療病院としての指定を受け、当該地域におけるがん診療を更に幅広く担うこととなりました。当院の役割としては、がん診療連携拠点病院と呼ばれる高度ながん診療を行える医療機関とグループ指定を結ぶことで、当院が所属する医療圏内におけるがんの患者様を連携してカバーできる体制作りが主となります。つまり、当該地域にお住まいの患者様の初期のがん診療から、連携している拠点病院で高度ながん診療を終えてからのフォローとしてのがん診療までを当院で行えるという形になっております。中枢のメンバーとして院内にがん診療推進室を立ち上げ、緩和ケア、化学療法、がん相談支援、がん登録など、それぞれ役割に応じたチームを編成し、地域がん診療病院としてのがん診療の更なる質の向上に努めております。

中でも本誌における院内がん登録は、当院の実務者（がん登録チーム）により平成25年から実運用が開始されており、毎年、国立がん研究センターへの全国集計の参加を行うことでがんの統計分析に協力させて頂いております。また、並行して岡山県における地域がん登録（現在は全国がん登録）においても同様のご協力をさせて頂いております。このような情報を集計する事業は、ビッグデータ分析などが叫ばれている昨今の情報化社会において非常に重要視されており、がん登録事業は医療分野においてその一翼を担っております。

今やがんは国民病ともよばれ、がん診療そのものが地域になくてはならないものとして認識されています。今後がん診療推進の根本となるがん登録事業を含め、地域の皆様と心の通い合う信頼関係を築くためにも地域のがん診療における当院の役割をしっかりと果たせるよう職員一同、常に努力して参る所存です。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	19	11.9%	岡山市北区	0
			岡山市中区	0
			岡山市南区	0
			岡山市東区	0
			玉野市	0
			備前市	0
			瀬戸内市	0
			赤磐市	0
			和気郡和気町	0
			加賀郡吉備中央町	19
県南西部保健医療圏	4~6	2.5%	倉敷市	0
			笠岡市	0
			井原市	0
			総社市	1~3
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	135	84.9%	高梁市	127
			新見市	7~9
真庭保健医療圏	1~3	0.6%	真庭市	1~3
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	0	0.0%	津山市	0
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	0
県外	0	0.0%		0
			合計	159

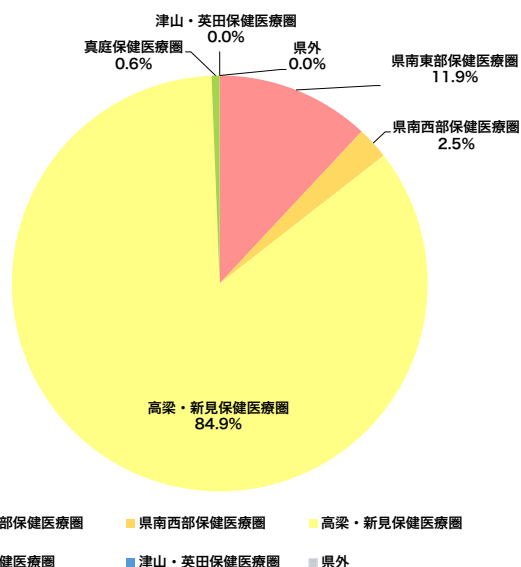
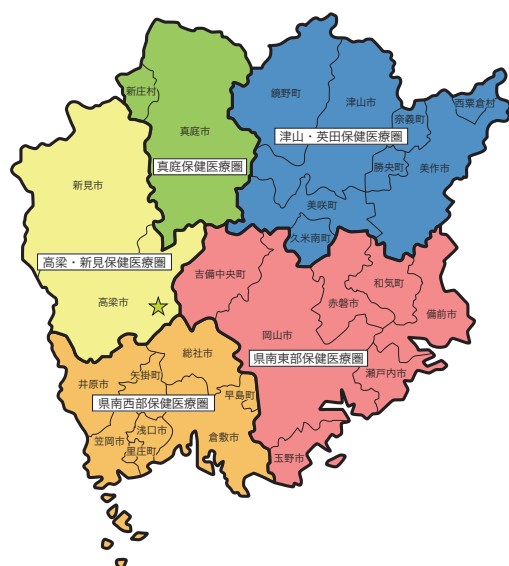
担当医療圏
高梁・新見保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
84.9%

県内担当医療圏外の割合
15.1%

県外患者住所の割合
0.00%

担当医療圏



岡山労災病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山労災病院
所 在 地	〒702-8055 岡山県岡山市南区築港緑町 1-10-25
電話（代表）	086-262-0131
ホームページ	https://www.okayamah.johas.go.jp/
交通アクセス	岡山駅より岡電バス「岡山ろうさい病院」行きに乗車後 35 分程度

集計期間：2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※ ₄	内科、精神科、心療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科 合計 21 診療科		
病 床 数※ ₄	358 床	平均在院日数※ ₁	14.7 日
入院患者のべ数※ ₂	102,940 人	外来患者のべ数※ ₃	262,497 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※ ₄	実務者 3 名（中級者 1 名 初級者 2 名）		

※₁ 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入※₂ 在院患者延数（24 時時点）※₃ 初再診合わせた患者延数※₄ 2019 年 6 月 30 日現在

岡山労災病院 院長

三 好 新一郎



岡山労災病院の2017年癌登録についてご報告申し上げます。岡山労災病院は岡山県から指定された「がん診療連携推進病院」の1つです。岡山市の南区に位置する唯一の公的病院として、主に南区、玉野市の急性期・地域医療を担っています。2017年の悪性腫瘍全登録数は614例で、そのうち南区が364例（59.3%）、玉野市が147例（23.9%）で合わせると80%以上がこの2地区に在住される患者さんです。このうち初回治療数は527例（85.8%）でした。

当院は21診療科からなる総合病院で、ほとんどの腫瘍を診断・治療の対象としています。臓器別腫瘍の全登録数と初回治療数は、食道癌・胃癌・大腸癌・肝胆膵などの消化器系癌が268例と236例と最も多く、肺癌・縦隔・胸膜腫瘍などの呼吸器系腫瘍が101例と90例、泌尿器系癌が95例と90例、乳癌・甲状腺癌が39例と35例、血液系腫瘍が31例と24例、皮膚癌・軟部組織腫瘍が26例と23例、女性生殖器系癌が14例と5例、脳腫瘍が7例と2例、頭頸部癌が6例と4例、その他が27例と18例でした。

当院はアスベスト研究・研修センターを併設しており、アスベスト関連胸膜疾患が県内外から紹介されてきます。縦隔・胸膜腫瘍17例の内、16例が悪性胸膜中皮腫でした。悪性胸膜中皮腫が多いのが当院の特徴の1つと言えます。

食道癌・胃癌・大腸癌などの消化管系粘膜内癌に対しては、内視鏡的粘膜手切除術を行います。比較的早期の消化管系癌・肺癌・縦隔腫瘍などには腹腔鏡や胸腔鏡を用いた低侵襲手術を行っています。この中には完全胸腔鏡下肺葉切除も含まれます。また、進行癌に対しては標準的な開腹、開胸手術を行います。放射線治療科、腫瘍内科を有していることから、必要に応じて集学的治療を行っています。外科治療の適応のない進行癌では化学療法を、さらには分子標的薬剤や免疫チェックポイント阻害剤を用いた最先端の薬剤治療も行っています。化学療法に関しては、外来に化学療法センターを設置し、患者さんのQOLが得られるように可能な限り外来において化学療法を行っています。

全国の労災病院は治療と就労の両立支援に力を入れており、当院は癌治療のモデル施設として癌患者の両立支援に取り組んできました。毎日相談窓口を開いて対応しています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	589	95.9%	岡山市北区	18
			岡山市中区	29
			岡山市南区	364
			岡山市東区	12
			玉野市	147
			備前市	4~6
			瀬戸内市	7~9
			赤磐市	4~6
			和気郡和気町	1~3
			加賀郡吉備中央町	0
県南西部保健医療圏	11	1.8%	倉敷市	7~9
			笠岡市	1~3
			井原市	1~3
			総社市	0
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	1~3	0.2%	高梁市	0
			新見市	1~3
真庭保健医療圏	1~3	0.2%	真庭市	1~3
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	1~3	0.2%	津山市	1~3
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	0
県外	11	1.8%		11
			合計	614

担当医療圏

担当医療圏

県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合

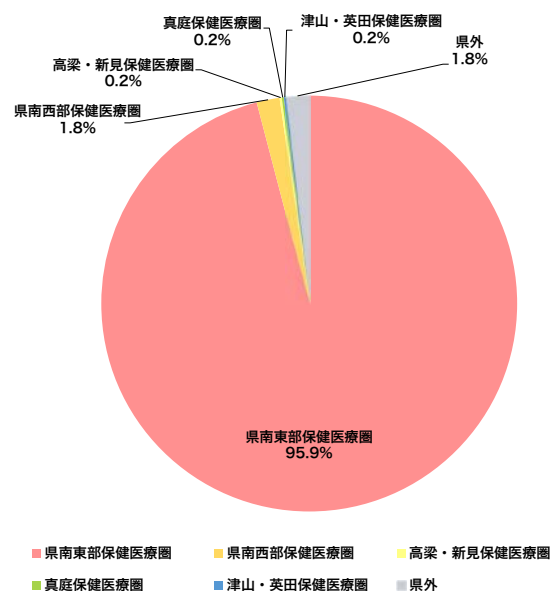
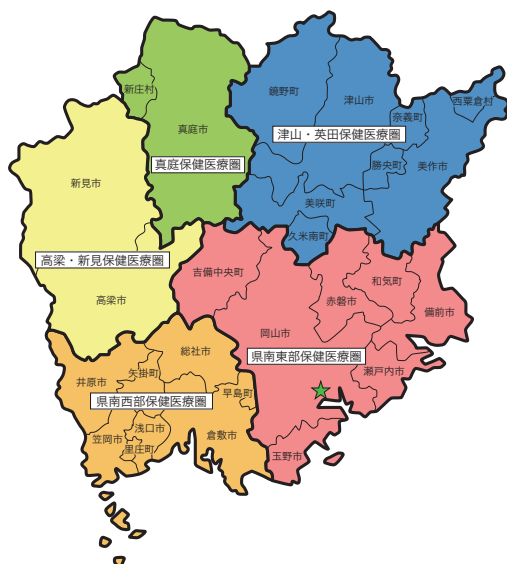
95.9%

県内担当医療圏外の割合

2.3%

県外患者住所の割合

1.8%



岡山市立市民病院

基 本 情 報	
病 院 名	岡山市立市民病院
所 在 地	岡山県岡山市北区北長瀬表町3-20-1
電 話 (代 表)	086-737-3000
ホームページ	https://okayama-gmc.or.jp/shimin/
交通アクセス	山陽本線で岡山駅より北長瀬駅まで約4分

集計期間：2018年4月1日～2019年3月31日

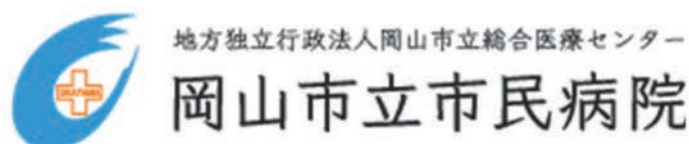
診 療 案 内			
診 療 科※4	内科、消化器内科、呼吸器内科、アレルギー科、循環器内科、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、心療内科、精神科、外科、呼吸器外科、消化器外科、血管外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、小児科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、リウマチ科、病理診断科、救急科 合計 31 診療科		
病 床 数※4	400 床	平均在院日数※1	15.0 日
入院患者のべ数※2	129,418 人	外来患者のべ数※3	149,459 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※4	実務者 2 名 (中級者 1 名 初級者 1 名)		

※1 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※2 在院患者延数 (24 時時点)

※3 初再診合わせた患者延数

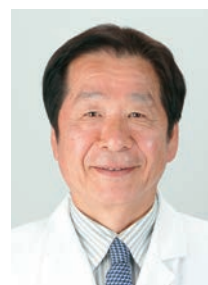
※4 2019 年 6 月 30 日現在



地方独立行政法人岡山市立総合医療センター

岡山市立市民病院





岡山市立市民病院 院長
松 本 健 五

当院は自治体病院、公立病院として岡山市とその近郊の方々の健康を守るために日々診療を行っています。総合病院としてさまざまな症状を抱える患者さんを受け入れるため、各疾患の専門的なスタッフや高度な設備を備え対応しています。具体的には専門的なチーム医療を提供するために臓器別・疾患別のセンター化を採用しています。中でも専門医が多数在籍する脳疾患センターが高い技術を誇るほか、各センター、専門科にも多くの医師が加わり、がん診療も更に充実しています。

当院における2017年のがん登録件数は675件で増加傾向です。年齢分布では70歳以上が約65%を占めています。部位別の登録件数上位5部位では血液腫瘍、胃、大腸、膀胱・尿路系、前立腺の順に登録が多いです。血液腫瘍については当院の血液・腫瘍センターが対応し、岡山市だけでなく、岡山県全域など広範な地域より紹介患者を受けております。胃がん、大腸がんについては消化器内科と消化器外科が一緒になった消化器センターが対応しております。内科と外科が密な連携を取り、診療が一貫して行えるよう体制を整えております。

また、今後のがん治療のさらなる推進や患者さんへのサポートの強化を図る必要性があると考え、がん治療サポートセンターを創設しました。患者さんへの対応の改善とがん診療連携推進病院としての役割を目標に、相談支援、情報提供、院内がん登録の充実を図りながら取り組んでおります。少しでも患者さん・ご家族により良いがん治療を提供できる環境作りの形を考えていきたいと考えております。

今後も良質ながん治療の提供のため病院を挙げてハード・ソフト両面からがん診療の充実を図り、がん診療連携拠点病院との連携体制の充実にも努めてまいります。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	610	90.4%	岡山市北区	304
			岡山市中区	119
			岡山市南区	96
			岡山市東区	42
			玉野市	13
			備前市	10
			瀬戸内市	11
			赤磐市	10
			和気郡和気町	4~6
			加賀郡吉備中央町	1~3
県南西部保健医療圏	28	4.1%	倉敷市	18
			笠岡市	1~3
			井原市	1~3
			総社市	4~6
			浅口市	0
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	0
高梁・新見保健医療圏	7~9	1.0%	高梁市	4~6
			新見市	1~3
真庭保健医療圏	4~6	0.6%	真庭市	4~6
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	15	2.2%	津山市	4~6
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	1~3
			久米郡美咲町	4~6
県外	11	1.6%		11
			合計	675

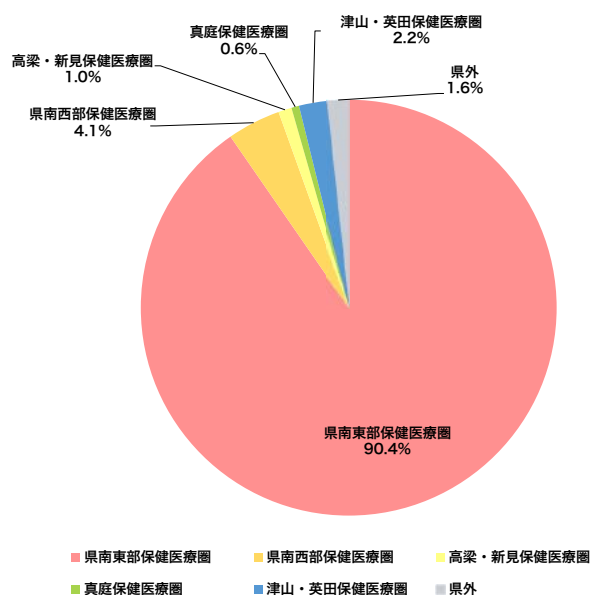
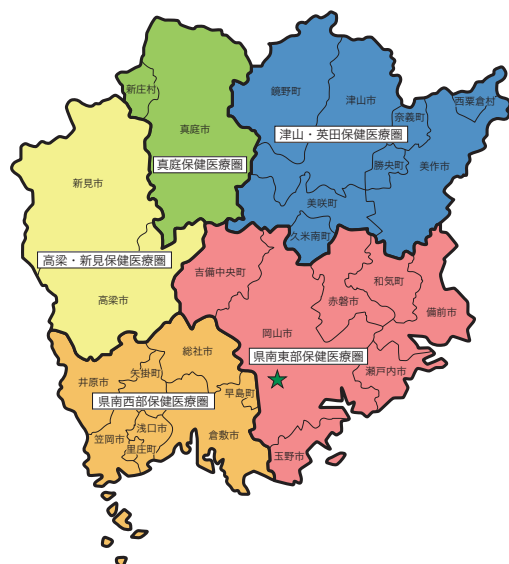
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
90.4%

県内担当医療圏外の割合
8.0%

県外患者住所の割合
1.6%



川崎医科大学総合医療センター

基 本 情 報	
病 院 名	川崎医科大学総合医療センター
所 在 地	〒700-8505 岡山県岡山市北区中山下二丁目6番1号
電話（代表）	086-225-2111
ホームページ	https://g.kawasaki-m.ac.jp/
交通アクセス	岡山駅よりバス、タクシー、路面電車で約5～10分

集計期間：2018年4月1日～2019年3月31日

診 療 案 内			
診 療 科※4	救急科、内科、脳神経内科、循環器内科、内視鏡内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、整形外科、小児科、精神科、心療内科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、産婦人科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、病理診断科、歯科 合計 25 診療科		
病 床 数※4	647 床	平均在院日数※1	12.9 日
入院患者のべ数※2	116,260 人	外来患者のべ数※3	194,861 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※4	実務者 2 名 (中級者 2 名 初級者 0 名)		

※1 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※2 在院患者延数 (24 時時点)

※3 初再診合わせた患者延数

※4 2019 年 6 月 30 日現在



川崎医科大学 総合医療センター

川崎医科大学総合医療センター 院長

猶 本 良 夫



「がん登録への想い」

2019年1月17日、「初めて『全国がん登録制度』によるデータがまとめられ、2016年に「がん」と診断された人は995,131例でした」というニュースが、新聞やテレビで報道されました。私はこのニュースを「がん」に携わってきた一医師として、感慨深く聞いていました。

この報道に疑問を感じた人もいたと思います。今までも、わが国の「がん」に関する統計データの話はありました。例えば、「2～3人に1人はがんになる」等です。2019年のニュースとなったデータ（2016年～）と、2019年よりも前のデータ（～2015年）とでは、何が異なるのでしょうか？

2019年よりも前のデータ（～2015年）は、「地域がん登録制度」を元に作成されていました。この制度だと、県を跨いだ多重登録や登録を行わない医療機関の存在などにより、わが国の「がん」の正しい情報を得るのは難しいと言われていました。そこで法律などを整備し「全国がん登録制度」を作ったのです。実際のデータを見てみると、2014年に新たに診断された「がん（罹患全国合計値）」は867,408例です。その2年後の「全国がん登録制度」の集計では、995,131例ですので、2年間で13万人も「がん」になる人が増えたことになります。正しい数値は「全国がん登録制度」から得られた値ですので、2015年までの「がん統計」はかなりの誤差を含んでいることがわかります。これくらいの誤差は仕方ないのでしょうか？

「がん登録」の必要性は以下のように説明されます。

「がん」に対する正確なデータを基に、どの程度の医療施設をどの地域に配置が必要か、どのような技術を持った医師がどの程度必要か、がん検診の対象年齢は何歳から何歳までが妥当か、などの計画や対策を行うことができます。

それだけでしょうか？

私個人は、消化器がんの外科的治療に日々邁進してきました。一外科医が1日に治療（手術）できる患者は1人です。

私の治療は本当に有益なのか？間違っていないか？

答えの出ないかもしれない疑問や不安に対し自問自答しながら、毎日の診療を行ってきました。

医師個人や施設の治療成績は算出することは可能です。しかし、そのデータが地域や国にどのように反映されているのか、貢献しているのかを知るすべはありません。

私個人は、治療成績、例えば5年生存率の改善を「がん登録」データで確認することで、自分自身を鼓舞してきました。「がん」に携わる医師は、それら罹患率や治療成績に一喜一憂し、己の進んできた道やこれから進むべき道を確かめます。その道標となるのが「がん」に対する正確な情報です。私たちは2016年から、ようやく「全国がん登録制度」を開始し、2019年にようやく我が国の「がん」の実態を知ることができました。これは、非常に大きな第一歩です。

この「がん登録」が、次の時代への大きなマイルストーンとなることを願っています。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	842	81.1%	岡山市北区	254
			岡山市中区	257
			岡山市南区	69
			岡山市東区	110
			玉野市	24
			備前市	44
			瀬戸内市	42
			赤磐市	35
			和気郡和気町	1~3
			加賀郡吉備中央町	4~6
県南西部保健医療圏	62	6.0%	倉敷市	37
			笠岡市	4~6
			井原市	1~3
			総社市	14
			浅口市	1~3
			都窪郡早島町	0
			浅口郡里庄町	0
			小田郡矢掛町	1~3
高梁・新見保健医療圏	27	2.6%	高梁市	13
			新見市	14
真庭保健医療圏	13	1.3%	真庭市	13
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	30	2.9%	津山市	14
			美作市	7~9
			苫田郡鏡野町	1~3
			勝田郡勝央町	1~3
			勝田郡奈義町	1~3
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1~3
県外	64	6.2%		64
			合計	1,038

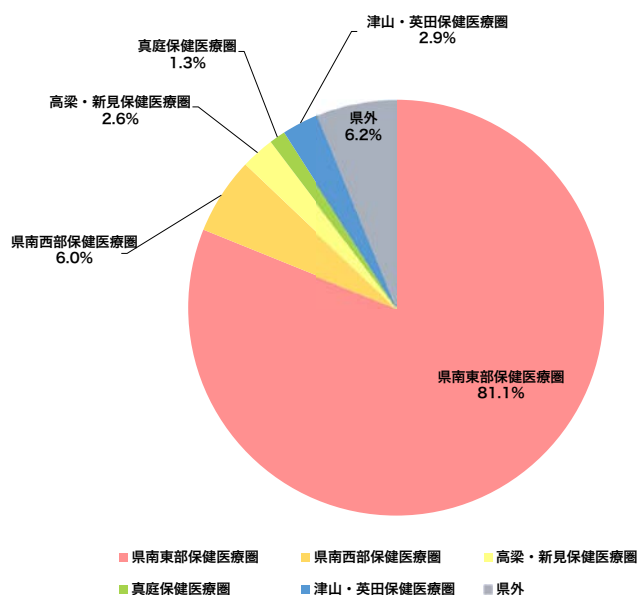
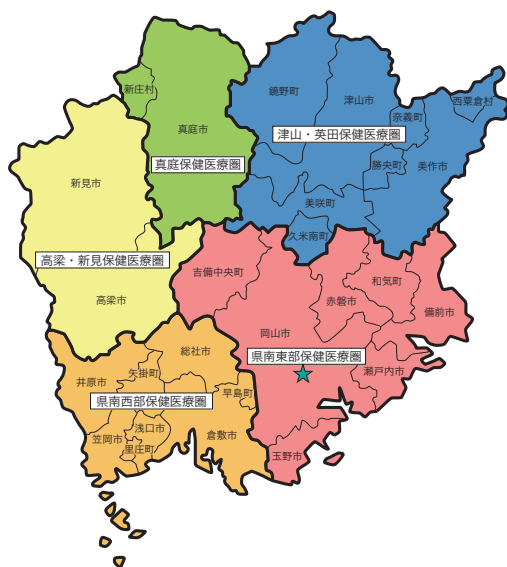
担当医療圏

担当医療圏
県南東部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
81.1%

県内担当医療圏外の割合
12.7%

県外患者住所の割合
6.2%



倉敷成人病センター

基 本 情 報	
病 院 名	一般財団法人 倉敷成人病センター
所 在 地	岡山県倉敷市白楽町 250 番地
電 話 (代 表)	086-422-2111
ホームページ	http://www.fkmc.or.jp/
交通アクセス	倉敷駅より徒歩約 20 分、バスまたはタクシーで約 5 分

集計期間：2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

診 療 案 内			
診 療 科※ ₄	内科、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、リウマチ科、泌尿器科、外科、整形外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、眼科、放射線科、麻酔科、消化器内科、消化器外科、病理診断科 合計 18 診療科		
病 床 数※ ₄	269 床	平均在院日数※ ₁	6.5 日
入院患者のべ数※ ₂	75,205 人	外来患者のべ数※ ₃	255,624 人
院内がん登録実務者数 (研修終了者数)※ ₄	実務者 2 名 (中級者 1 名 初級者 1 名)		

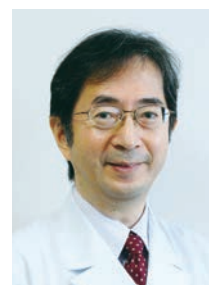
※₁ 在院患者延数÷{(新入院患者数+退院患者数)×0.5}、小数点第2位四捨五入

※₂ 在院患者延数 (24 時時点)

※₃ 初再診合わせた患者延数

※₄ 2019 年 6 月 30 日現在





倉敷成人病センター 院長

梅川 康 弘

当院は、平成 24 年に「がん診療連携推進病院」の指定を受け、婦人科、泌尿器科、乳腺外科などを中心に、質の高いがん治療を提供すべく積極的に取り組んでいます。

内視鏡手術センターでは、平成 25 年 9 月に中四国地方の民間病院として初めて内視鏡手術支援ロボット「ダヴィンチ Si」を導入し、子宮がんや前立腺がん、腎臓がんの治療を行ってきましたが、昨年 9 月に 4 世代目となる最新機種「ダヴィンチ Xi」に更新し、より患者さんの体への負担が少ない低侵襲手術を目指しています。

外科では、消化器がんにおいて、消化器内科・放射線科と合同カンファレンスを行い、診断から手術、術前術後化学療法などの集学的治療を行っています。また、臓器別専門外来として 2017 年 呼吸器外科外来、2018 年 肝胆膵外科外来を開設し、それぞれの専門医を中心に高難度手術を手掛けています。乳がんにおいては専門医と専門看護師が治療を行い、治療薬に対して抗がん剤以外に、分子標的薬、遺伝子関連の薬剤を乳癌診療ガイドラインおよびエビデンスに基づき適切に使用することにより患者さんの治療および QOL（生活の質）の向上に努めています。

外来では、リスクの高いがん薬物療法を安全かつ効率的に提供するため、主治医だけではなく専門性を持った複数のスタッフが連携を取りながら「がん医療」を提供しています。がん専門薬剤師が患者さんと面談を実施する「サポート外来」を平成 20 年に全国で初めて開設し、主治医からの依頼に応じて併診する体制を運用しています。医師の診察前に薬剤師が投与量の調整や支持療法を具体的に設計し主治医に提案し、患者さんに安楽で最適な薬物療法を提供できるよう努めています。

がん相談支援センターでは、国立がん研究センターの認定を受けた「がん専門」の相談員が患者さんやご家族が安心して療養を続けることができるよう、がんに関するさまざまな悩みや不安などの相談を受けたり、がんに関する情報提供を行うなど患者さんの心に寄り添ったサポートをしています。

当院のトピックスとして、現在、建築工事が進んでいる新棟は 6 階建てで竣工を今年秋に、そして稼働開始を来年早期に予定しております。2 階と 3 階は眼科のアイセンターを設置、現在手狭になっている外来を広げ、注射などの処置もゆったり行えるようになります。手術室は新たに 8 室整備し、現在の建物と合わせて 15 室になります。放射線治療室も設置し、手術後も当院で一貫した治療が行えるようになります。

今後も、当院の特色を生かした質の高いがん医療を提供するとともに、がん診療連携拠点病院と連携して、がん医療連携の推進およびがん医療水準の向上に取り組んでまいります。

二次医療圏別 全登録数と登録割合

医療圏	登録数	登録割合	市町村	登録数
県南東部保健医療圏	57	7.2%	岡山市北区	14
			岡山市中区	10
			岡山市南区	20
			岡山市東区	1～3
			玉野市	7～9
			備前市	0
			瀬戸内市	0
			赤磐市	1～3
			和気郡和気町	0
			加賀郡吉備中央町	4～6
県南西部保健医療圏	616	77.9%	倉敷市	504
			笠岡市	18
			井原市	7～9
			総社市	40
			浅口市	23
			都窪郡早島町	4～6
			浅口郡里庄町	4～6
			小田郡矢掛町	13
高梁・新見保健医療圏	21	2.7%	高梁市	12
			新見市	7～9
真庭保健医療圏	4～6	0.5%	真庭市	4～6
			真庭郡新庄村	0
津山・英田保健医療圏	4～6	0.8%	津山市	4～6
			美作市	0
			苫田郡鏡野町	0
			勝田郡勝央町	0
			勝田郡奈義町	0
			英田郡西粟倉村	0
			久米郡久米南町	0
			久米郡美咲町	1～3
県外	87	11.0%		87
			合計	791

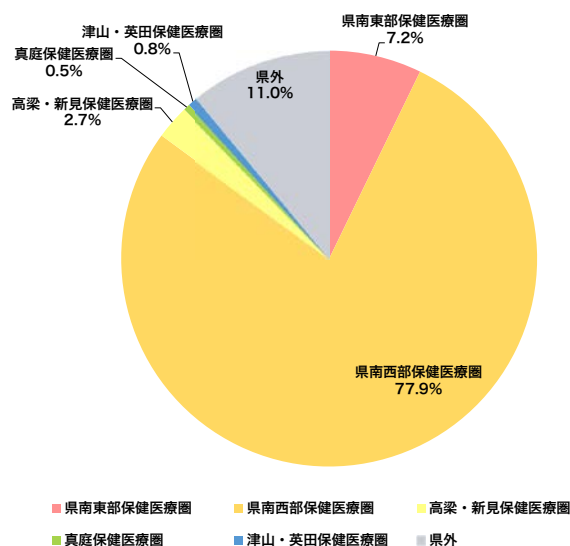
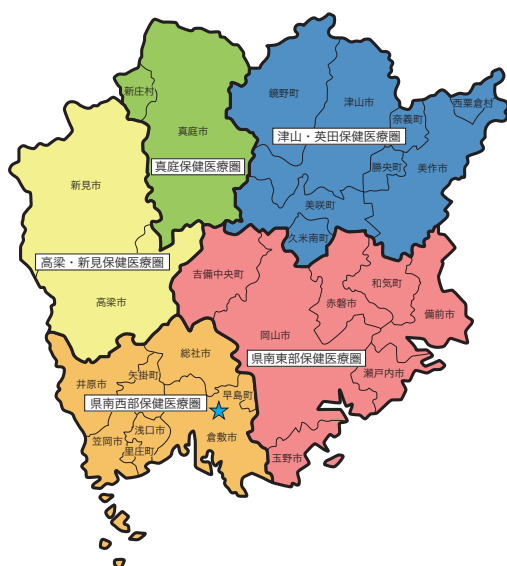
担当医療圏

担当医療圏
県南西部保健医療圏

担当医療圏内における
患者住所の割合
77.9%

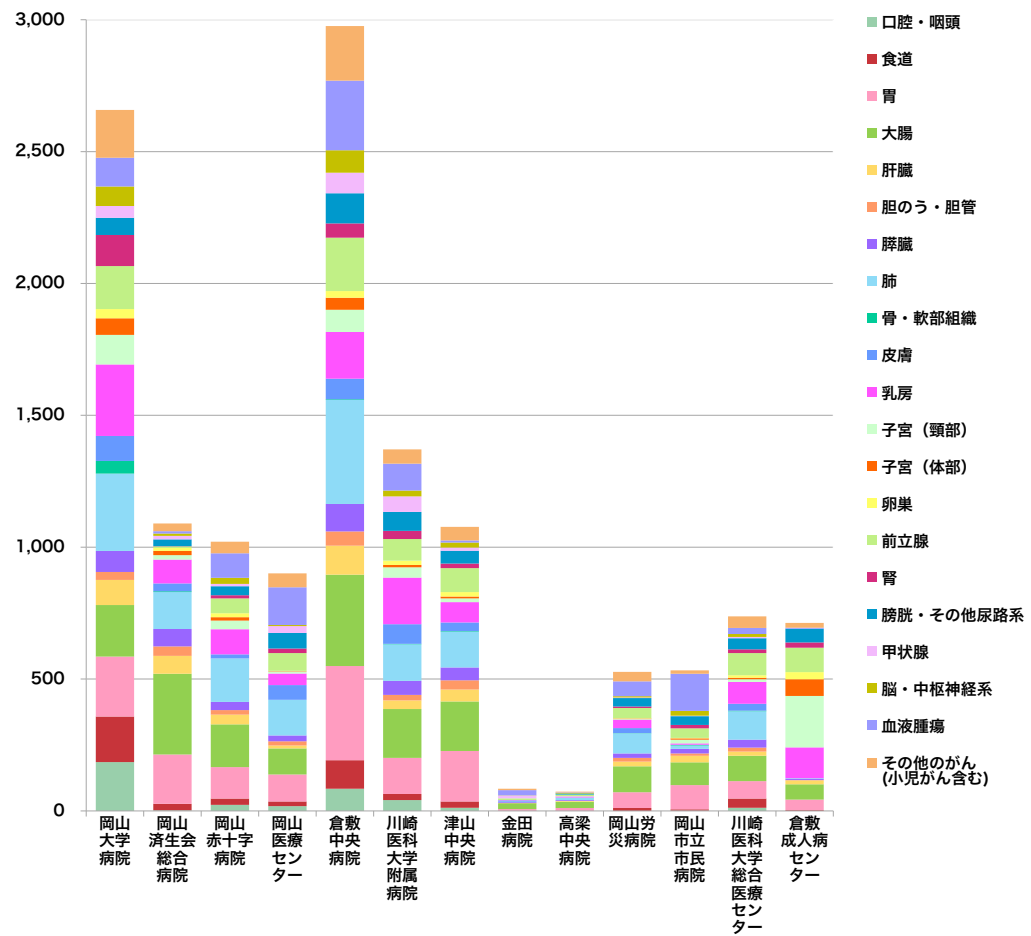
県内担当医療圏外の割合
11.1%

県外患者住所の割合
11.0%



岡山県院内がん登録 初回治療数 集計結果

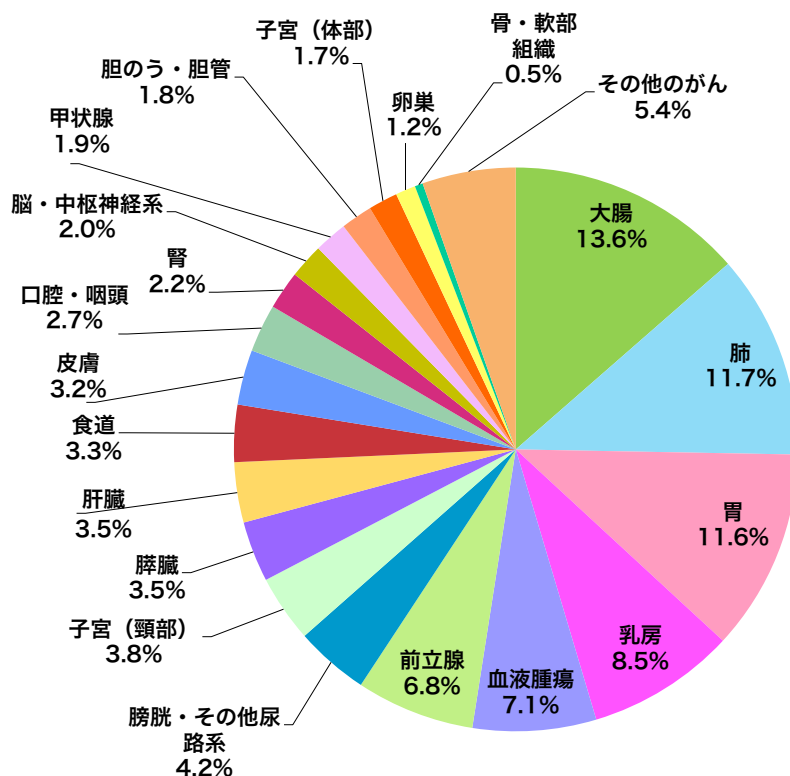
施設別 初回治療数



部位	岡山大学病院	岡山済生会総合病院	岡山赤十字病院	岡山医療センター	倉敷中央病院	川崎医科大学附属病院	津山中央病院	金田病院	高梁中央病院	岡山労災病院	岡山市立病院	川崎医科大学総合医療センター	倉敷成人病センター
口腔・咽頭	185	1-3	23	18	84	41	12	0	0	0	1-3	12	0
食道	173	25	24	18	108	23	24	1-3	1-3	11	4-6	35	1-3
胃	227	187	119	102	357	137	191	4-6	10	60	92	66	40
大腸	196	306	162	99	347	185	188	22	24	98	86	96	58
肝臓	95	68	37	11	110	33	45	0	1-3	18	25	16	15
胆のう・胆管	30	36	17	16	54	21	35	1-3	0	14	7-9	15	1-3
膵臓	80	66	31	22	104	53	49	1-3	1-3	17	17	30	4-6
肺	293	140	165	135	394	139	136	1-3	10	76	13	108	1-3
骨・軟部組織	48	1-3	0	0	1-3	1-3	1-3	0	0	1-3	1-3	1-3	0
皮膚	95	30	16	56	78	74	33	4-6	0	19	1-3	26	1-3
乳房	271	90	95	44	177	177	77	1-3	4-6	32	4-6	83	117
子宮（頸部）	112	17	33	7-9	84	39	14	0	1-3	1-3	14	10	195
子宮（体部）	63	16	13	1-3	46	7-9	7-9	0	0	1-3	4-6	4-6	63
卵巣	35	11	15	1-3	25	16	17	0	0	1-3	1-3	7-9	27
前立腺	163	4-6	56	68	203	82	91	7-9	4-6	39	36	85	93
腎	118	1-3	12	17	54	31	17	0	0	4-6	13	14	20
膀胱・その他泌尿系	65	26	34	59	114	72	49	0	4-6	32	33	42	52
甲状腺	45	13	7-9	26	78	59	12	10	0	1-3	1-3	4-6	0
脳・中枢神経系	74	7-9	23	4-6	85	22	19	1-3	1-3	4-6	18	11	0
血液腫瘍	109	7-9	93	143	264	102	7-9	20	1-3	56	141	23	4-6
その他のがん（小児がん含む）	181	29	44	53	207	54	51	4-6	1-3	36	13	44	18
総計	2,658	1,090	1,021	901	2,976	1,371	1,077	84	73	527	533	738	713

部位別 初回治療数

部位別 全体

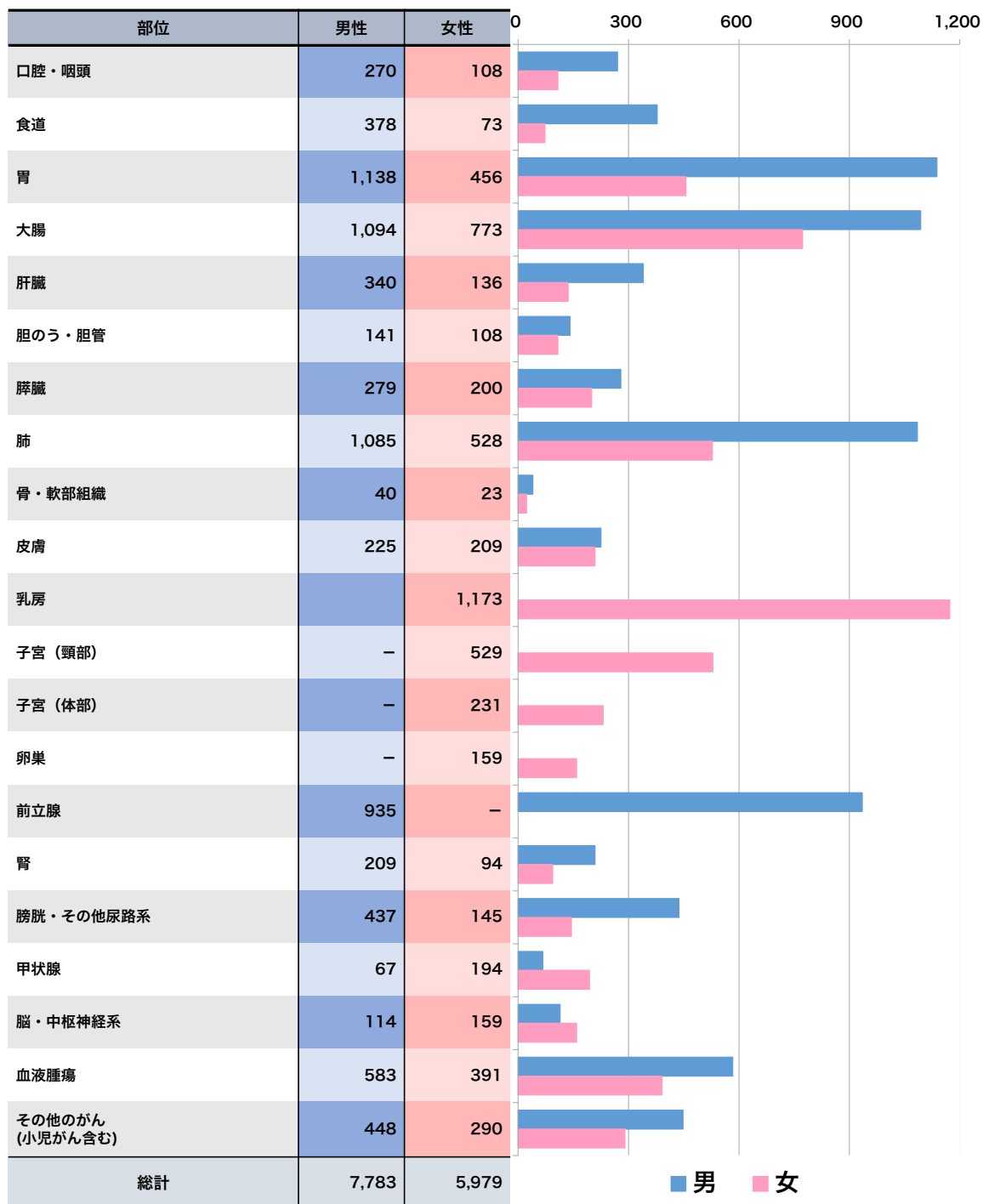


部位	登録数
大腸	1,867
肺	1,613
胃	1,594
乳房	1,173
血液腫瘍	974
前立腺	935
膀胱・その他尿路系	582
子宮（頸部）	529
膵臓	479
肝臓	476
食道	451
皮膚	434
口腔・咽頭	378
腎	303
脳・中枢神経系	273
甲状腺	261
胆のう・胆管	249
子宮（体部）	231
卵巣	159
骨・軟部組織	63
その他のがん(小児がん含む)	738
総計	13,762

その他のがん 内訳

部位	登録数
小児がん	58
その他のがん	680
総計	738

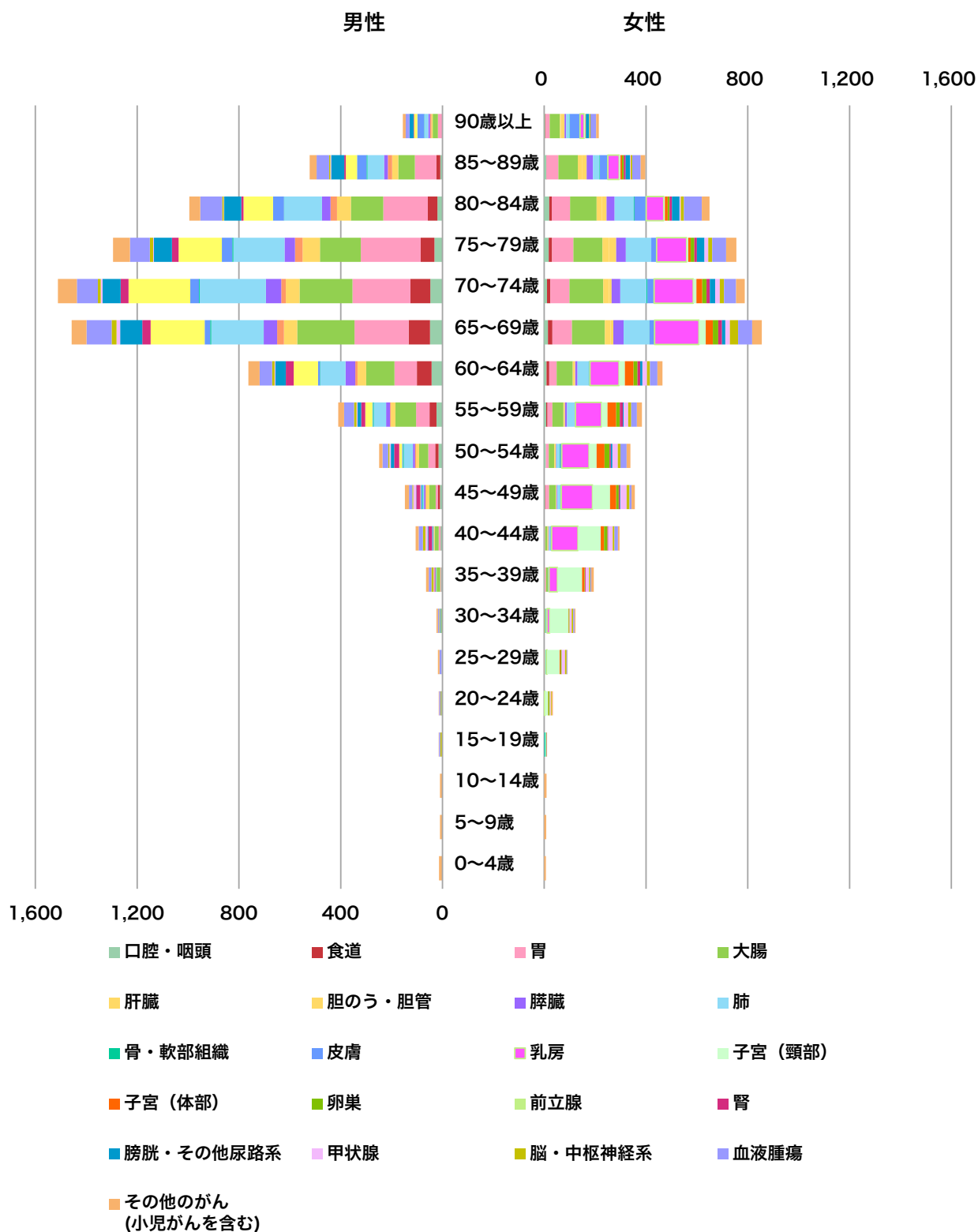
部位別 性別



その他のがん 内訳

部位	男性	女性
小児がん	34	24
その他のがん	414	266
総計	448	290

部位別 年齢階級別 性別



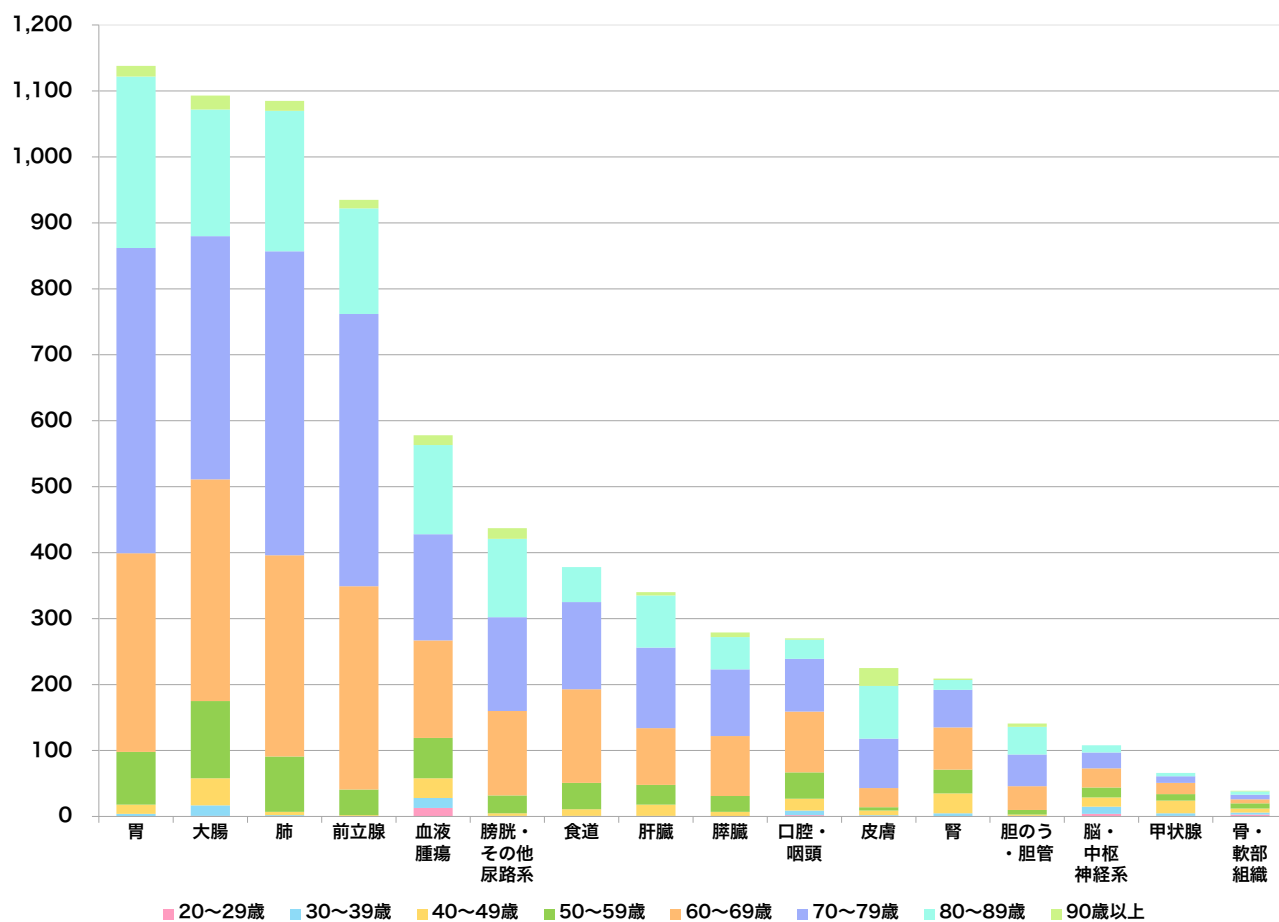
部位別 年齢階級別 男性

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆のう・胆管	膵臓	肺	骨・軟部組織	皮膚	前立腺	腎	膀胱・その他泌尿系	甲状腺	脳・中枢神経系	血液腫瘍	(小児がん含む) その他のがん
90歳以上	1-3	0	16	21	4-6	4-6	7-9	15	1-3	27	13	1-3	16	0	0	15	11
85~89歳	7-9	15	85	65	24	17	15	65	4-6	37	44	4-6	52	1-3	4-6	49	27
80~84歳	20	38	175	127	55	25	34	148	1-3	43	116	7-9	67	1-3	4-6	86	43
75~79歳	32	54	235	161	68	30	41	201	4-6	41	170	26	71	1-3	13	78	67
70~74歳	48	78	228	208	54	18	60	260	1-3	34	243	31	71	7-9	11	83	74
65~69歳	49	84	213	225	52	27	53	206	4-6	22	212	33	87	14	19	99	58
60~64歳	43	58	88	111	34	7-9	38	99	1-3	7-9	96	31	41	1-3	10	49	44
55~59歳	24	27	53	81	18	1-3	16	48	4-6	1-3	28	16	14	4-6	10	39	23
50~54歳	16	13	27	36	12	4-6	7-9	36	4-6	1-3	11	20	13	4-6	4-6	22	13
45~49歳	10	7-9	7-9	25	13	1-3	4-6	4-6	4-6	1-3	15	1-3	11	4-6	13	16	16
40~44歳	7-9	1-3	4-6	16	4-6	0	1-3	1-3	1-3	1-3	0	15	1-3	7-9	10	17	12
35~39歳	4-6	1-3	1-3	14	1-3	0	0	1-3	1-3	1-3	0	4-6	0	1-3	7-9	10	11
30~34歳	1-3	0	1-3	1-3	0	1-3	0	0	1-3	0	0	1-3	1-3	1-3	1-3	4-6	4-6
25~29歳	1-3	0	0	1-3	0	0	0	0	1-3	0	0	0	0	1-3	0	7-9	4-6
20~24歳	1-3	0	0	0	0	0	0	0	1-3	1-3	0	0	0	0	4-6	4-6	1-3
15~19歳	0	0	0	1-3	0	0	0	0	1-3	0	0	0	0	1-3	4-6	4-6	1-3
10~14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
5~9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
0~4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
総計	270	378	1,138	1,094	340	141	279	1,085	40	225	935	209	437	67	114	583	448

部位別 年齢階級別 女性

	口腔・咽頭	食道	胃	大腸	肝臓	胆のう・胆管	膵臓	肺	骨・軟部組織	皮膚	乳房	子宮(頸部)	子宮(体部)	卵巣	腎	膀胱・その他泌尿系	甲状腺	脳・中枢神経系	血液腫瘍	(小児がん含む) その他のがん
90歳以上	4-6	1-3	16	40	4-6	14	4-6	14	1-3	40	16	4-6	1-3	0	0	13	1-3	4-6	22	11
85~89歳	7-9	1-3	47	76	18	17	25	25	1-3	31	45	4-6	4-6	7-9	7-9	17	1-3	4-6	33	18
80~84歳	20	10	72	104	21	18	32	75	1-3	46	69	4-6	11	7-9	7-9	30	4-6	12	70	31
75~79歳	18	13	84	114	26	28	38	100	0	21	118	4-6	10	14	10	30	15	15	55	40
70~74歳	11	13	75	133	23	10	34	103	4-6	26	154	12	23	17	13	21	18	17	47	34
65~69歳	15	17	77	129	23	11	40	101	1-3	20	174	27	28	21	15	13	18	32	55	38
60~64歳	7-9	11	29	63	7-9	1-3	7-9	44	1-3	4-6	114	23	34	16	10	7-9	18	12	29	20
55~59歳	7-9	4-6	19	44	1-3	1-3	7-9	29	0	4-6	102	24	34	14	12	4-6	17	12	22	20
50~54歳	4-6	0	12	22	1-3	4-6	1-3	13	1-3	4-6	107	30	31	20	4-6	4-6	21	11	24	15
45~49歳	4-6	1-3	14	27	1-3	1-3	1-3	11	1-3	1-3	123	69	24	10	4-6	1-3	24	11	7-9	13
40~44歳	1-3	0	1-3	7-9	4-6	0	1-3	4-6	1-3	4-6	104	89	13	14	1-3	0	17	7-9	14	4-6
35~39歳	1-3	0	4-6	7-9	1-3	0	1-3	1-3	1-3	1-3	33	97	7-9	1-3	1-3	0	12	4-6	4-6	10
30~34歳	1-3	0	1-3	1-3	0	0	0	1-3	1-3	1-3	11	73	1-3	1-3	0	0	7-9	4-6	4-6	4-6
25~29歳	0	0	1-3	1-3	1-3	0	0	1-3	1-3	1-3	50	1-3	4-6	1-3	0	13	4-6	1-3	1-3	1-3
20~24歳	1-3	0	1-3	0	0	0	0	0	0	1-3	12	1-3	4-6	0	0	4-6	1-3	0	4-6	4-6
15~19歳	0	0	0	0	0	0	0	1-3	4-6	0	0	1-3	0	1-3	1-3	0	0	0	0	0
10~14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7-9
5~9歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7-9
0~4歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7-9
総計	108	73	456	773	136	108	200	528	23	209	1,173	529	231	159	94	145	194	159	391	290

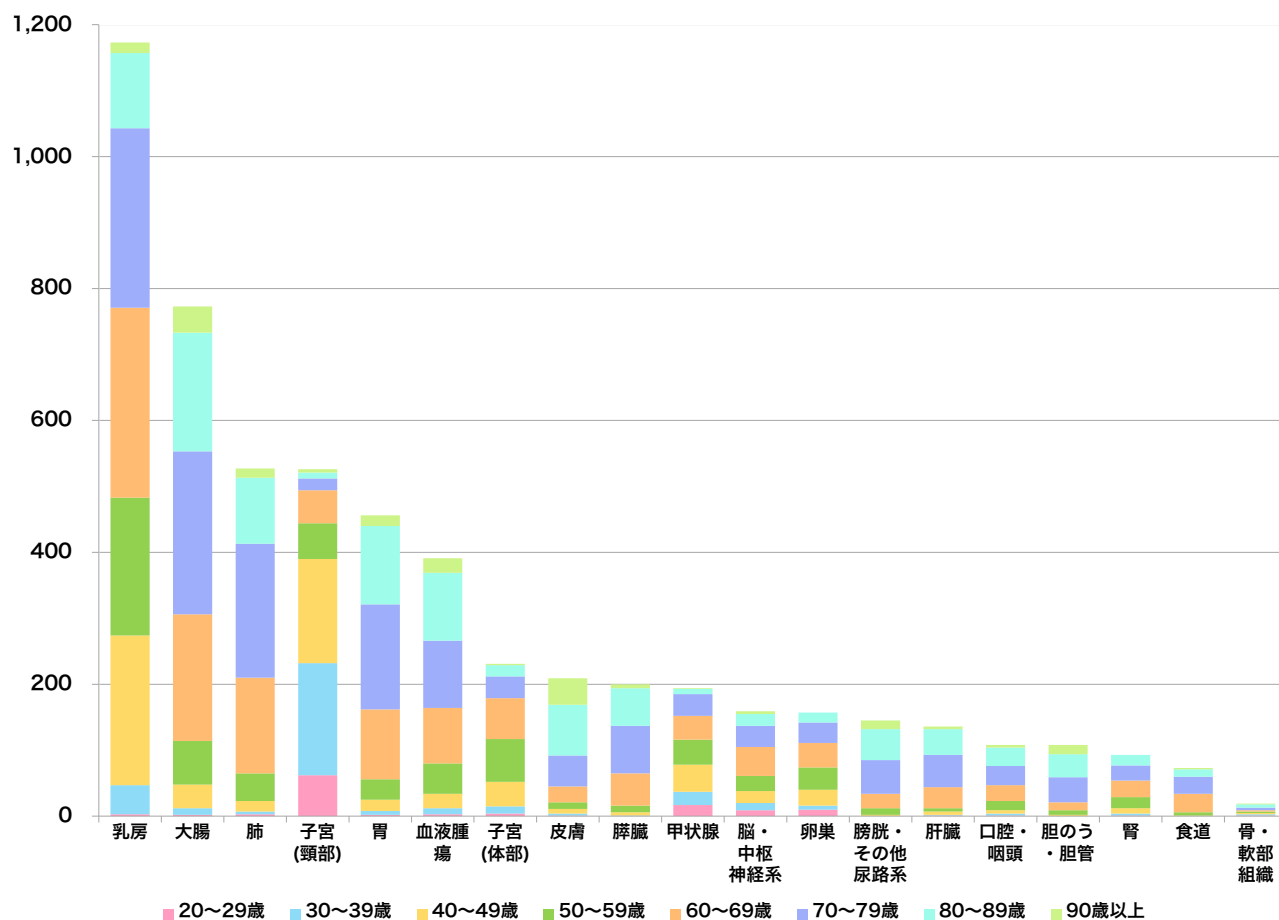
部別 年齢階級別 男性



	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	合計
胃		4~6	14	80	301	463	260	16	1,138
大腸	1~3	16	41	117	336	369	192	21	1,093
肺		1~3	4~6	84	305	461	213	15	1,085
前立腺			1~3	39	308	413	160	13	935
血液腫瘍	13	15	30	61	148	161	135	15	578
膀胱・ その他尿路系		1~3	4~6	27	128	142	119	16	437
食道		1~3	10	40	142	132	53		378
肝臓		1~3	17	30	86	122	79	4~6	340
膵臓			7~9	24	91	101	49	7~9	279
口腔・咽頭	1~3	7~9	18	40	92	80	29	1~3	270
皮膚	1~3	1~3	7~9	4~6	29	75	80	27	225
腎		4~6	30	36	64	57	15	1~3	209
胆のう・胆管		1~3	1~3	7~9	36	48	42	4~6	141
脳・ 中枢神経系	4~6	11	14	15	29	24	11		108
甲状腺	1~3	4~6	19	10	17	10	4~6		66
骨・軟部組織	1~3	1~3	4~6	7~9	4~6	7~9	4~6	1~3	39
その他のがん	7~9	17	28	36	102	141	70	11	413
総計	33	89	254	659	2,220	2,806	1,517	156	7,734

注) その他のがんについては数値のみ表記

部位別 年齢階級別 女性

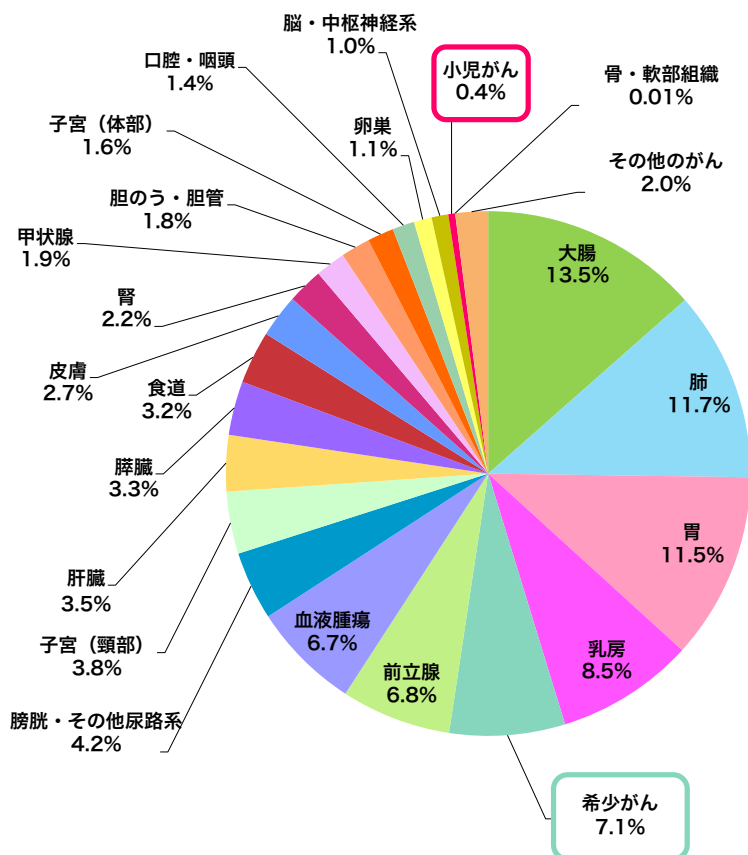


	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80~89歳	90歳以上	合計
乳房	1-3	44	227	209	288	272	114	16	1,173
大腸	1-3	10	36	66	192	247	180	40	773
肺	1-3	4-6	16	42	145	203	100	14	527
子宮（頸部）	62	170	158	54	50	18	7-9	4-6	526
胃	1-3	4-6	17	31	106	159	119	16	456
血液腫瘍	1-3	7-9	22	46	84	102	103	22	391
子宮（体部）	4-6	11	37	65	62	33	17	1-3	231
皮膚	1-3	1-3	7-9	10	24	47	77	40	209
膵臓		1-3	4-6	10	49	72	57	4-6	200
甲状腺	17	20	41	38	36	33	7-9	1-3	194
脳・中枢神経系	7-9	11	18	23	44	32	18	4-6	159
卵巣	10	4-6	24	34	37	31	15		157
膀胱・その他泌尿系			1-3	10	22	51	47	13	145
肝臓	1-3	1-3	4-6	4-6	32	49	39	4-6	136
口腔・咽頭	1-3	1-3	4-6	14	24	29	28	4-6	108
胆のう・胆管			1-3	7-9	12	38	35	14	108
腎	1-3	1-3	7-9	17	25	23	16		93
食道			1-3	4-6	28	26	11	1-3	73
骨・軟部組織	1-3	1-3	1-3	1-3	1-3	4-6	4-6	1-3	19
その他のがん	4-6	14	19	35	58	74	49	11	266
総計	126	318	652	723	1,320	1,543	1,047	215	5,944

注）その他のがんについては数値のみ表記

部位別 初回治療数（小児がん・希少がん別集計）

部位別 全体



部位	登録数
大腸	1,858
肺	1,613
胃	1,586
乳房	1,172
希少がん	980
前立腺	933
血液腫瘍	918
膀胱・その他尿路系	582
子宮（頸部）	529
肝臓	476
膵臓	457
食道	447
皮膚	366
腎	303
甲状腺	256
胆のう・胆管	248
子宮（体部）	224
口腔・咽頭	186
卵巣	152
脳・中枢神経系	141
小児がん	58
骨・軟部組織	1~3
その他のがん	276
総計	13,762

希少がん 内訳

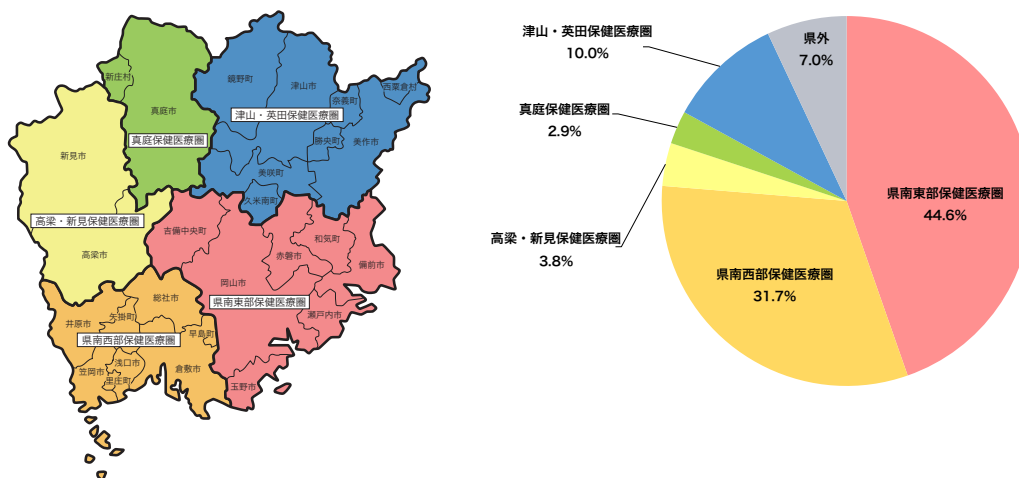
希少がん 種類	登録数
鼻腔、副鼻腔の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF NASAL CAVITY AND SINUSES)	16
鼻咽頭の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF NASOPHARYNX)	15
大唾液腺、唾液腺の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF MAJOR SALIVARY GLANDS AND SALIVARY-GLAND TYPE TUMOURS)	31
口腔の上皮性腫瘍 (Squamous cell carcinoma with variants of oral cavity)	144
小腸の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF SMALL INTESTINE)	36
肛門管の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF ANAL CANAL)	11
気管の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOUR OF TRACHEA)	1-3
胸腺の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF THYMUS)	35
子宮の上皮間葉系の混合性腫瘍 (MIXED EPITHELIAL AND MESENCHYMAL TUMOURS OF UTERUS)	7-9
卵巣の非上皮性腫瘍 (NON EPITHELIAL TUMOURS OF OVARY)	7-9
外陰、陰の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF VULVA AND VAGINA)	23
胎盤のトロボプラスト性腫瘍 (TROPHOBLASTIC TUMOUR OF PLACENTA)	0
精巣、精巣上体の腫瘍 (TUMOURS OF TESTIS AND PARATESTIS)	28
陰茎の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF PENIS)	12
眼と付属器の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF EYE AND ADNEXA)	4-6
中耳の上皮性腫瘍 (EPITHELIAL TUMOURS OF MIDDLE EAR)	0
悪性中皮腫 (MALIGNANT MESOTHELIOMA)	25
皮膚のメラノーマ (MALIGNANT SKIN MELANOMA)	44
粘膜のメラノーマ (MALIGNANT MELANOMA OF MUCOSA)	7-9
ぶどう膜のメラノーマ (MALIGNANT MELANOMA OF UVEA)	0
皮膚付属器腫瘍 (ADNEXAL CARCINOMA OF SKIN)	22
胎芽性腫瘍 (EMBRYONAL NEOPLASMS)	0
性腺外胚細胞腫瘍 (EXTRAGONADAL GERM CELL TUMOURS)	7-9
軟部肉腫 (SOFT TISSUE SARCOMA)	121
骨肉腫 (BONE SARCOMA)	15
GIST、悪性 (GASTROINTESTINAL STROMAL SARCOMA)	76
カポジ肉腫 (KAPOSI'S SARCOMA)	0
神経内分泌腫瘍 (NEUROENDOCRINE TUMOURS)	124
中枢神経のグリオーマ (GLIAL TUMOURS OF CENTRAL NERVOUS SYSTEM (CNS))	51
中枢神経、松果体の非グリオーマ (NON GLIAL TUMOURS OF CNS AND PINEAL GLAND)	1-3
髄膜腫 (MALIGNANT MENINGIOMAS)	57
末梢神経、脳神経、自律神経のグリオーマ (GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM)	0
末梢神経、脳神経、自律神経、傍神経節の非グリオーマ (NON-GLIAL TUMOURS OF CRANIAL AND PERIPHERAL NERVES, AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM AND PARAGANGLIA)	0
T及びNK細胞リンパ腫 (Non Hodgkin Mature T cell and NK-cell neoplasms)	49
骨髄異形成症候群 (MYELOYDYSPLASTIC/MYELOPROLIFERATIVE DISEASES)	4-6
組織球、樹状細胞性腫瘍 (HISTIOCYTIC AND DENDRITIC CELL NEOPLASMS)	1-3

※複数該当の場合は両方でカウント

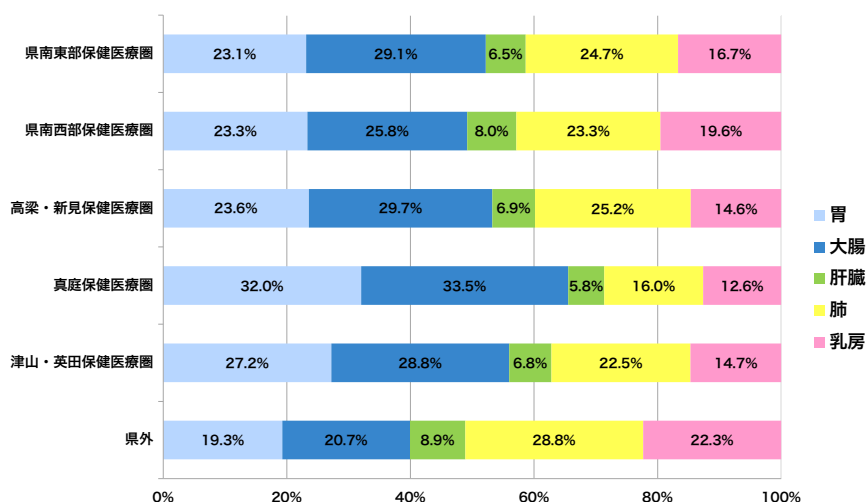
二次保健医療圏別の登録数

二次保健医療圏別 登録数と登録割合

圏域名	市町村名	13施設 登録数	割合
県南東部保健医療圏	岡山市北区 岡山市中区 岡山市南区 岡山市東区 玉野市 備前市 瀬戸内市 赤磐市 和気郡和気町 加賀郡吉備中央町	6,143	44.6%
県南西部保健医療圏	倉敷市 笠岡市 井原市 総社市 浅口市 都窪郡早島町 浅口郡里庄町 小田郡矢掛町	4,358	31.7%
高梁・新見保健医療圏	高梁市 新見市	518	3.8%
真庭保健医療圏	真庭市 真庭郡新庄村	399	2.9%
津山・英田保健医療圏	津山市 美作市 苫田郡鏡野町 勝田郡勝央町 勝田郡奈義町 英田郡西粟倉村 久米郡久米南町 久米郡美咲町	1,382	10.0%
県外		962	7.0%
合計		13,762	100.0%



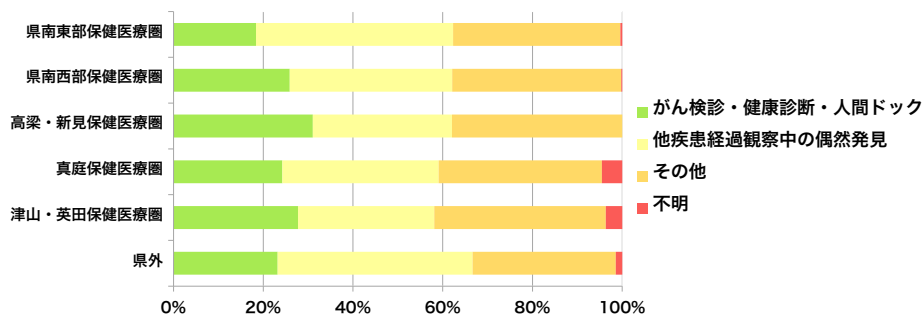
二次保健医療圏別 登録数と登録割合（5大がん）



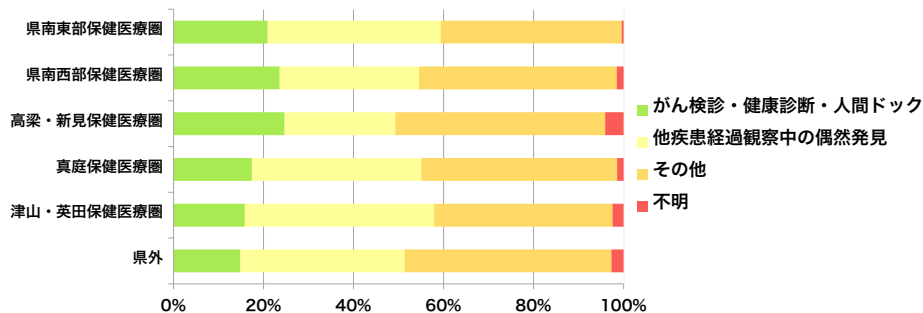
医療圏	県南東部 保健医療圏	県南西部 保健医療圏	高梁・新見 保健医療圏	真庭保健医療圏	津山・英田 保健医療圏	県外
医療圏別合計	3,176 (100.0%)	2,035 (100.0%)	246 (100.0%)	206 (100.0%)	702 (100.0%)	358 (100.0%)
胃	735 (23.1%)	475 (23.3%)	58 (23.6%)	66 (32.0%)	191 (27.2%)	69 (19.3%)
大腸	923 (29.1%)	526 (25.8%)	73 (29.7%)	69 (33.5%)	202 (28.8%)	74 (20.7%)
肝臓	205 (6.5%)	162 (8.0%)	17 (6.9%)	12 (5.8%)	48 (6.8%)	32 (8.9%)
肺	783 (24.7%)	474 (23.3%)	62 (25.2%)	33 (16.0%)	158 (22.5%)	103 (28.8%)
乳房	530 (16.7%)	398 (19.6%)	36 (14.6%)	26 (12.6%)	103 (14.7%)	80 (22.3%)

二次保健医療圏別 部位別 発見経緯

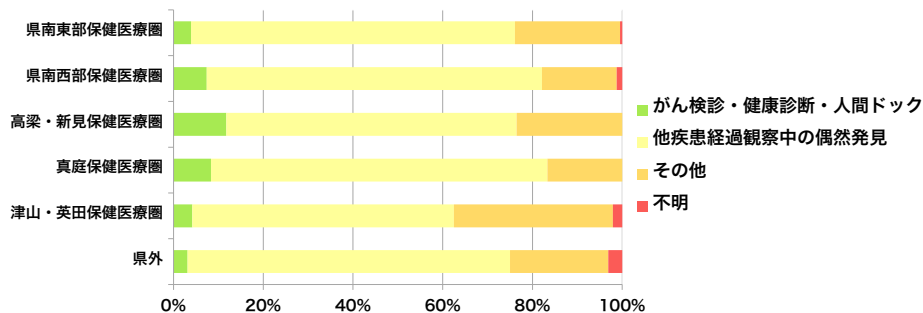
胃



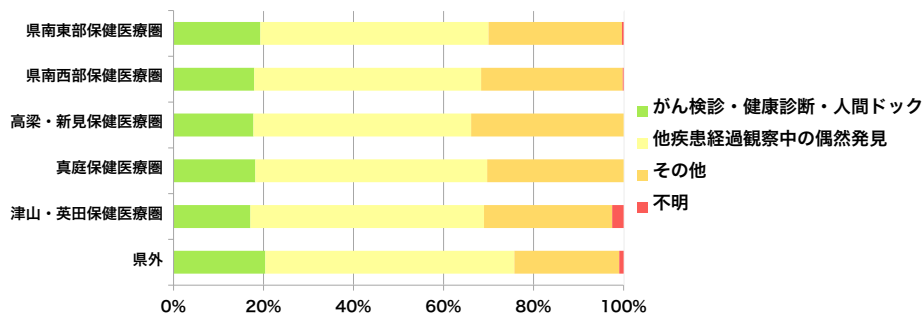
大腸



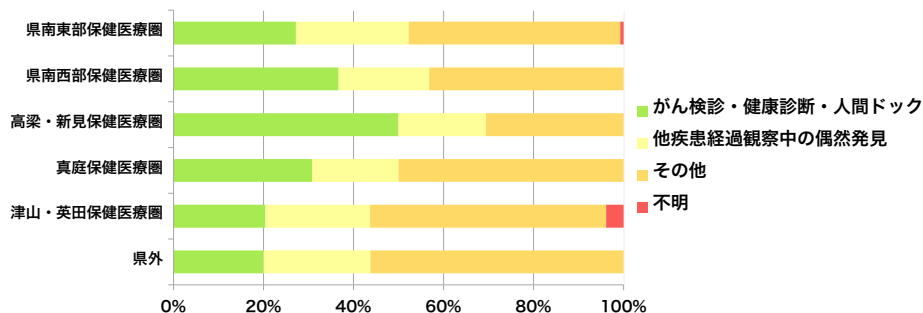
肝臓



肺

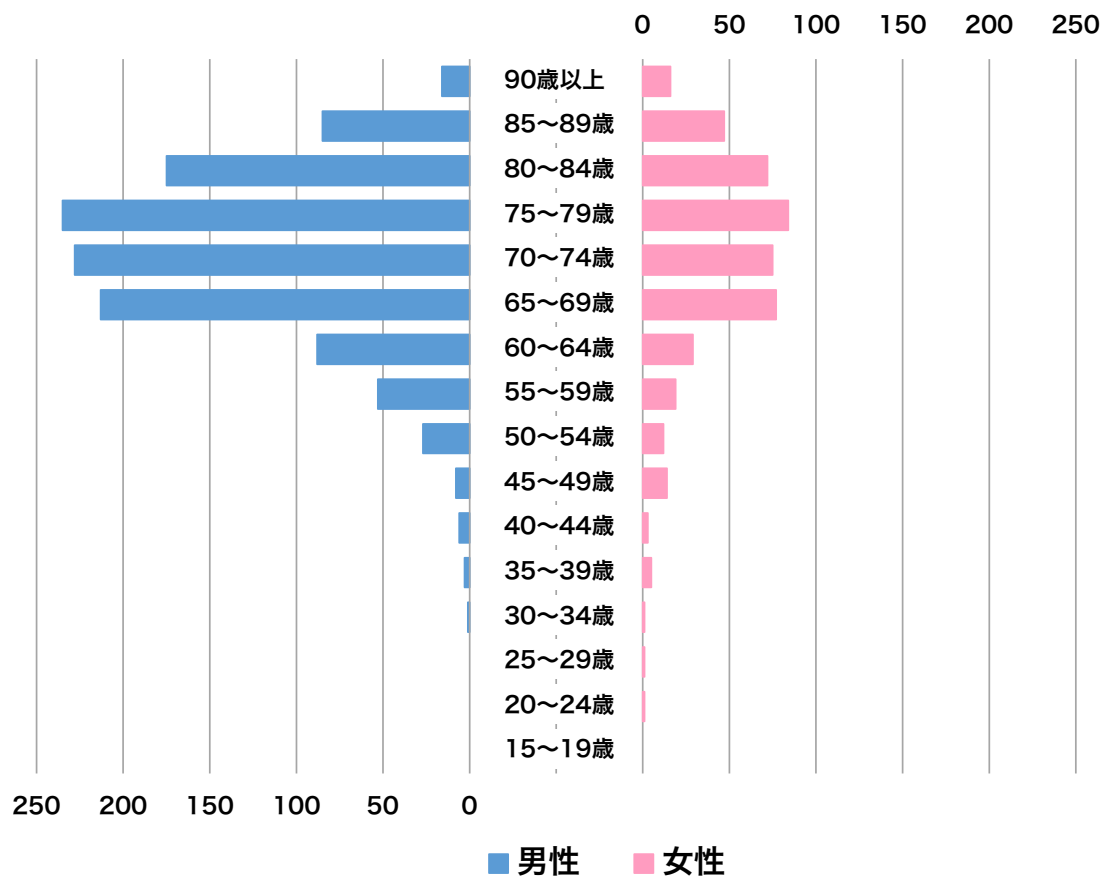


乳房

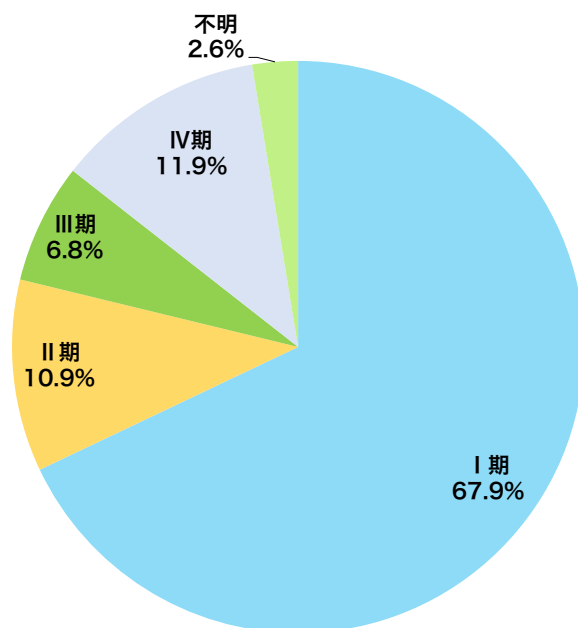


胃

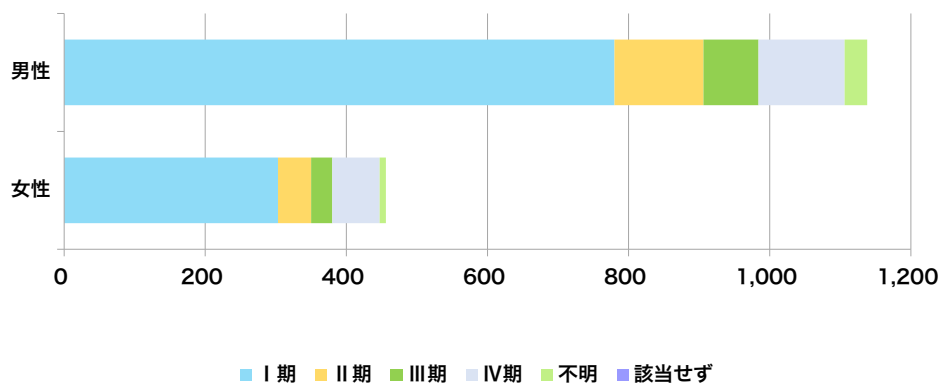
胃 年齢階級別



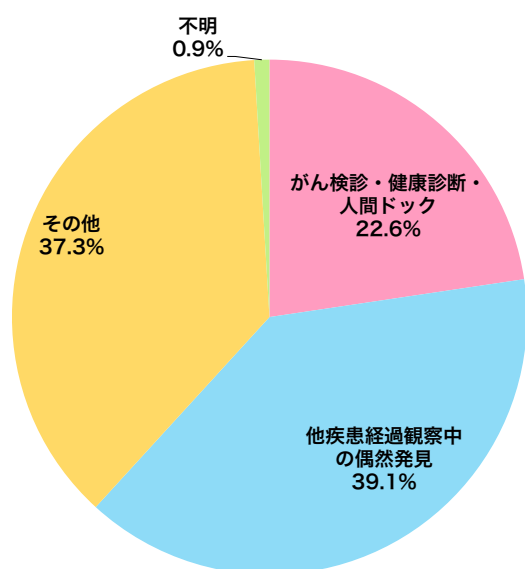
胃 ステージ 全体



胃 ステージ 性別



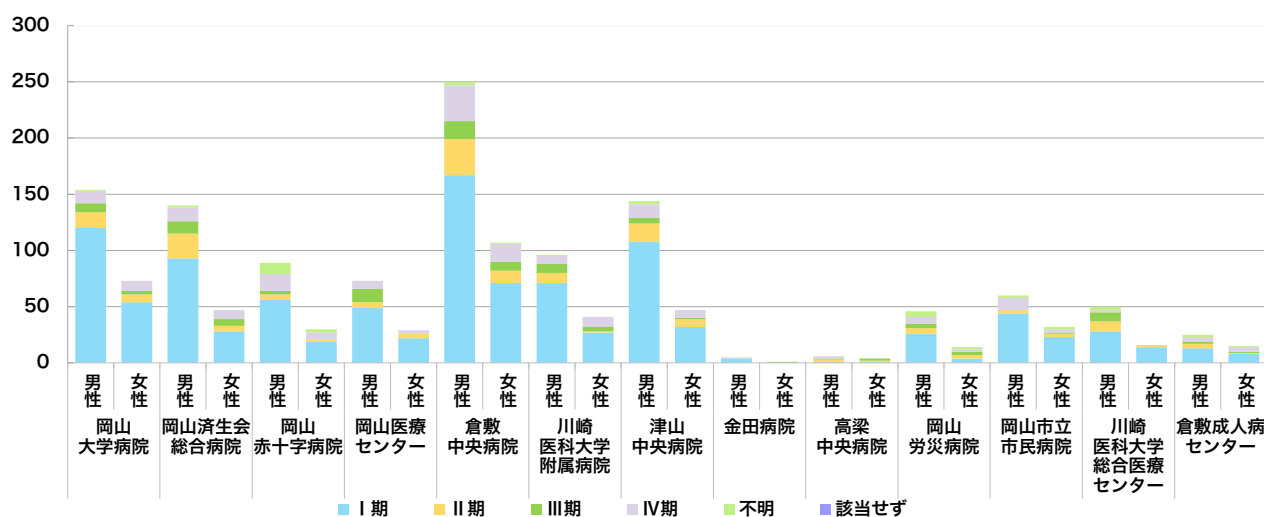
胃 発見経緯 全体



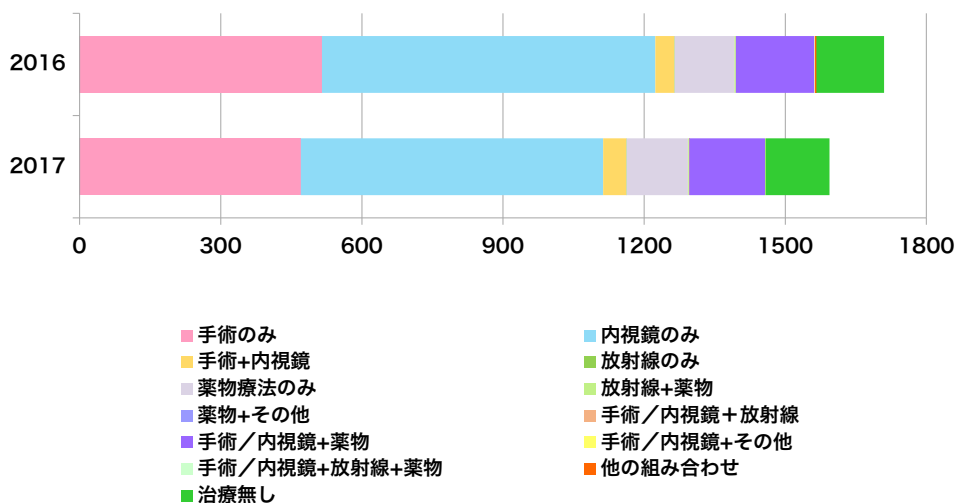
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	361
他疾患経過観察中の偶然発見	624
その他	594
不明	15
合計	1,594

※その他…自覚症状による受診を含む

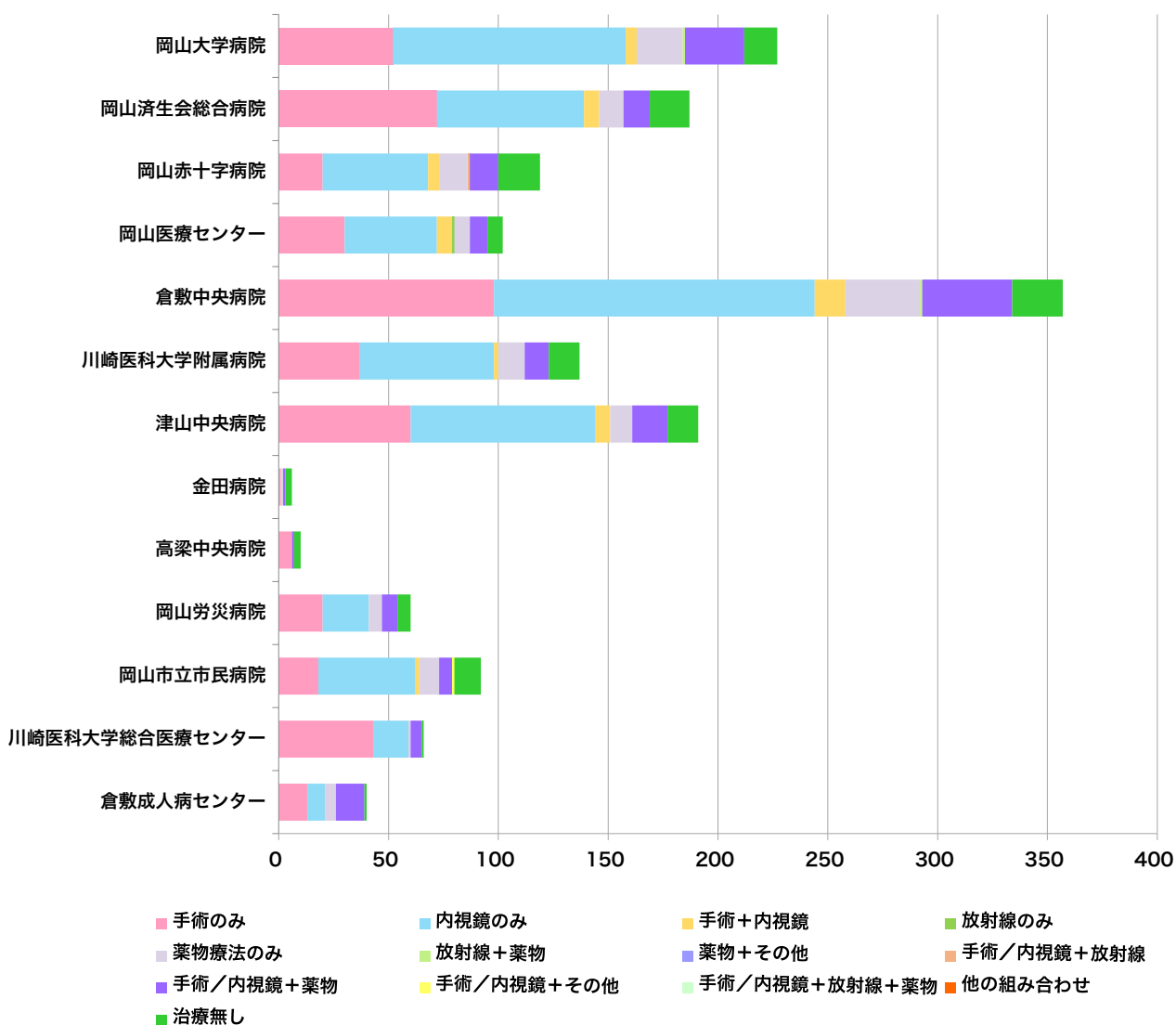
胃 ステージ 施設別



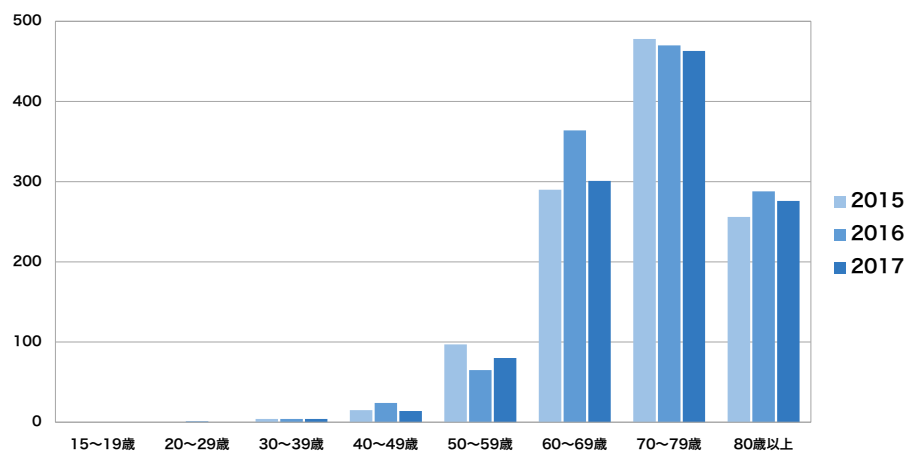
胃 初回治療法 年次推移



胃 初回治療法 施設別

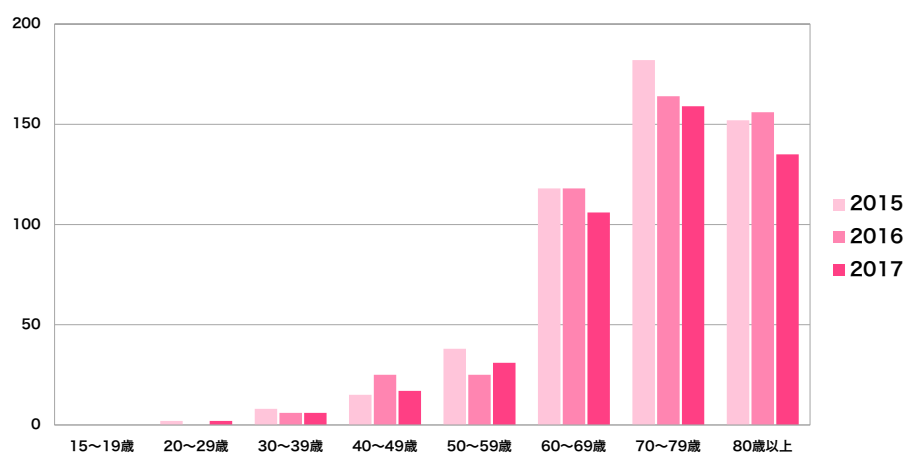


胃 年齢階級別 男性 年次推移



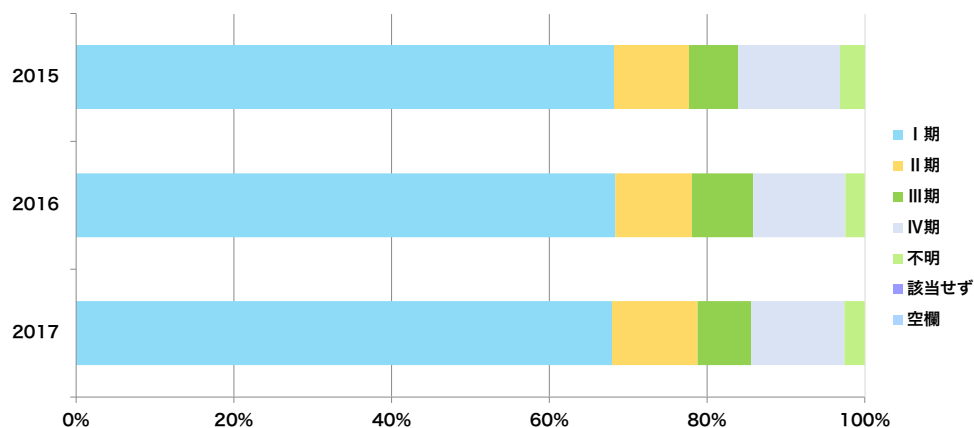
	2015	2016	2017
80歳以上	256	288	276
70~79歳	478	470	463
60~69歳	290	364	301
50~59歳	97	65	80
40~49歳	15	24	14
30~39歳	4~6	4~6	4~6
20~29歳		1~3	
15~19歳			
総計	1,140	1,216	1,138

胃 年齢階級別 女性 年次推移



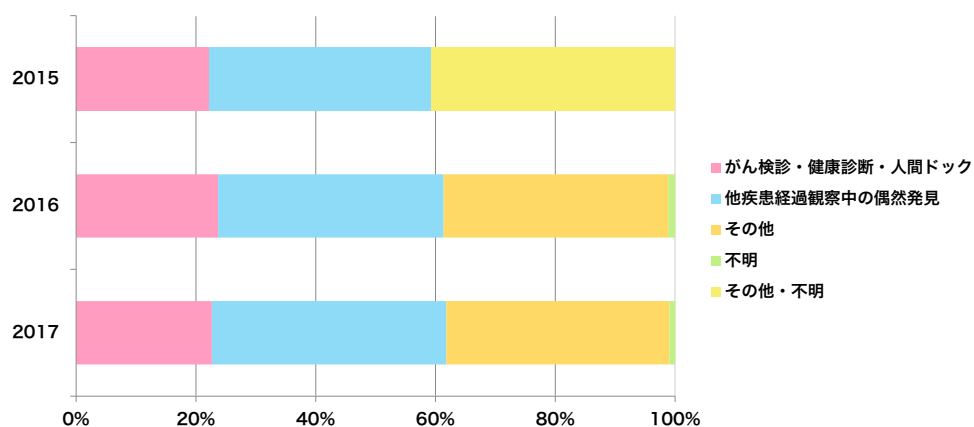
	2015	2016	2017
80歳以上	152	156	135
70~79歳	182	164	159
60~69歳	118	118	106
50~59歳	38	25	31
40~49歳	15	25	17
30~39歳	7~9	4~6	4~6
20~29歳	1~3		1~3
15~19歳			
総計	515	494	456

胃 ステージ別 年次推移



	2015	2016	2017
I期	1,129	1,169	1,083
II期	157	166	173
III期	104	133	108
IV期	213	200	189
不明	52	42	41
該当せず	—	—	—
空欄	—	—	—
合計	1,655	1,710	1,594

胃 発見経緯別 年次推移



	2015	2016	2017
がん検診・健康診断・人間ドック	367	405	361
他疾患経過観察中の偶然発見	615	644	624
その他	—	641	594
不明	—	20	15
その他・不明	673	—	—
合計	1,655	1,710	1,594

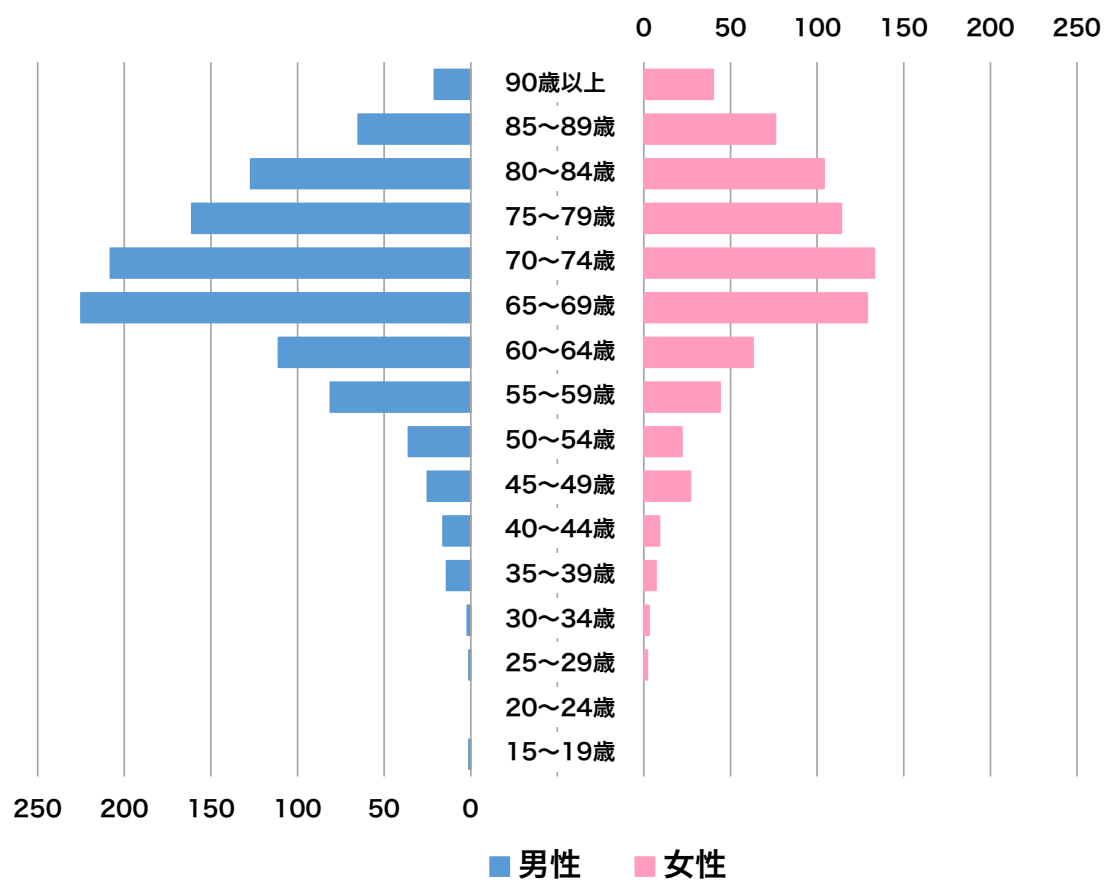
注釈

2015年症例までは「その他・不明」で登録していたものを、2016年症例からは「その他」と「不明」に分けて登録することになった。

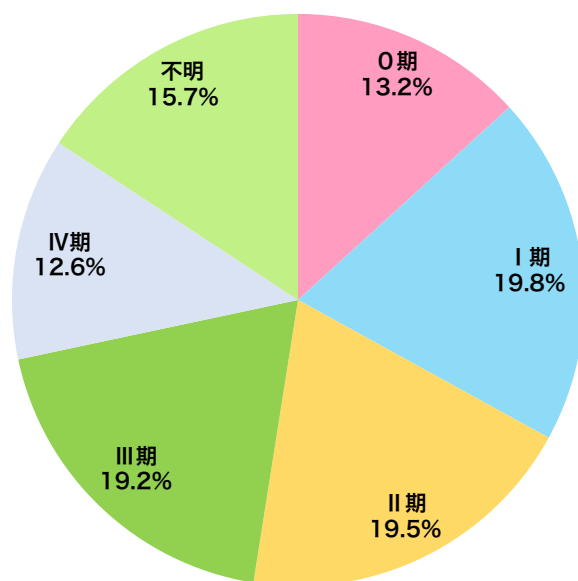
その他・・・自覚症状による受診を含む

大腸

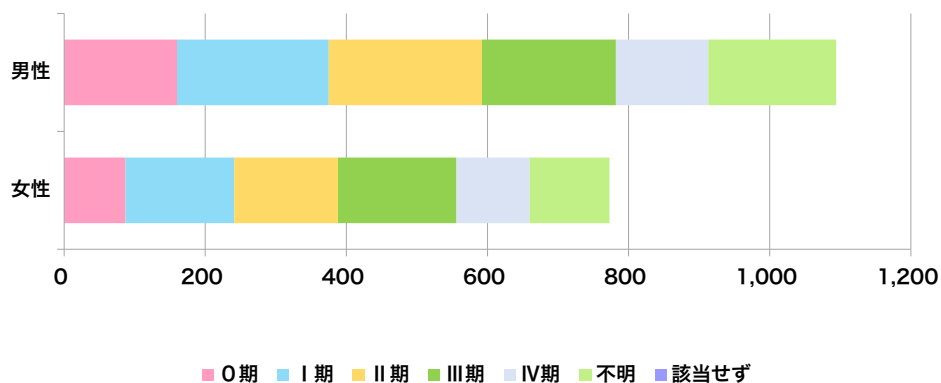
大腸 年齢階級別



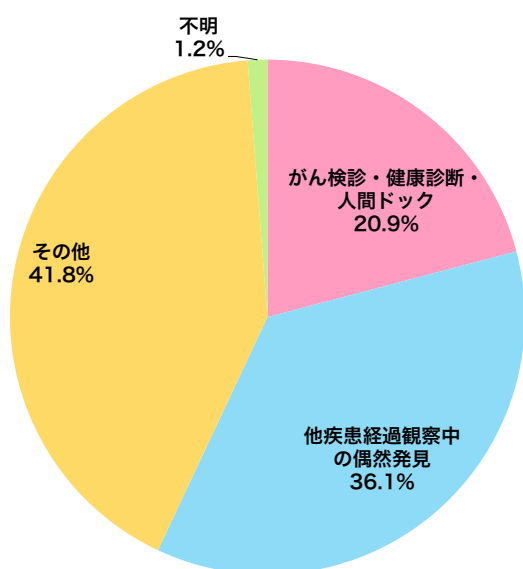
大腸 ステージ 全体



大腸 ステージ 性別



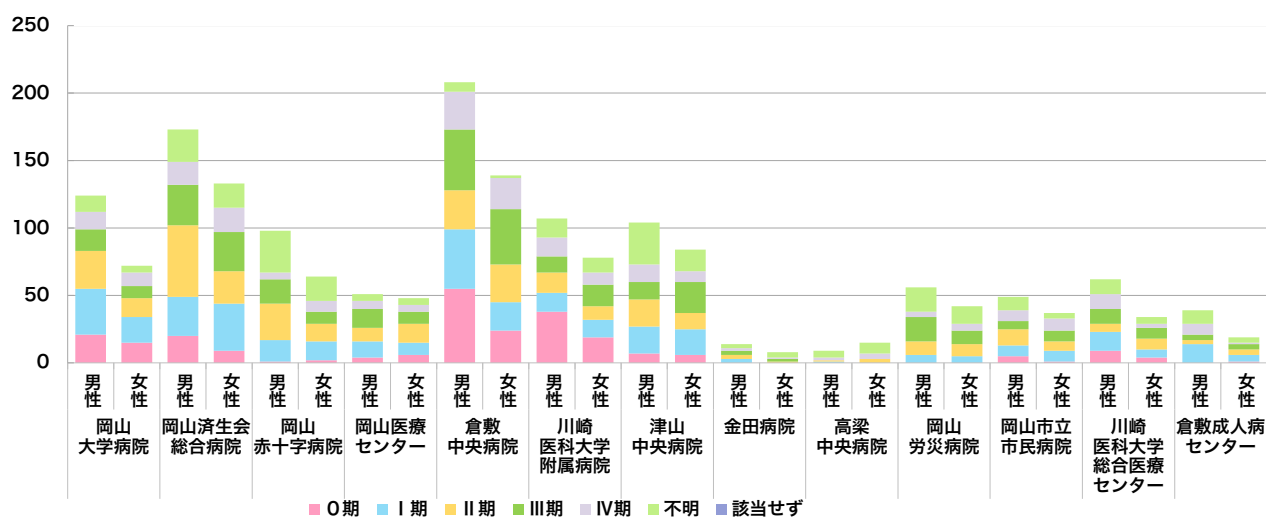
大腸 発見経緯 全体



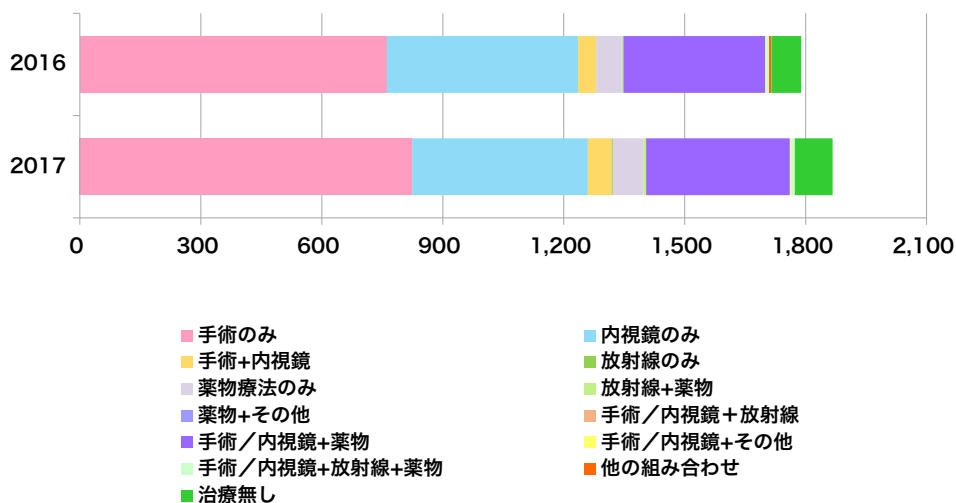
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	390
他疾患経過観察中の偶然発見	674
その他	780
不明	23
合計	1,867

※その他…自覚症状による受診を含む

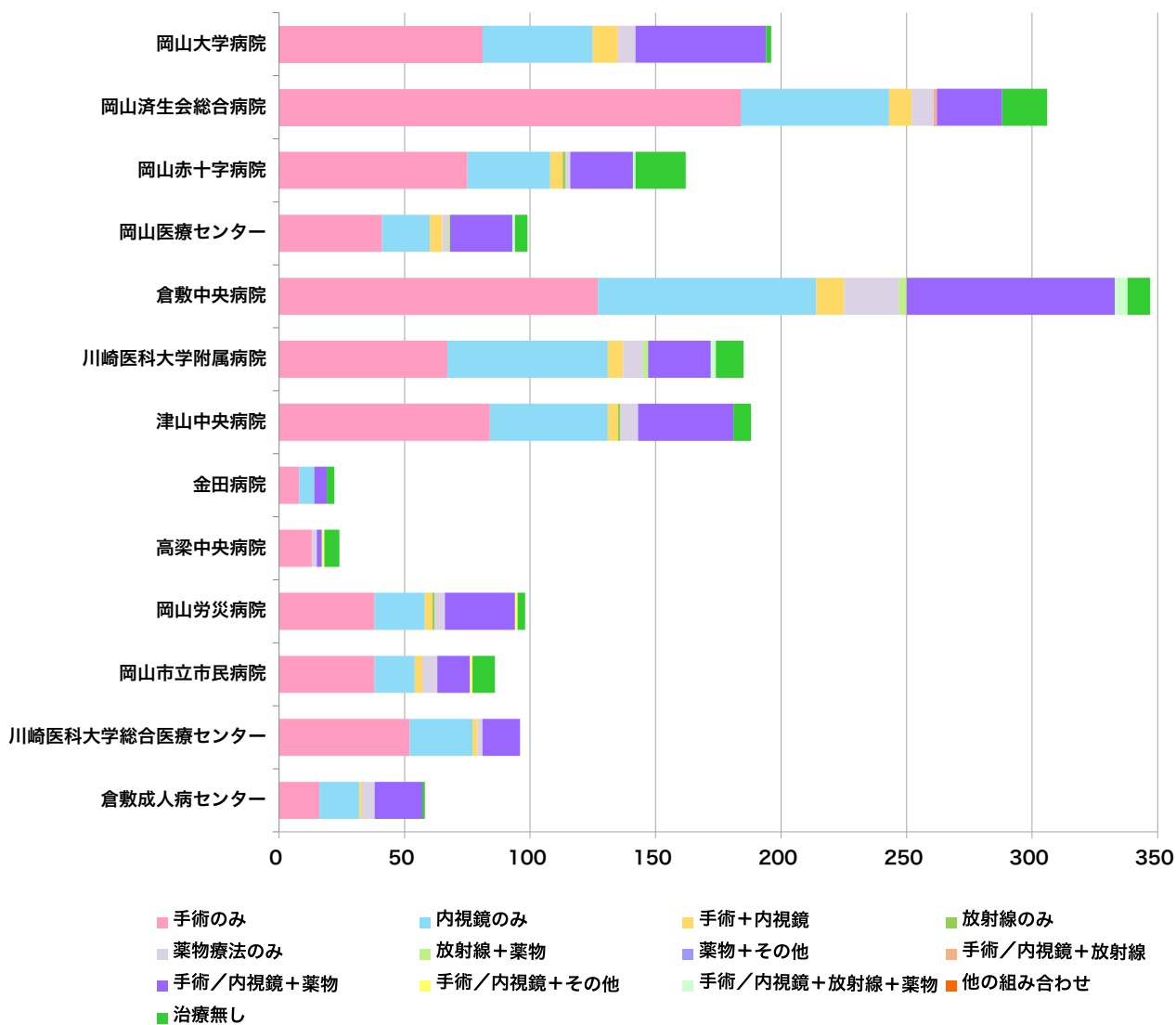
大腸 ステージ 施設別



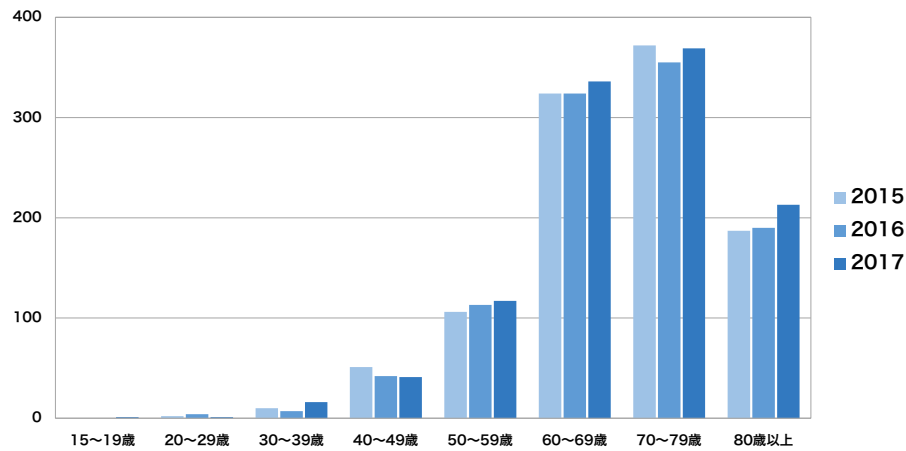
大腸 初回治療法 年次推移



大腸 初回治療法 施設別

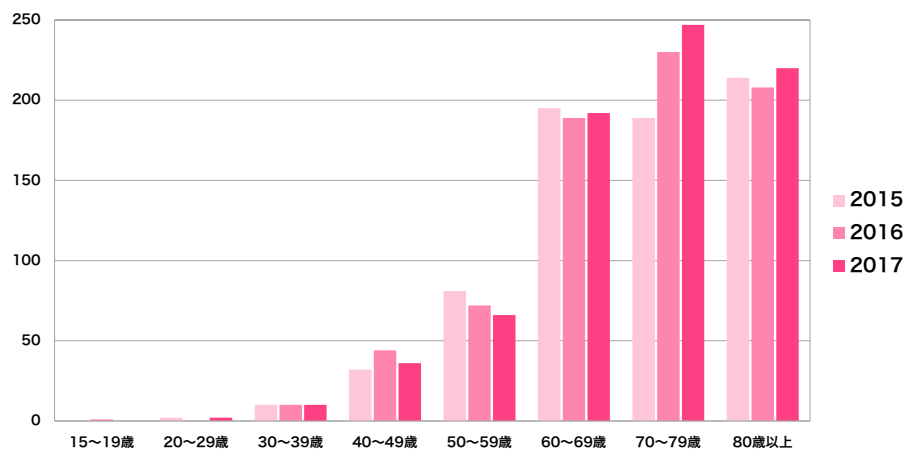


大腸 年齢階級別 男性 年次推移



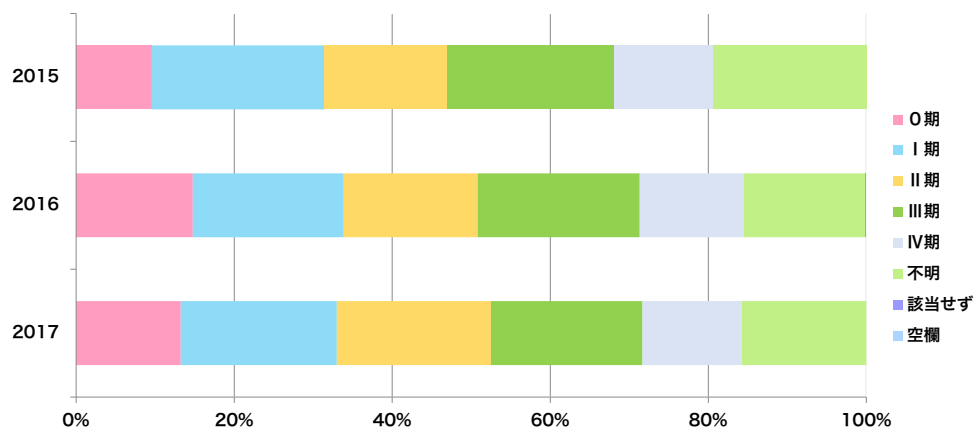
	2015	2016	2017
80歳以上	187	190	213
70~79歳	372	355	369
60~69歳	324	324	336
50~59歳	106	113	117
40~49歳	51	42	41
30~39歳	10	7-9	16
20~29歳	1-3	4-6	1-3
15~19歳			1-3
総計	1,052	1,035	1,094

大腸 年齢階級別 女性 年次推移



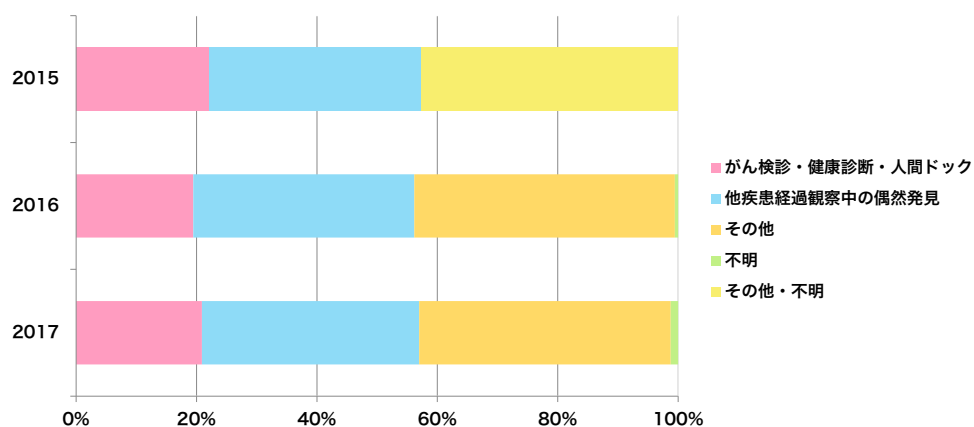
	2015	2016	2017
80歳以上	214	208	220
70~79歳	189	230	247
60~69歳	195	189	192
50~59歳	81	72	66
40~49歳	32	44	36
30~39歳	10	10	10
20~29歳	1-3		1-3
15~19歳		1-3	
総計	723	754	773

大腸 ステージ別 年次推移



	2015	2016	2017
0期	169	264	247
I期	389	342	369
II期	276	303	364
III期	374	367	358
IV期	222	235	235
不明	345	276	294
該当せず	—	1~3	—
空欄	—	—	—
合計	1,775	1,789	1,867

大腸 発見経緯別 年次推移



	2015	2016	2017
がん検診・健康診断・人間ドック	392	348	390
他疾患経過観察中の偶然発見	627	657	674
その他	—	774	780
不明	—	10	23
その他・不明	756	—	—
合計	1,775	1,789	1,867

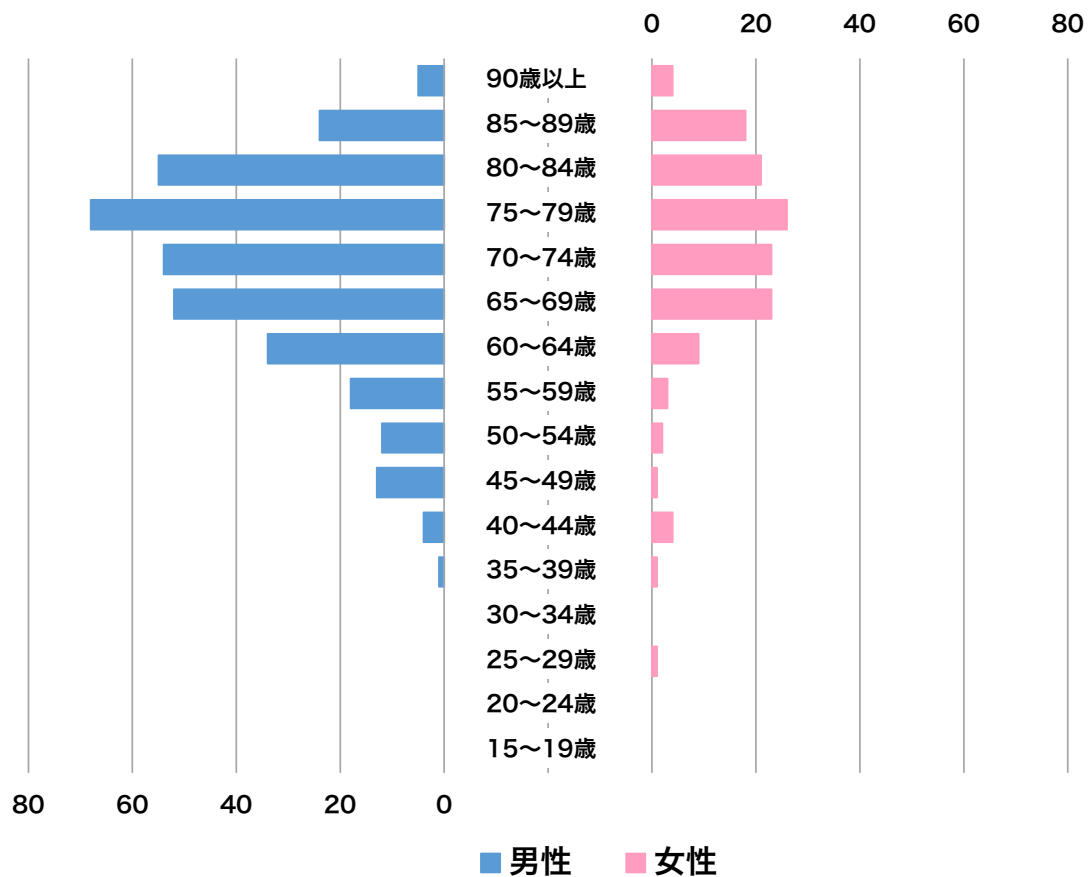
注釈

2015年症例までは「その他・不明」で登録していたものを、2016年症例からは「その他」と「不明」に分けて登録することになった。

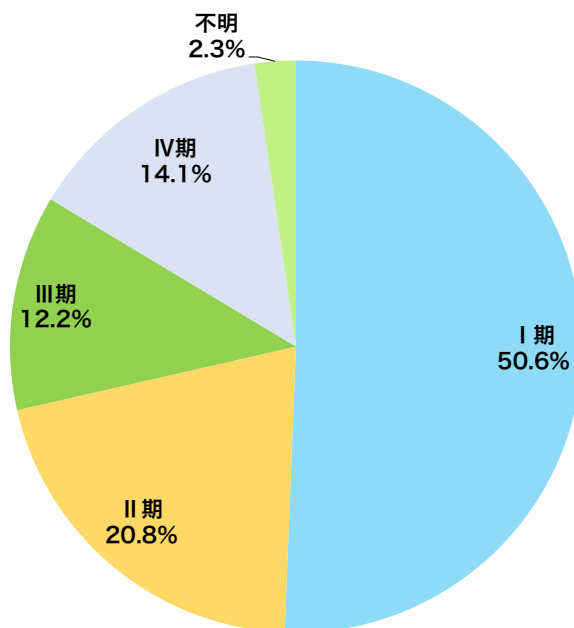
その他・・・自覚症状による受診を含む

肝臟

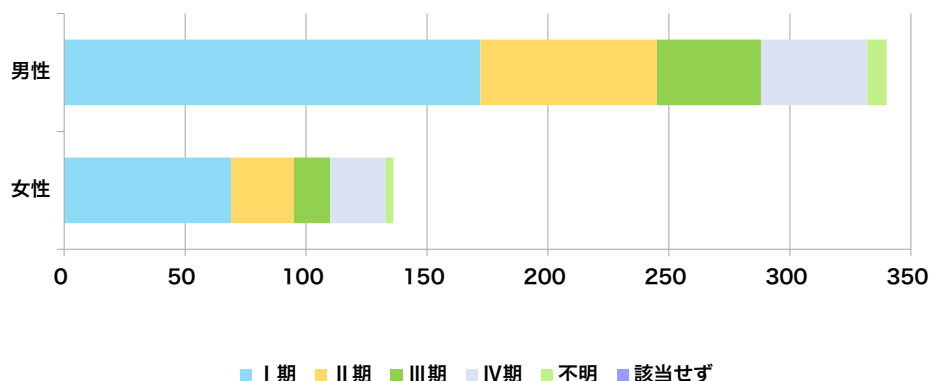
肝臓 年齢階級別



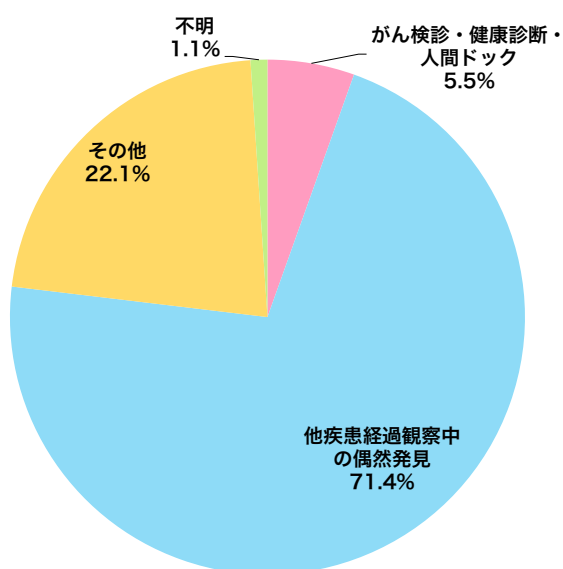
肝臓 ステージ 全体



肝臓 ステージ 性別



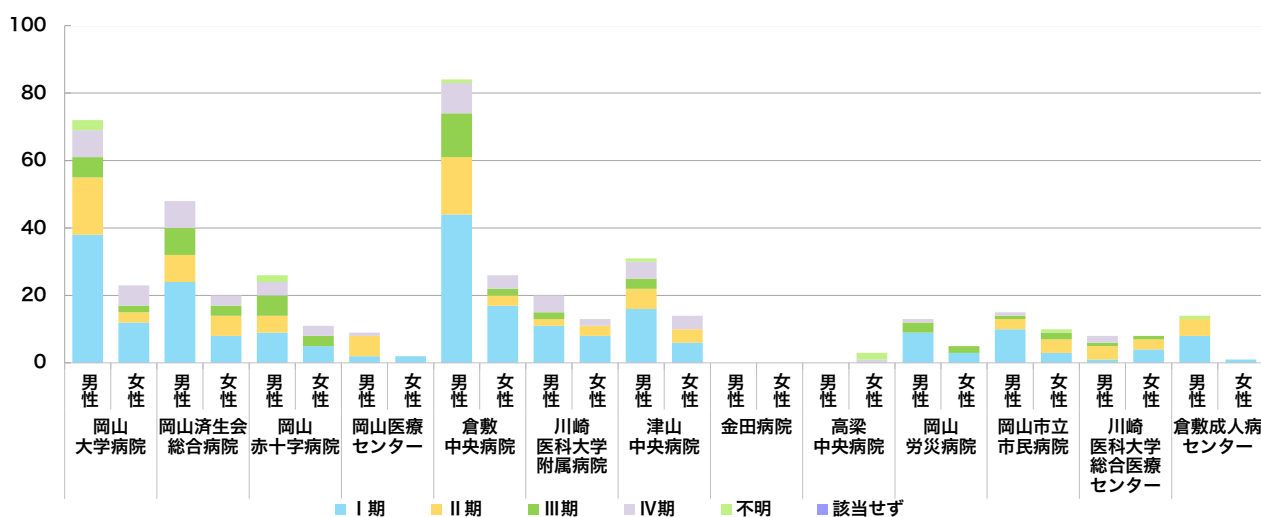
肝臓 発見経緯 全体



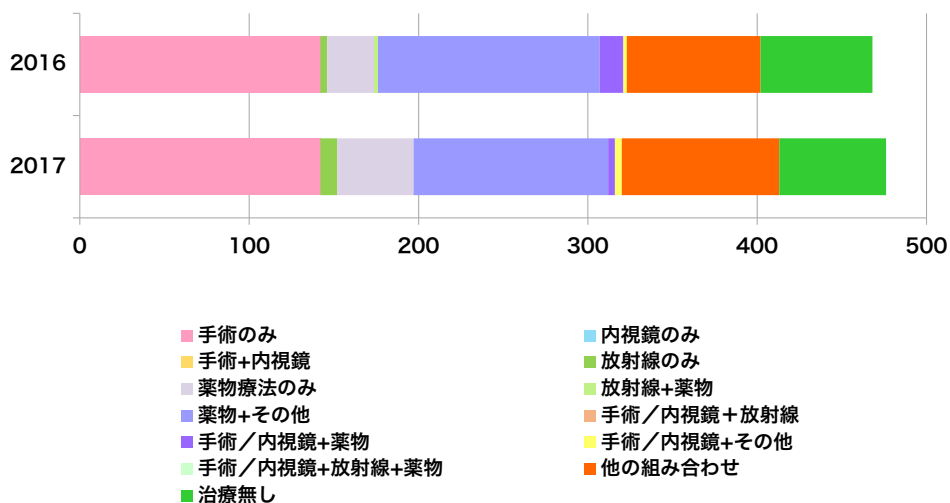
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	26
他疾患経過観察中の偶然発見	340
その他	105
不明	4~6
合計	476

※その他…自覚症状による受診を含む

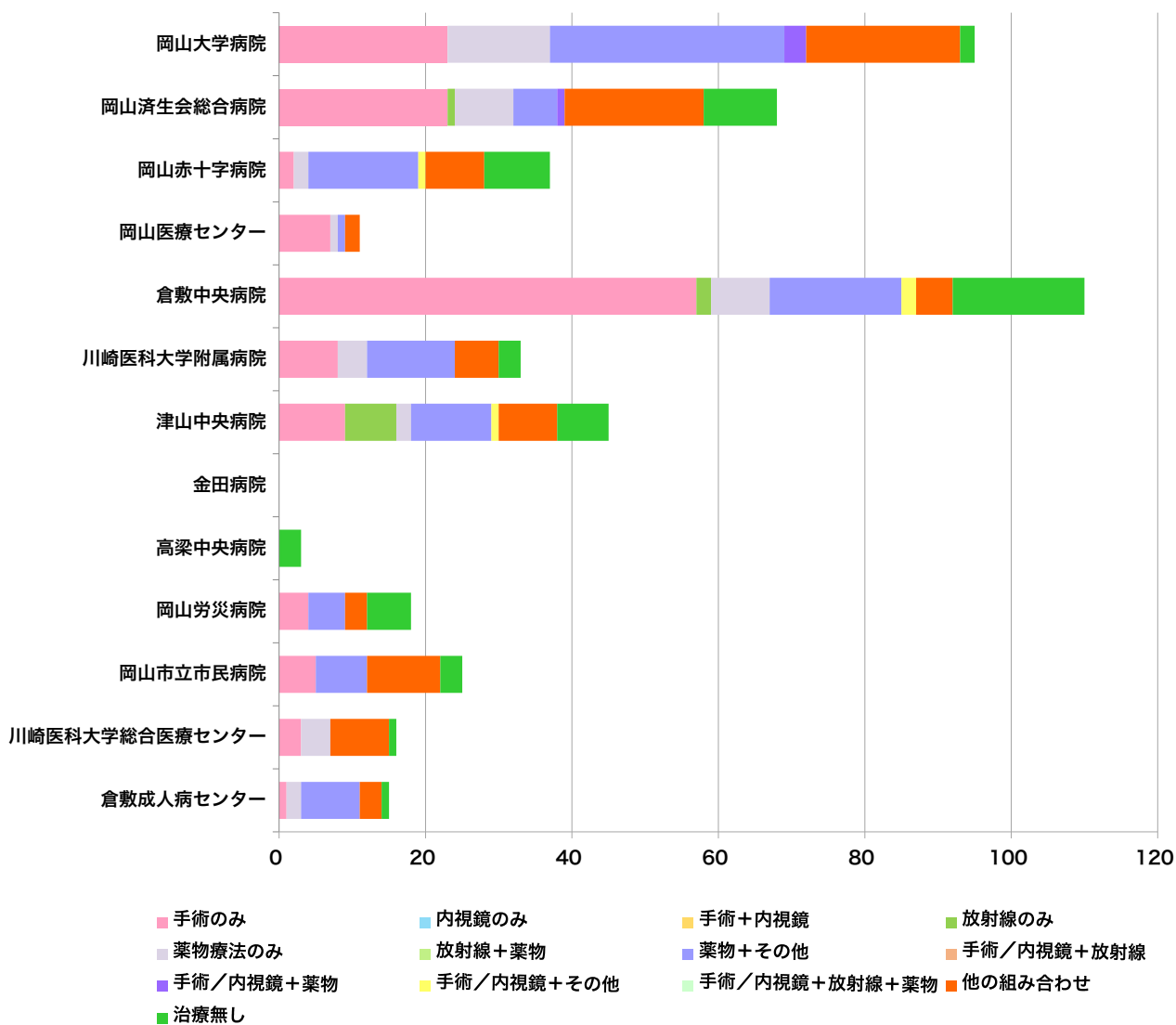
肝臓 ステージ 施設別



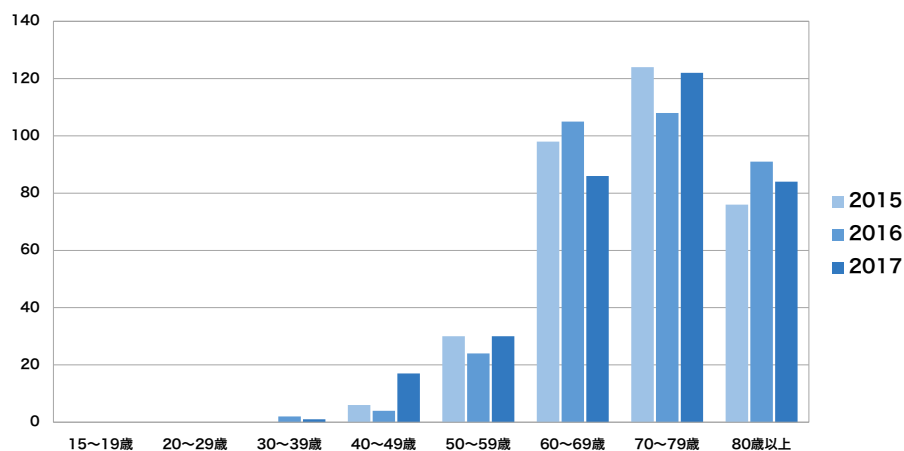
肝臓 初回治療法 年次推移



肝臓 初回治療法 施設別

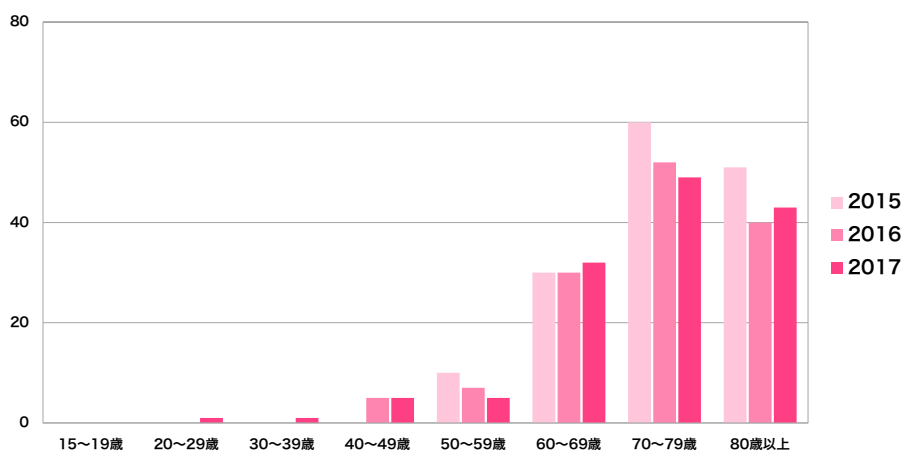


肝臓 年齢階級別 男性 年次推移



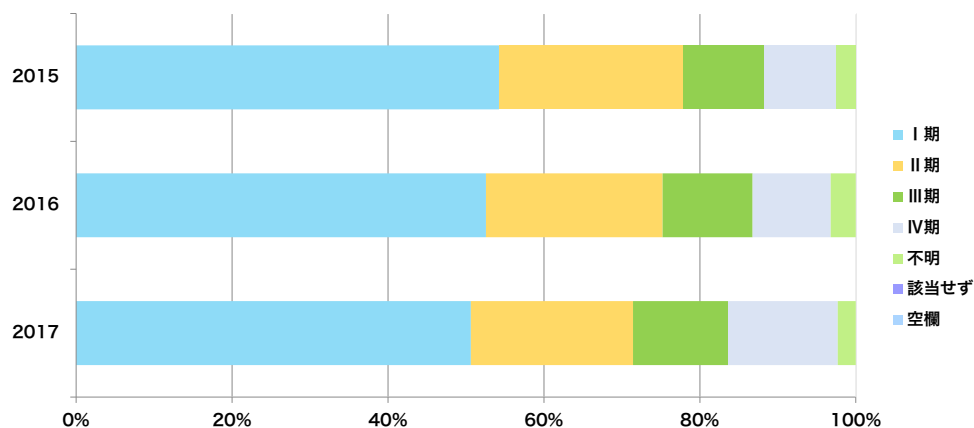
	2015	2016	2017
80歳以上	76	91	84
70~79歳	124	108	122
60~69歳	98	105	86
50~59歳	30	24	30
40~49歳	4~6	4~6	17
30~39歳		1~3	1~3
20~29歳			
15~19歳			
総計	334	334	340

肝臓 年齢階級別 女性 年次推移



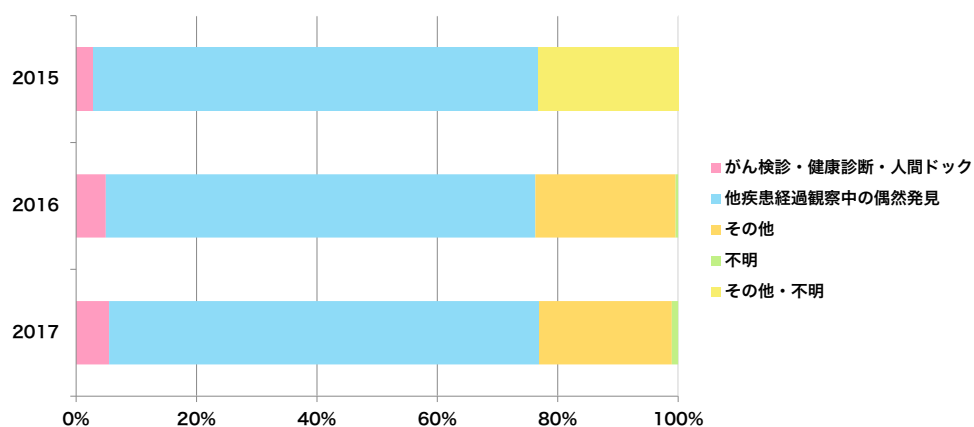
	2015	2016	2017
80歳以上	51	40	43
70~79歳	60	52	49
60~69歳	30	30	32
50~59歳	10	7~9	4~6
40~49歳		4~6	4~6
30~39歳			1~3
20~29歳			1~3
15~19歳			
総計	151	134	136

肝臓 ステージ別 年次推移



	2015	2016	2017
I期	263	246	241
II期	115	106	99
III期	50	54	58
IV期	45	47	67
不明	12	15	11
該当せず	—		
空欄		—	—
合計	485	468	476

肝臓 発見経緯別 年次推移



	2015	2016	2017
がん検診・健康診断・人間ドック	14	23	26
他疾患経過観察中の偶然発見	358	334	340
その他	—	109	105
不明	—	1~3	4~6
その他・不明	113	—	—
合計	485	468	476

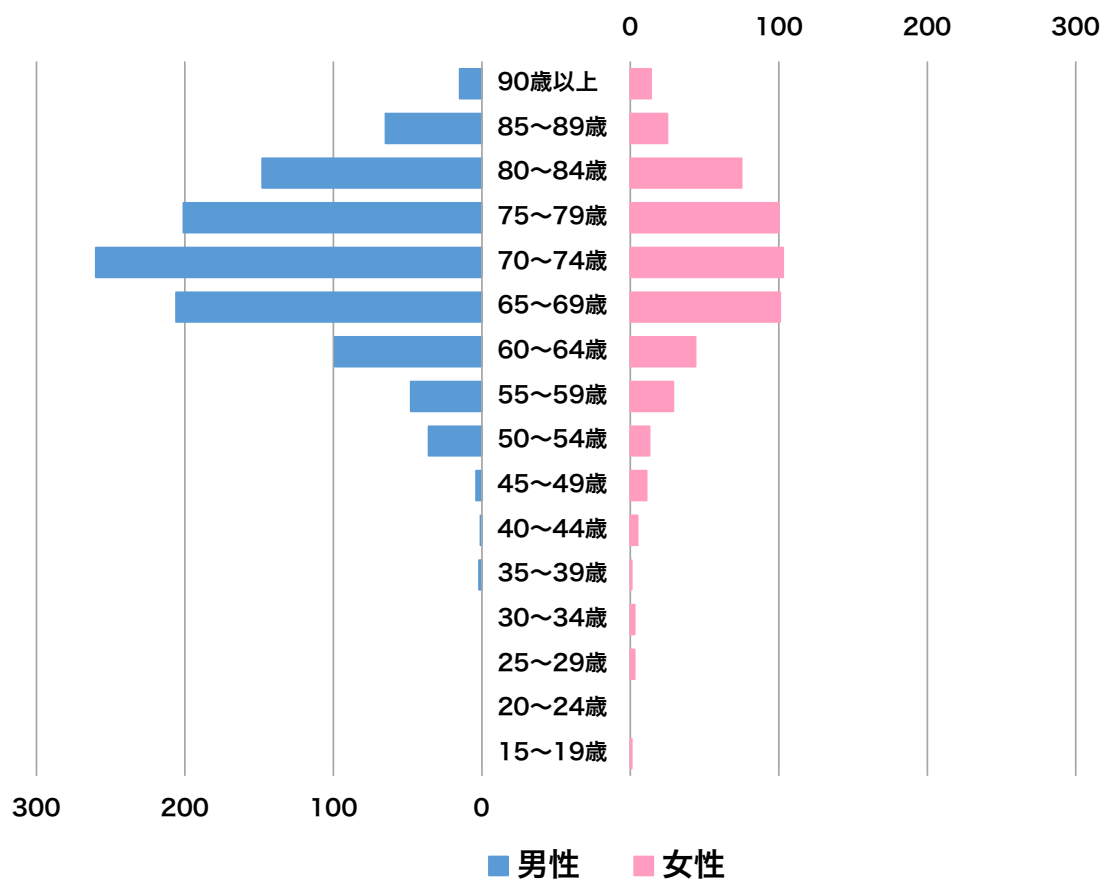
注釈

2015年症例までは「その他・不明」で登録していたものを、2016年症例からは「その他」と「不明」に分けて登録することになった。

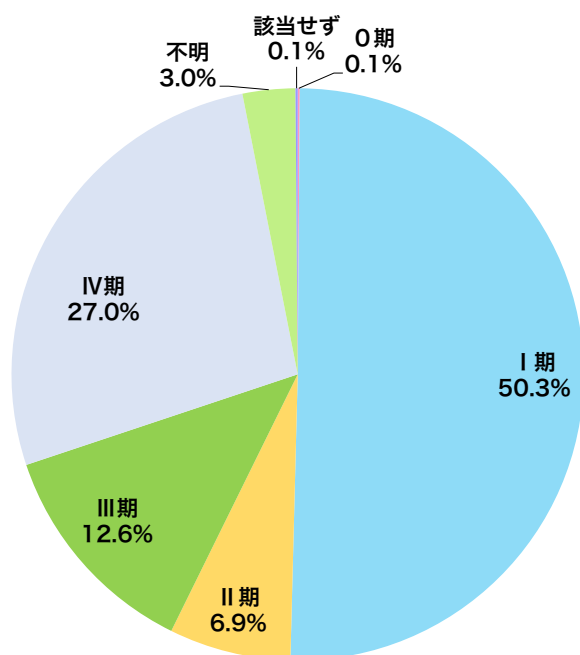
その他・・・自覚症状による受診を含む

肺

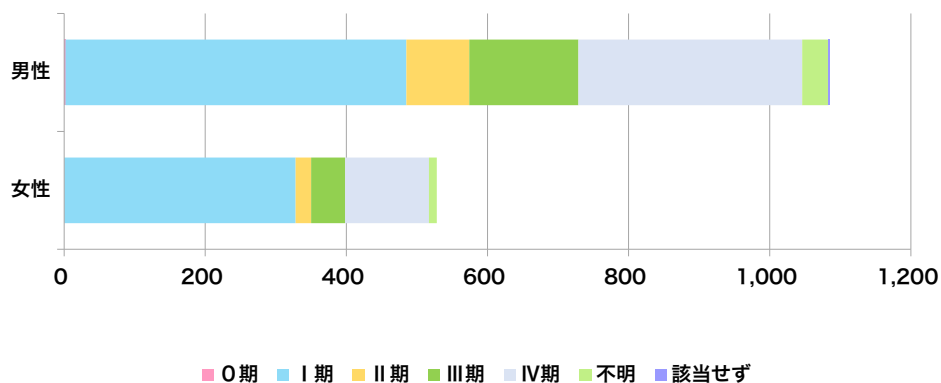
肺 年齢階級別



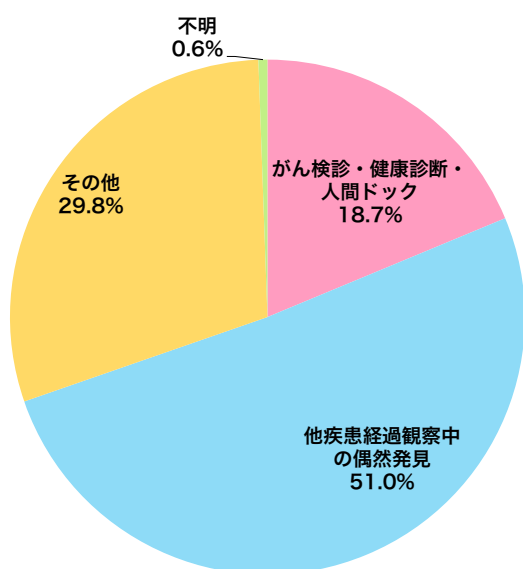
肺 ステージ 全体



肺 ステージ 性別



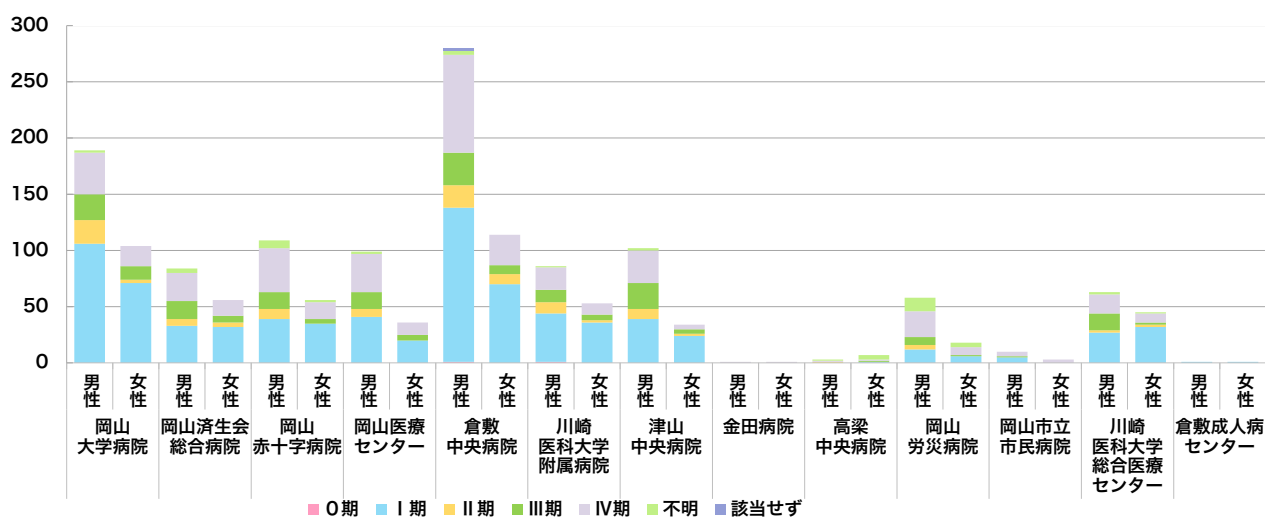
肺 発見経緯 全体



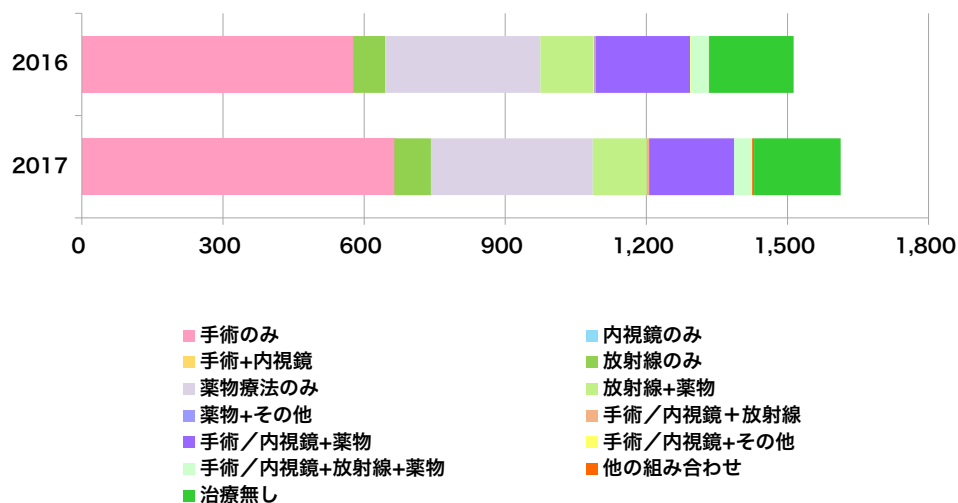
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	302
他疾患経過観察中の偶然発見	822
その他	480
不明	7~9
合計	1,613

※その他…自覚症状による受診を含む

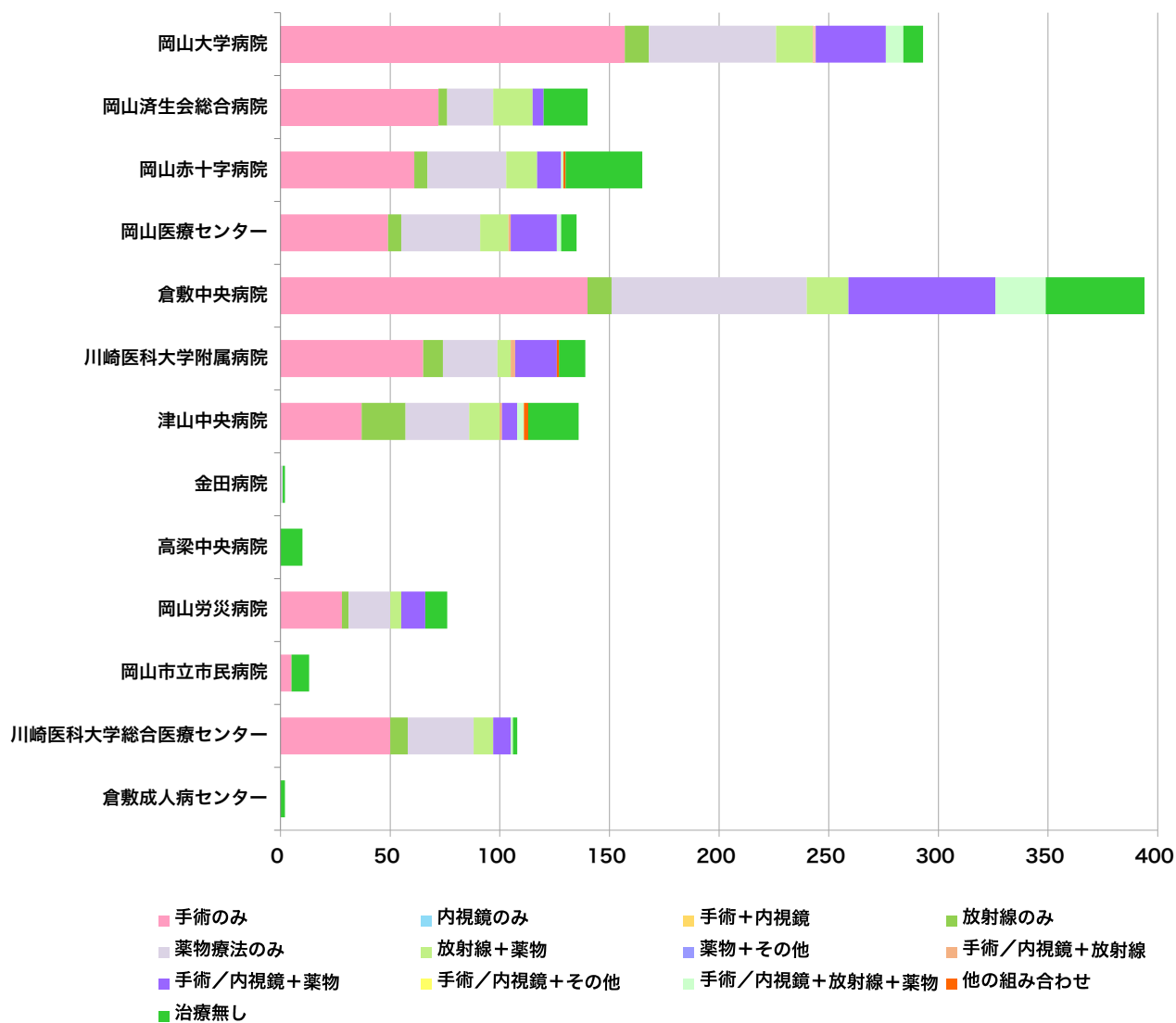
肺 ステージ 施設別



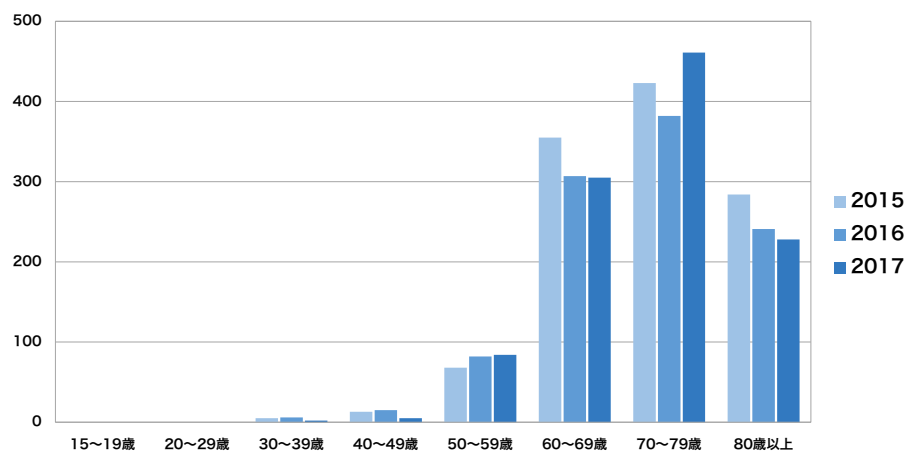
肺 初回治療法 年次推移



肺 初回治療法 施設別

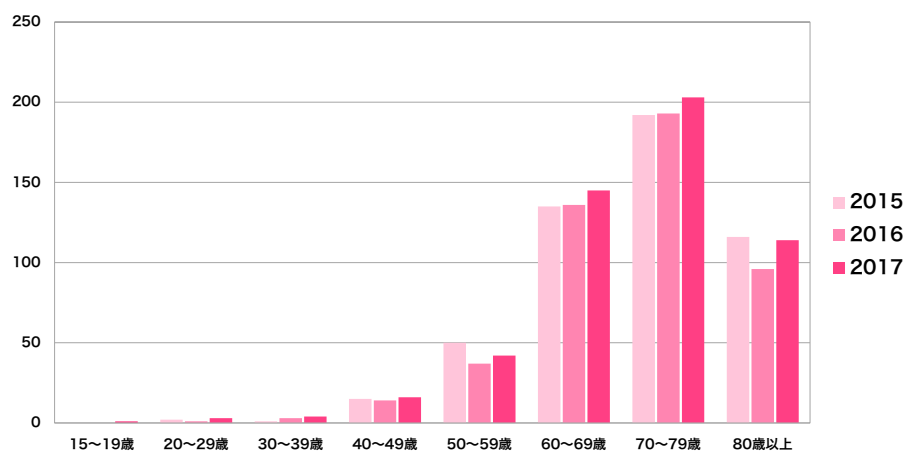


肺 年齢階級別 男性 年次推移



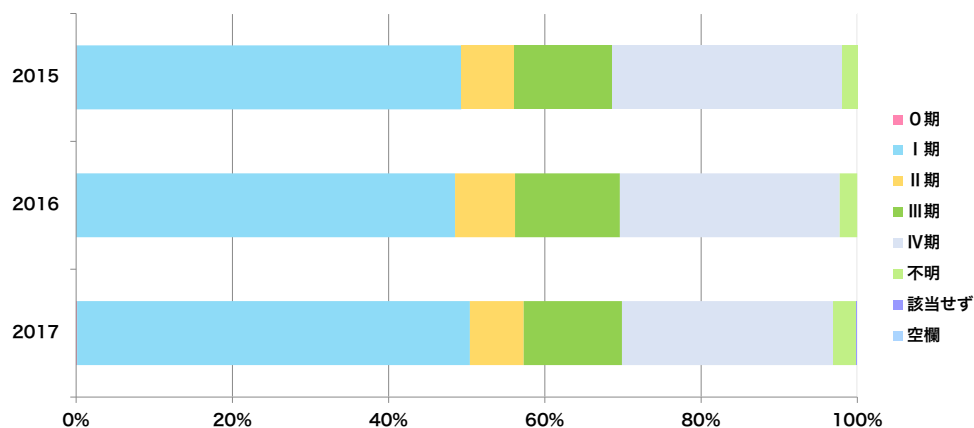
	2015	2016	2017
80歳以上	284	241	228
70~79歳	423	382	461
60~69歳	355	307	305
50~59歳	68	82	84
40~49歳	13	15	4~6
30~39歳	4~6	4~6	1~3
20~29歳			
15~19歳			
総計	1,148	1,033	1,085

肺 年齢階級別 女性 年次推移



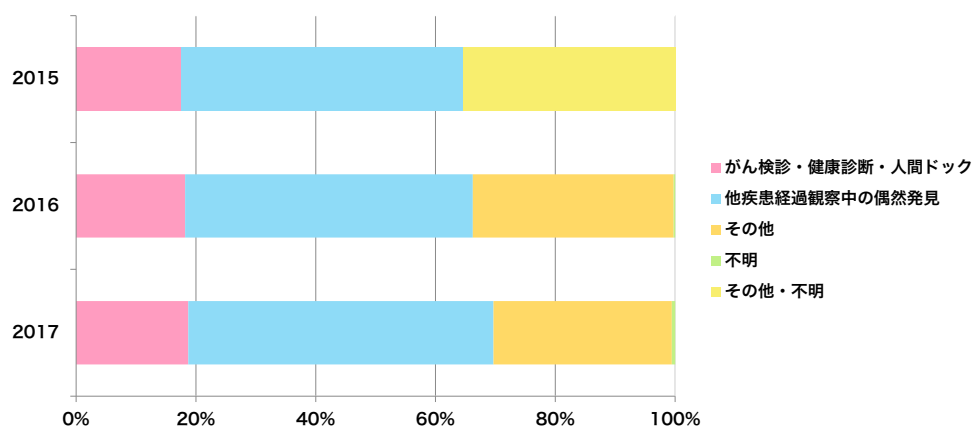
	2015	2016	2017
80歳以上	116	96	114
70~79歳	192	193	203
60~69歳	135	136	145
50~59歳	50	37	42
40~49歳	15	14	16
30~39歳	1~3	1~3	4~6
20~29歳	1~3	1~3	1~3
15~19歳			1~3
総計	511	480	528

肺 ステージ別 年次推移



	2015	2016	2017
0期	1~3		1~3
I期	817	734	811
II期	113	116	111
III期	207	203	203
IV期	489	426	436
不明	32	34	48
該当せず	-		1~3
空欄		-	-
合計	1,659	1,513	1,613

肺 発見経緯別 年次推移



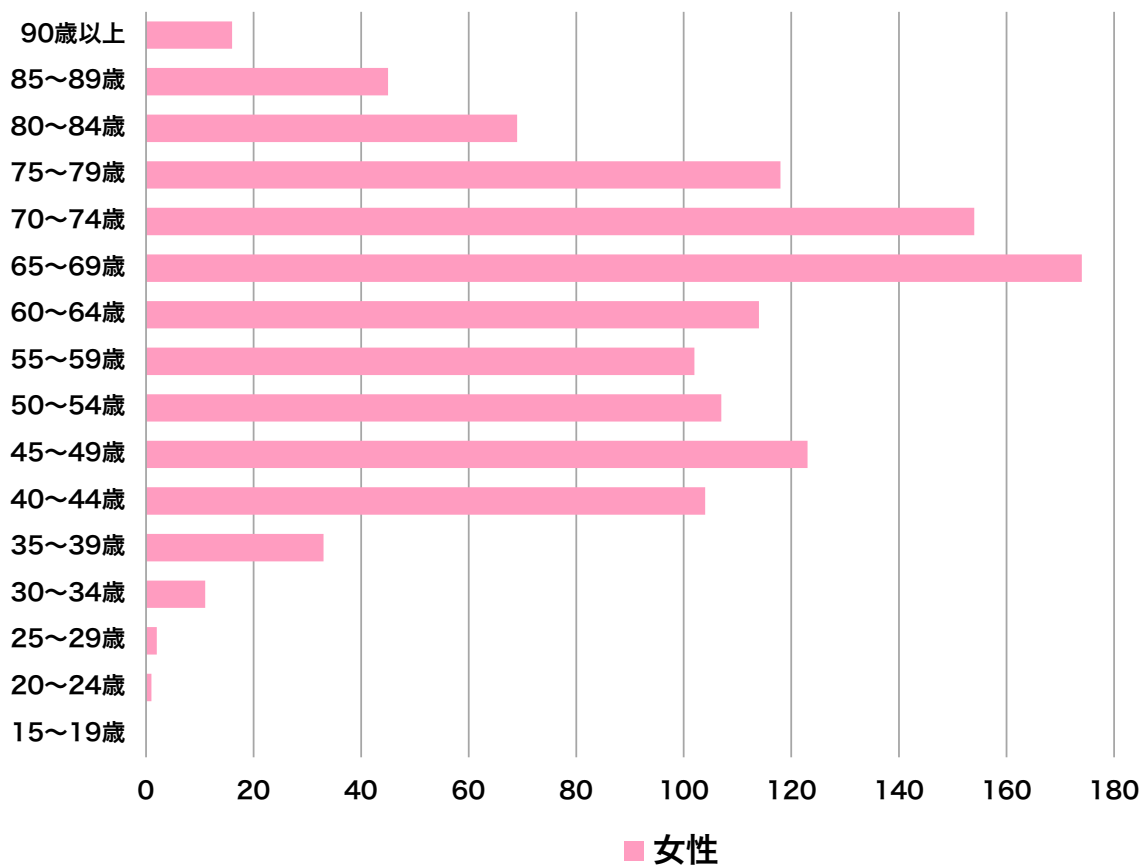
	2015	2016	2017
がん検診・健康診断・人間ドック	290	275	302
他疾患経過観察中の偶然発見	781	727	822
その他	-	507	480
不明	-	4~6	7~9
その他・不明	588	-	-
合計	1,659	1,513	1,613

注釈

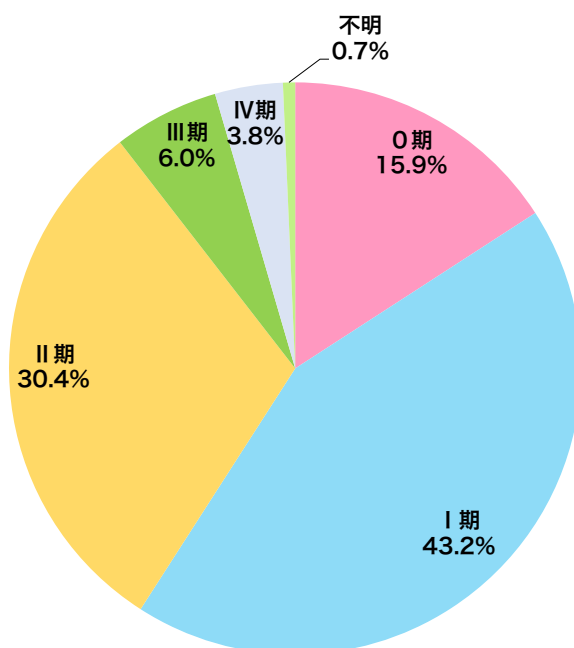
2015年症例までは「その他・不明」で登録していたものを、2016年症例からは「その他」と「不明」に分けて登録することになった。

乳房

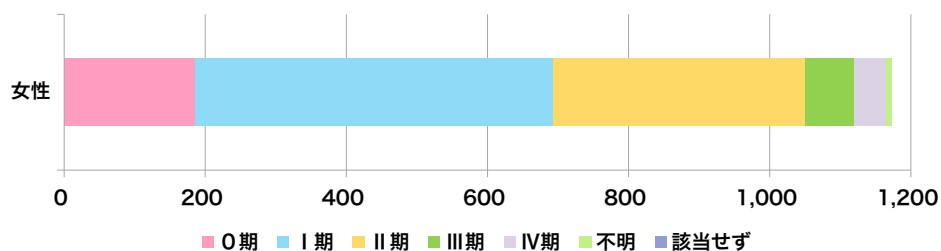
乳房 年齢階級別



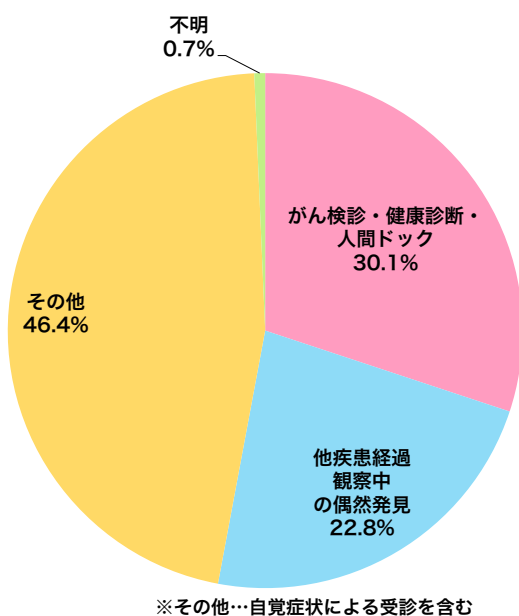
乳房 ステージ 全体



乳房 ステージ 性別

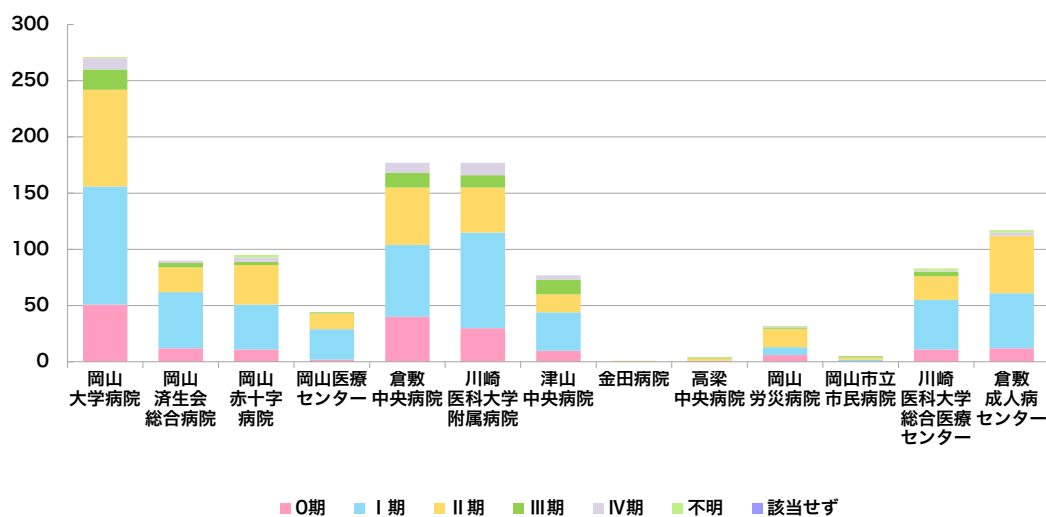


乳房 発見経緯 全体

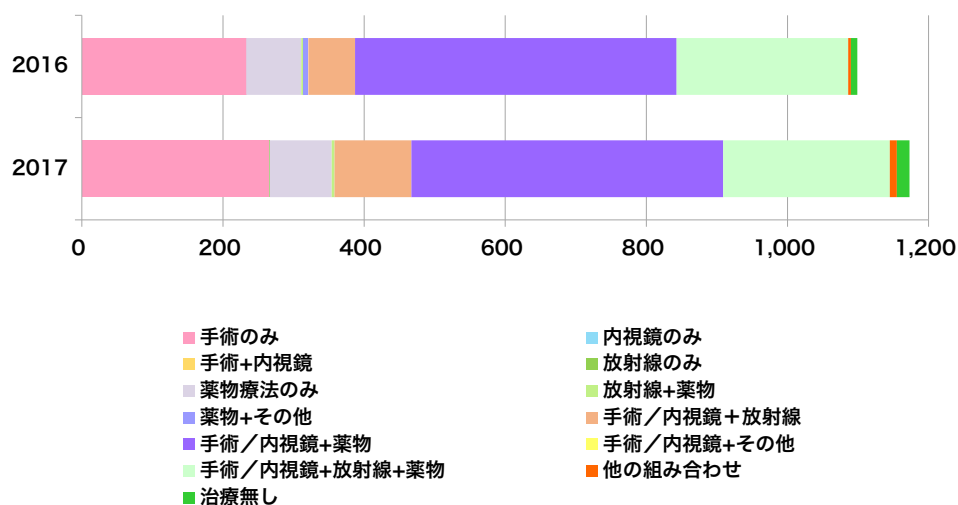


発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	353
他疾患経過観察中の偶然発見	268
その他	544
不明	7~9
合計	1,173

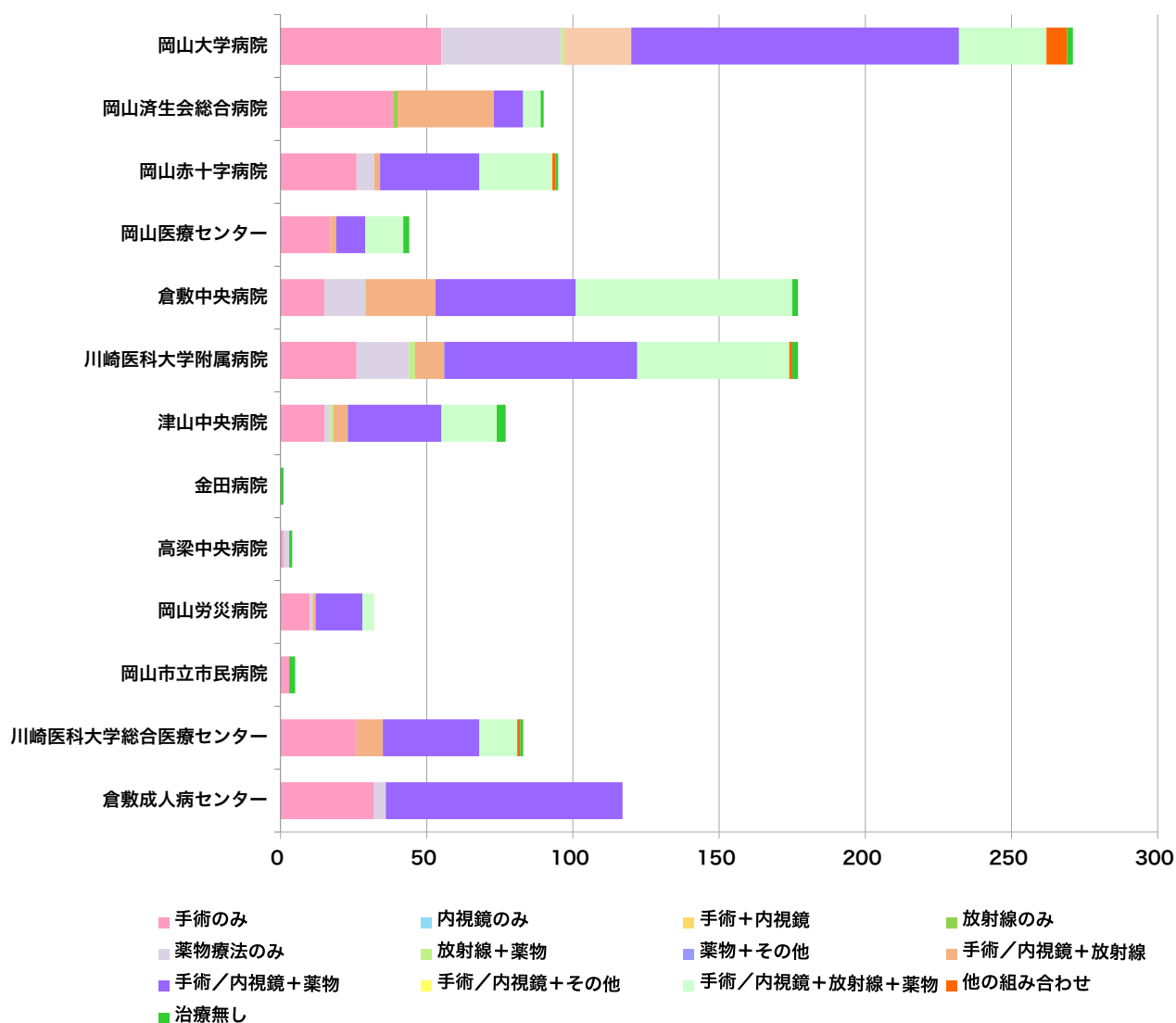
乳房 ステージ 施設別



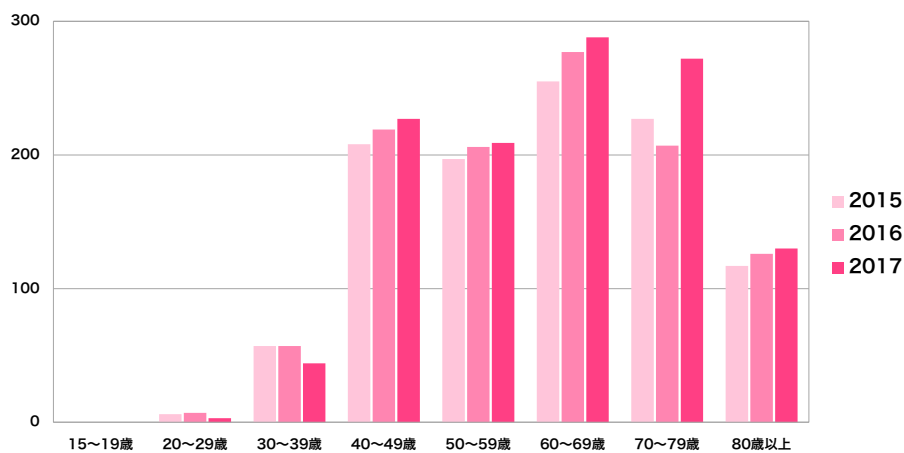
乳房 初回治療法 年次推移



乳房 初回治療法 施設別

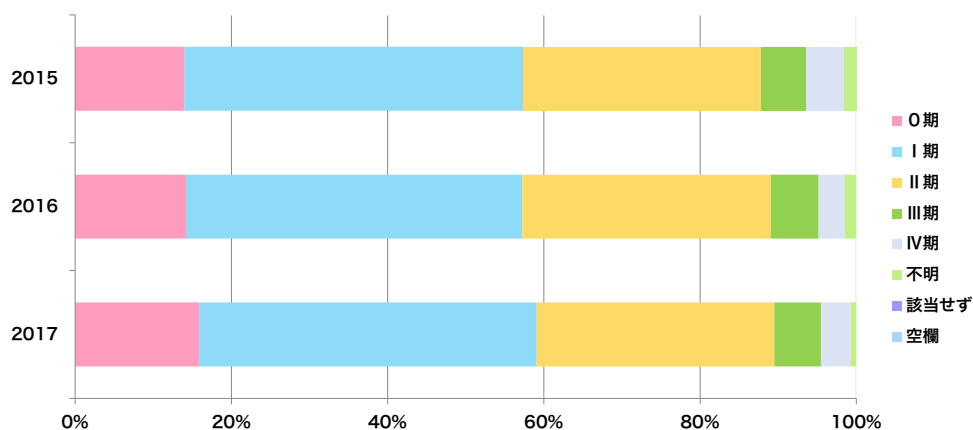


乳房 年齢階級別 年次推移



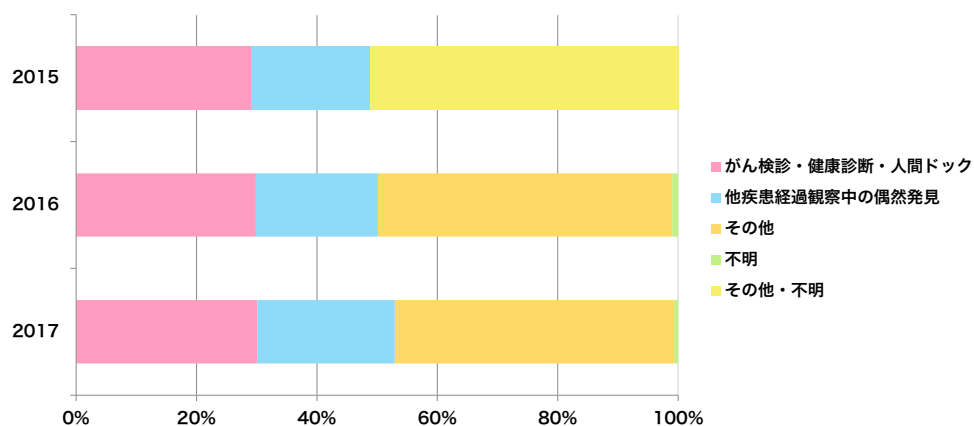
	2015	2016	2017
80歳以上	117	126	130
70~79歳	227	207	272
60~69歳	255	277	288
50~59歳	197	206	209
40~49歳	208	219	227
30~39歳	57	57	44
20~29歳	4~6	7~9	1~3
15~19歳			
総計	1,067	1,099	1,173

乳房 ステージ別 年次推移



	2015	2016	2017
O期	149	156	186
I期	464	473	507
II期	324	350	357
III期	62	67	70
IV期	51	37	45
不明	17	16	7~9
該当せず	-		
空欄		-	-
合計	1,067	1,099	1,173

乳房 発見経緯別 年次推移



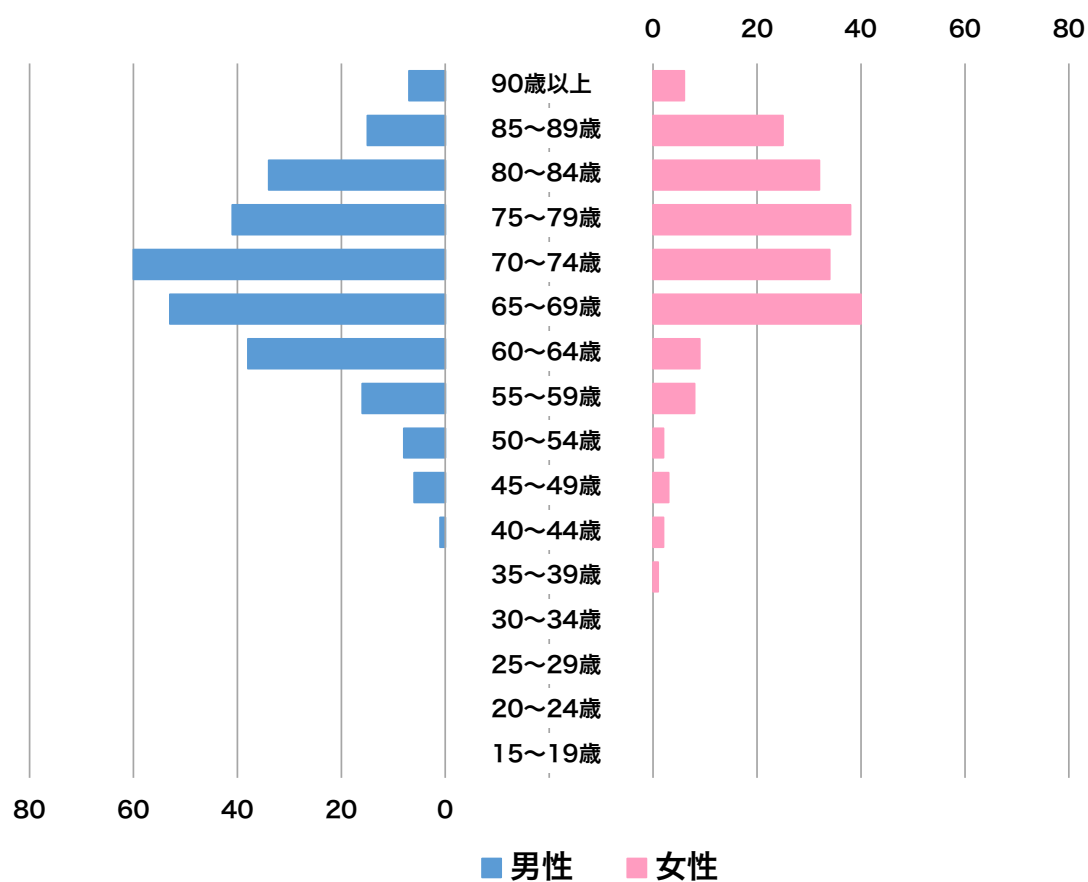
	2015	2016	2017
がん検診・健康診断・人間ドック	311	328	353
他疾患経過観察中の偶然発見	210	223	268
その他	—	537	544
不明	—	11	7~9
その他・不明	546	—	—
合計	1,067	1,099	1,173

注釈

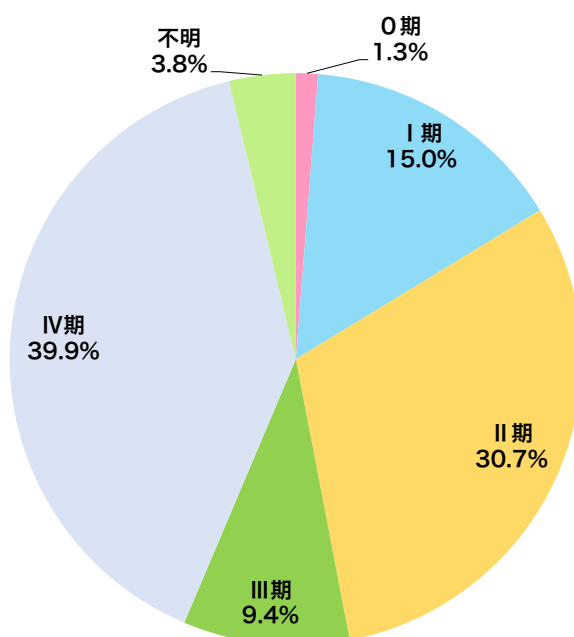
2015年症例までは「その他・不明」で登録していたものを、2016年症例からは「その他」と「不明」に分けて登録することになった。

臍臍

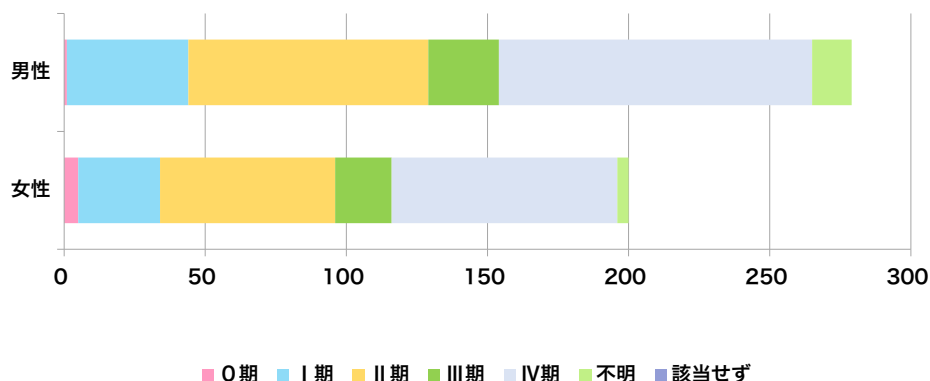
膵臓 年齢階級別



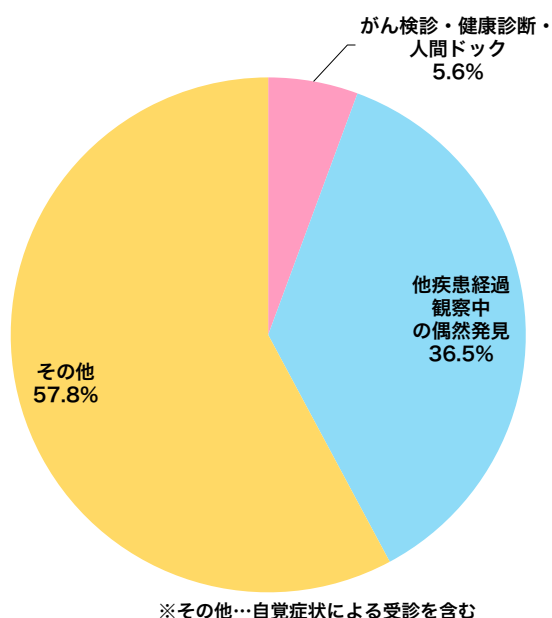
膵臓 ステージ 全体



膵臓 ステージ 性別

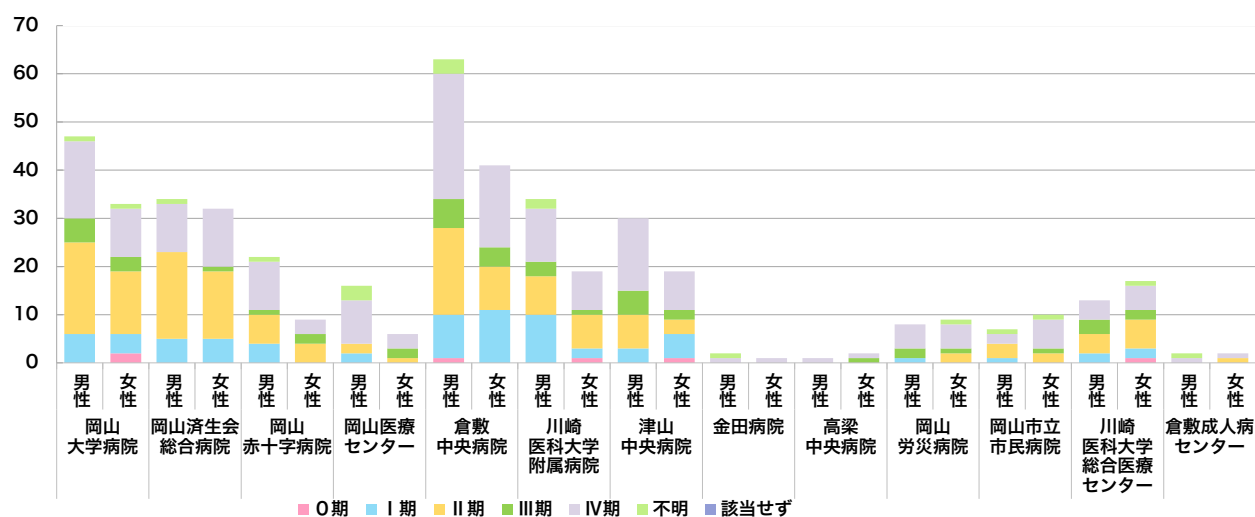


膵臓 発見経緯 全体

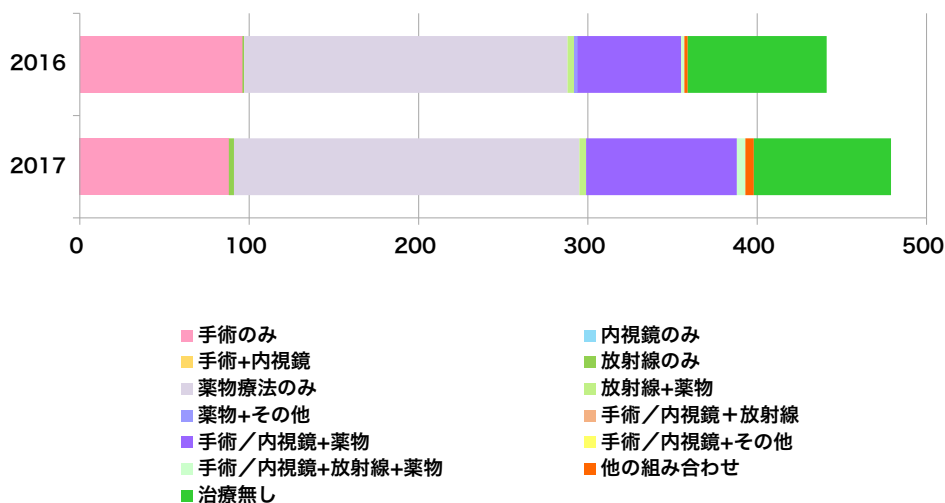


発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	27
他疾患経過観察中の偶然発見	175
その他	277
合計	479

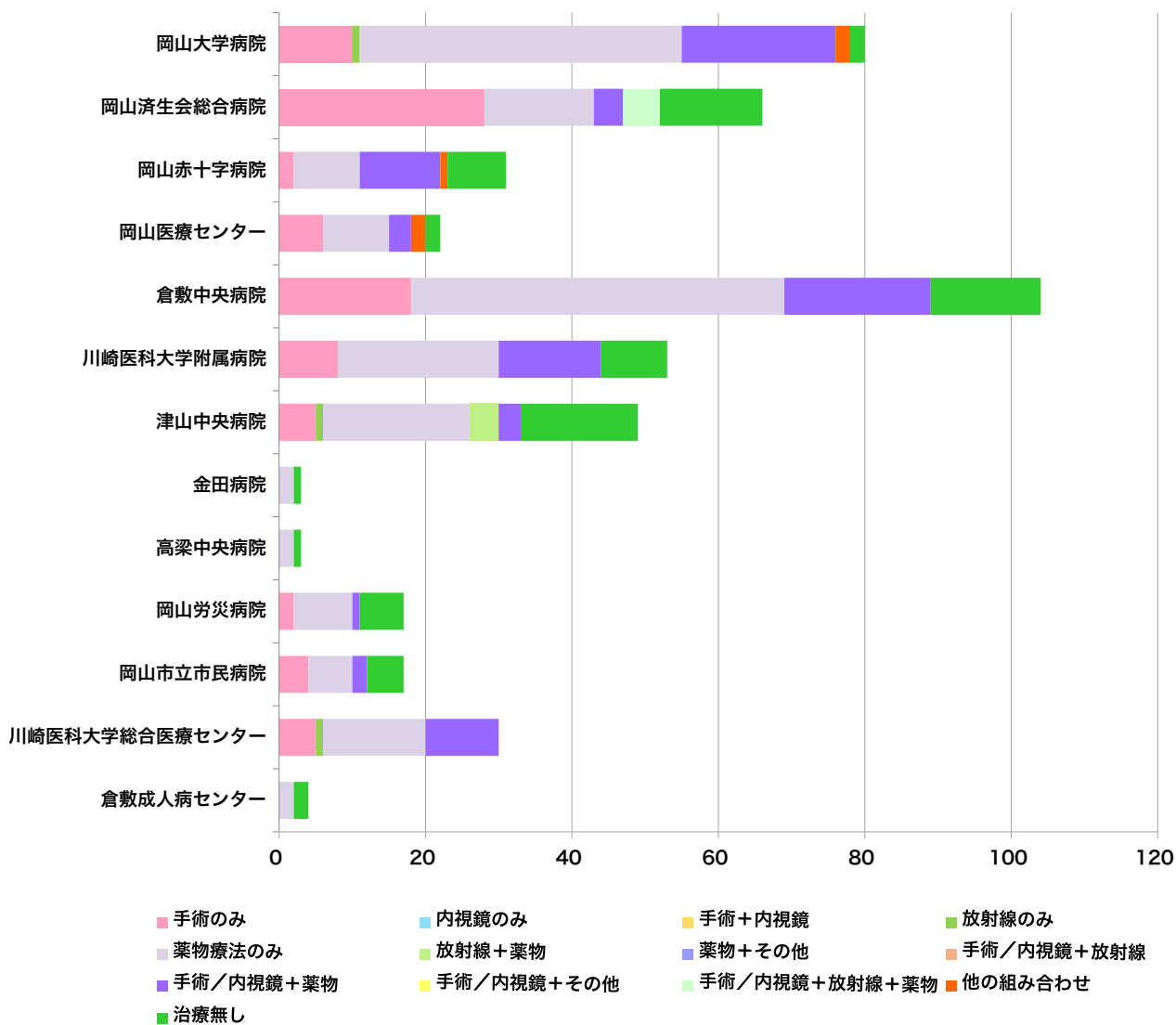
膵臓 ステージ 施設別 (がん診療連携拠点病院)



膵臓 初回治療法 年次推移

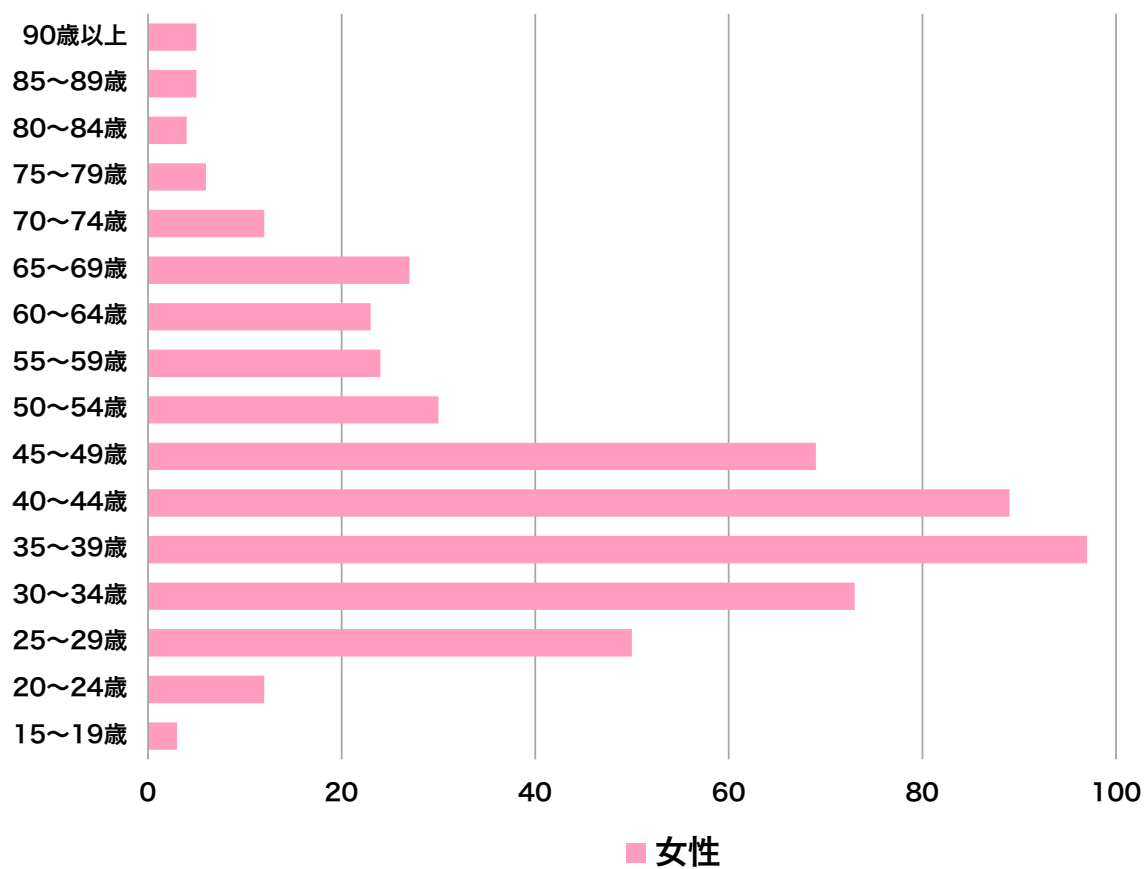


膵臓 初回治療法 施設別

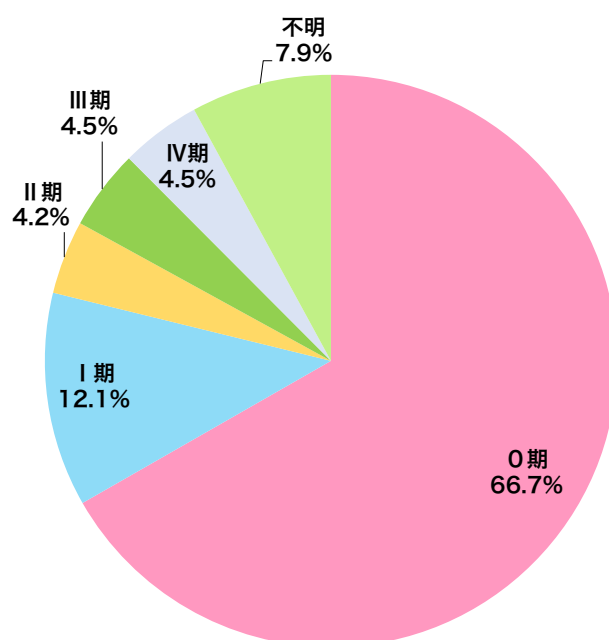


子宮（頸部）

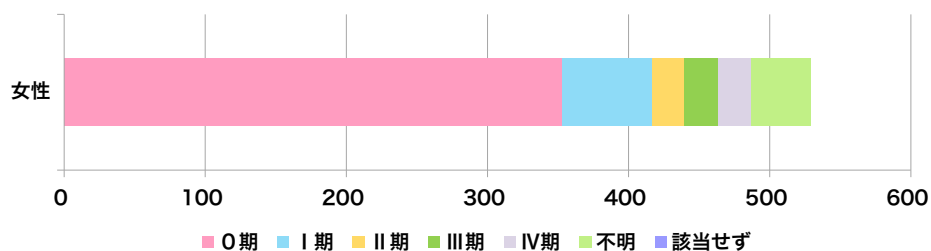
子宮（頸部） 年齢階級別



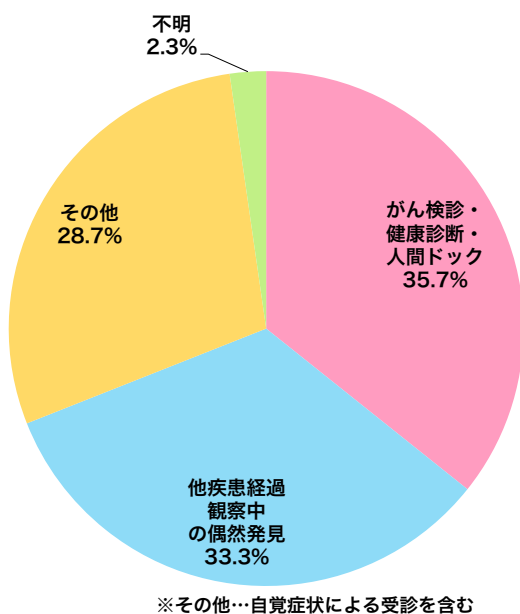
子宮（頸部） ステージ 全体



子宮（頸部） ステージ 性別

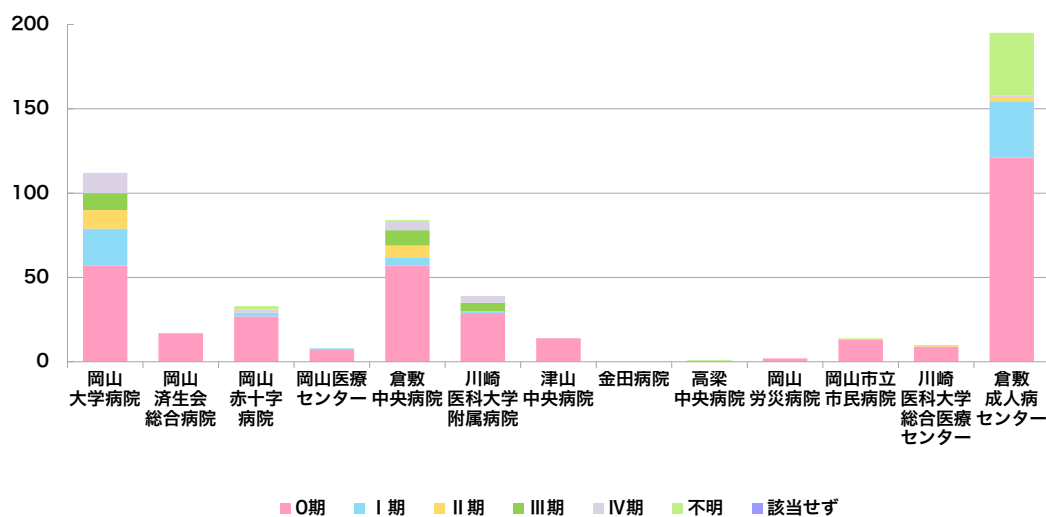


子宮（頸部） 発見経緯 全体

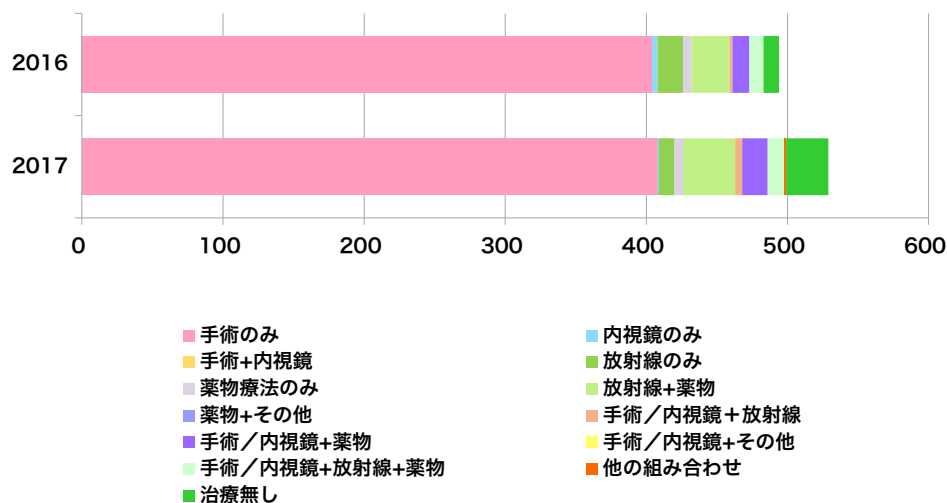


発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	189
他疾患経過観察中の偶然発見	176
その他	152
不明	12
合計	529

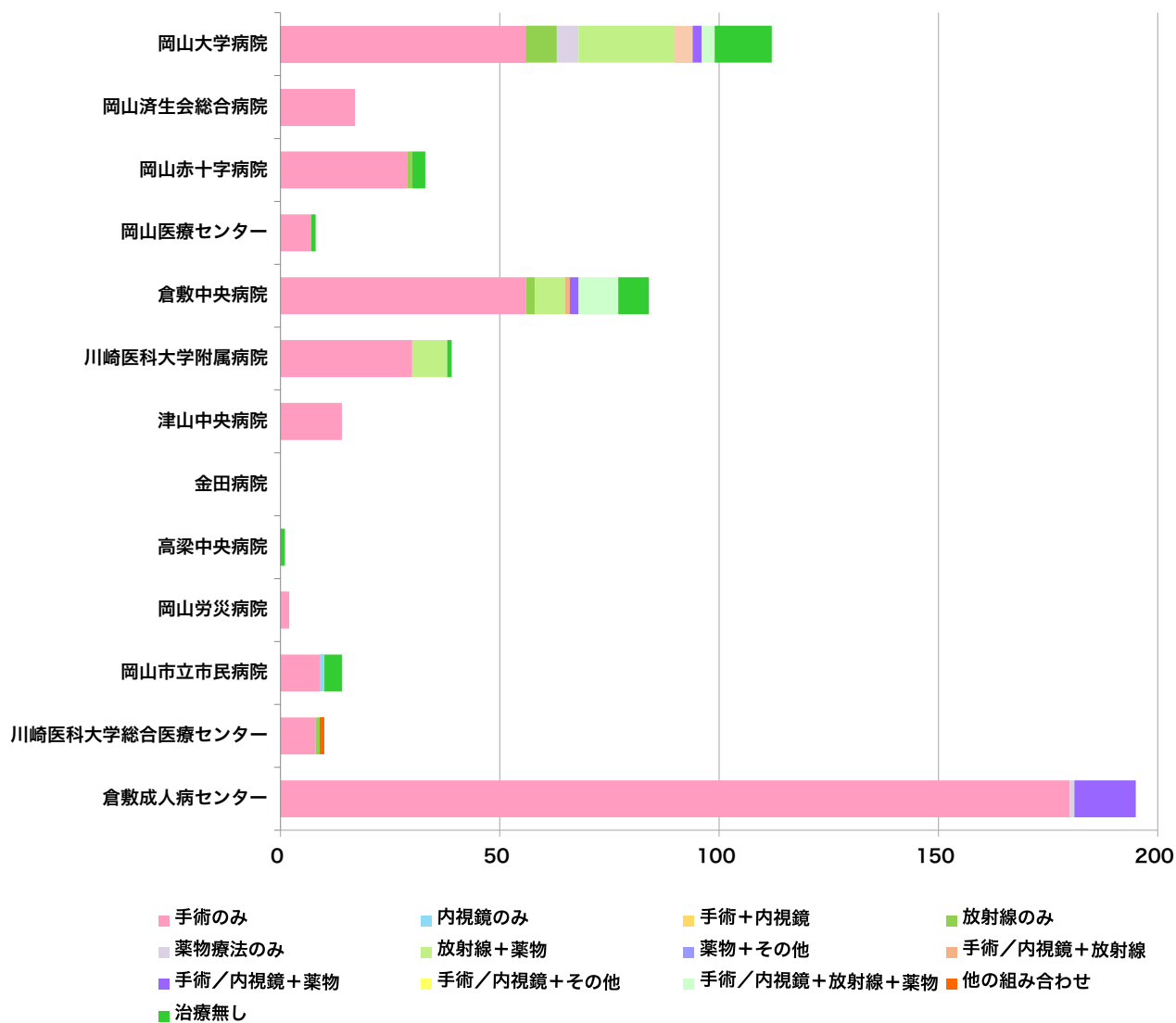
子宮（頸部） ステージ 施設別



子宮（頸部） 初回治療法 年次推移

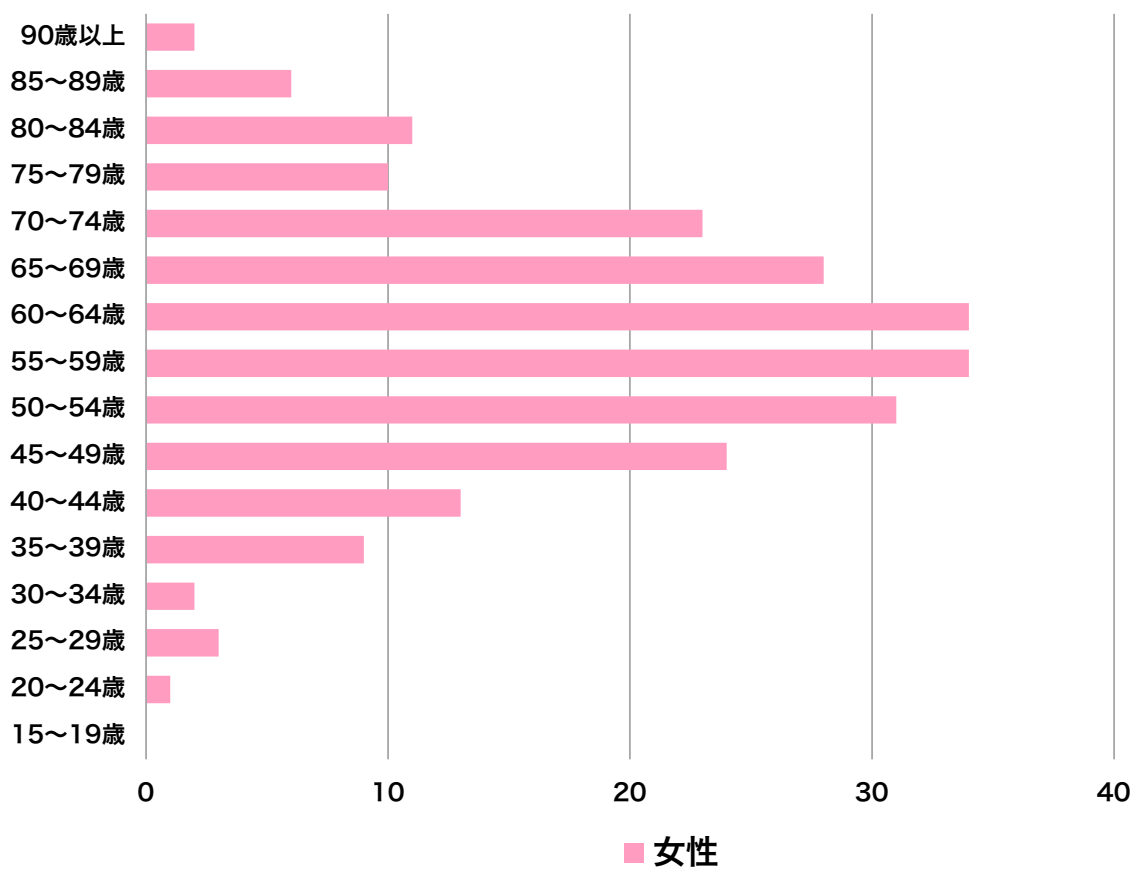


子宮（頸部） 初回治療法 施設別

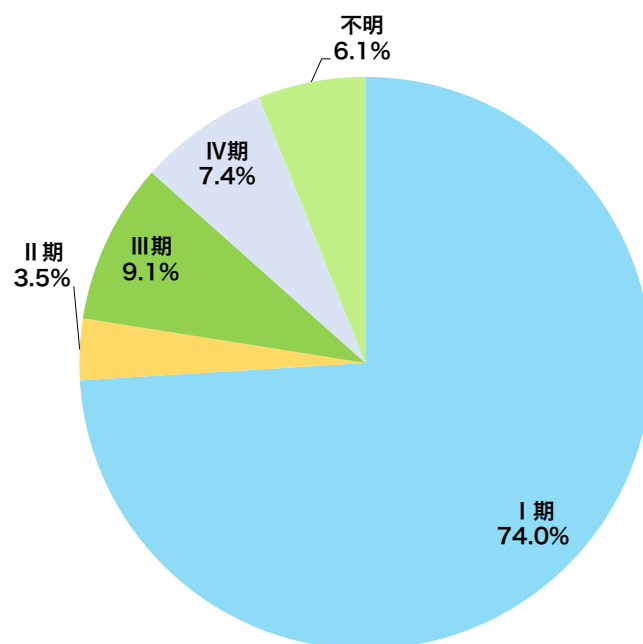


子宮（体部）

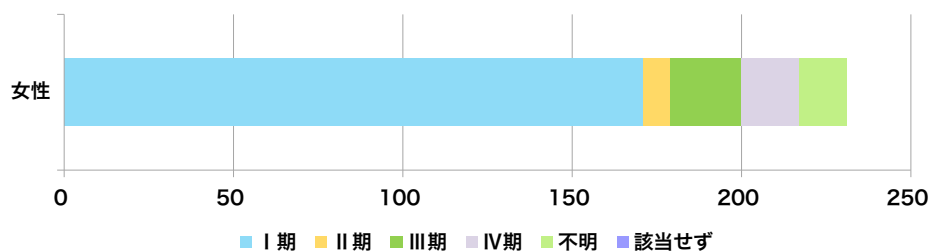
子宮（体部） 年齢階級別



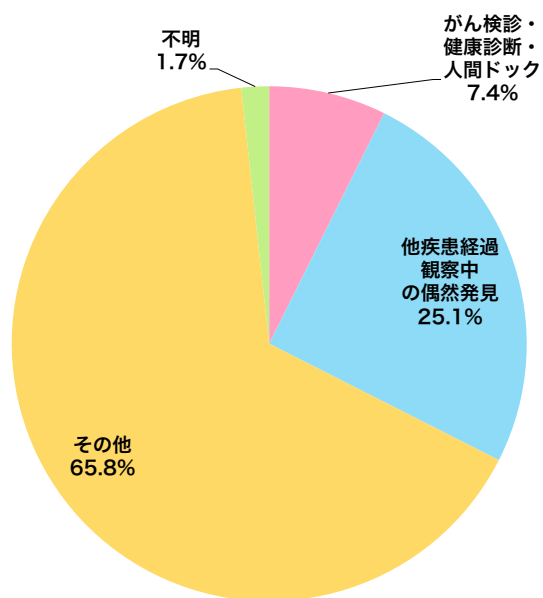
子宮（体部） ステージ 全体



子宮（体部） ステージ 性別



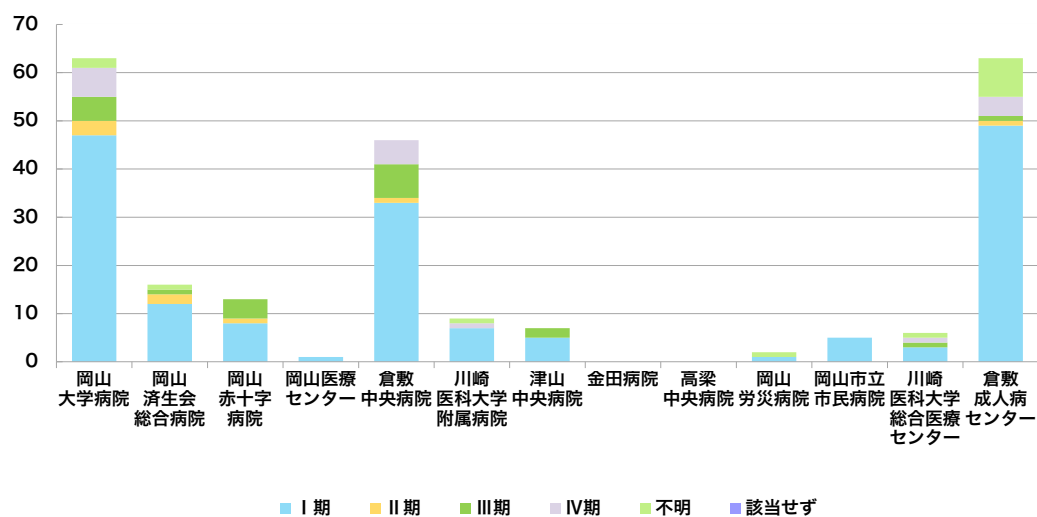
子宮（体部） 発見経緯 全体



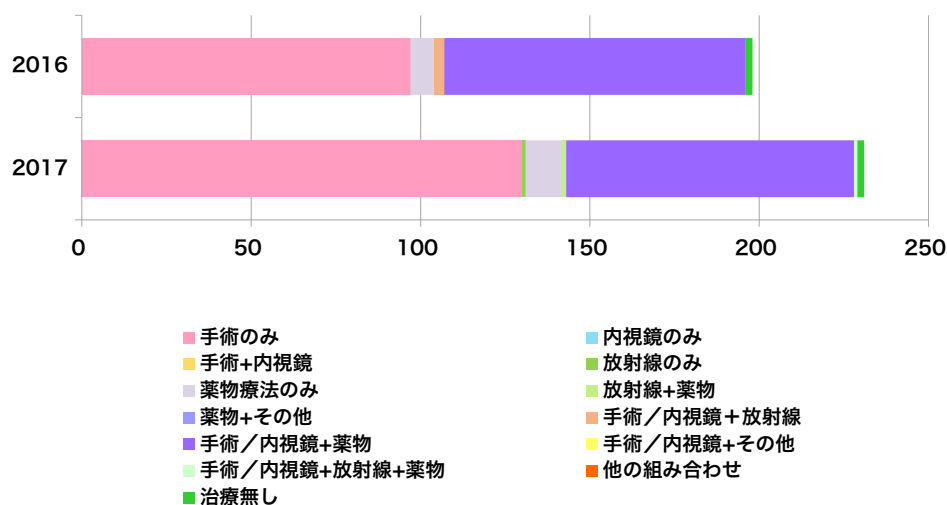
※その他…自覚症状による受診を含む

発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	17
他疾患経過観察中の偶然発見	58
その他	152
不明	4~6
合計	231

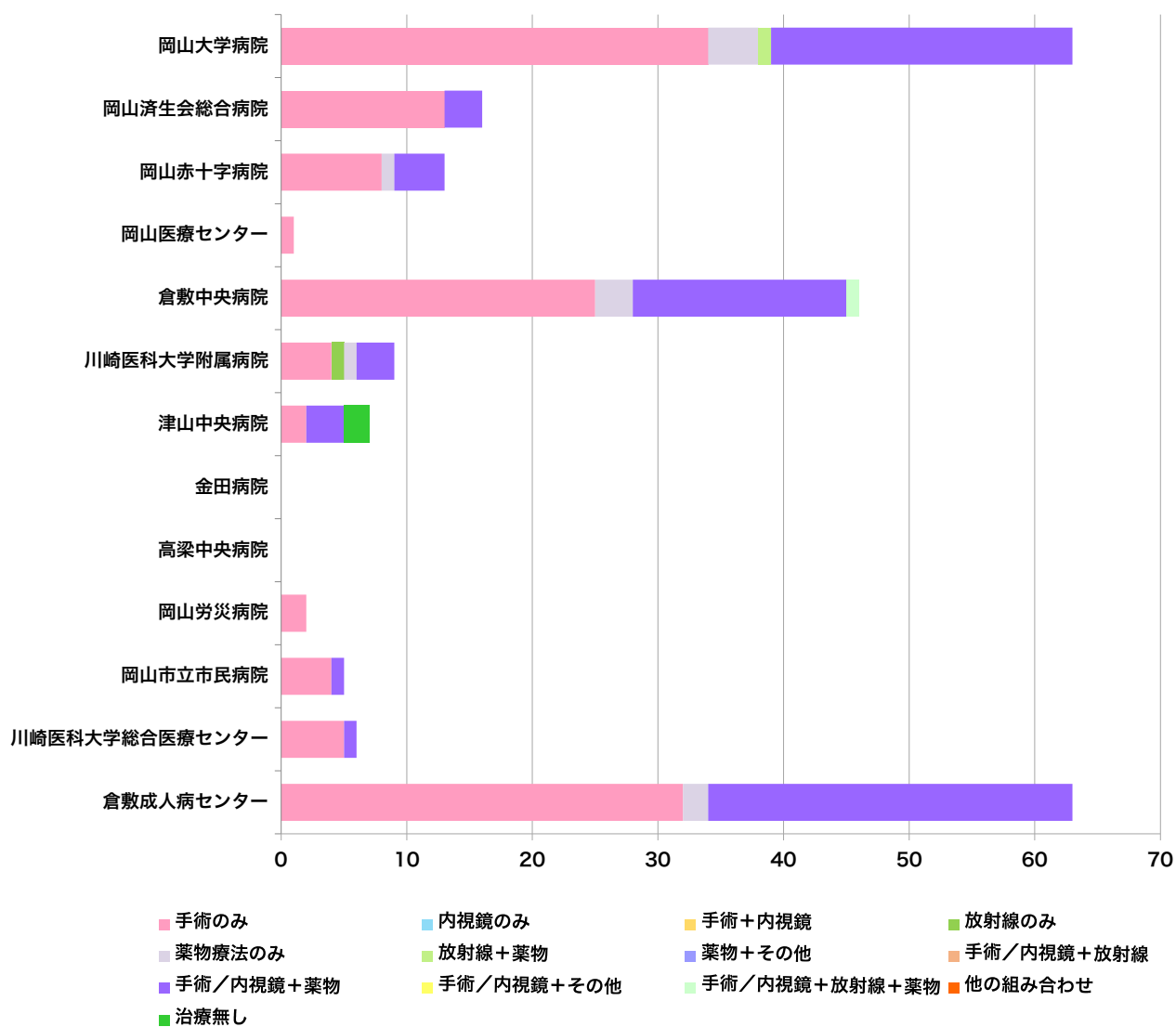
子宮（体部） ステージ 施設別



子宮（体部） 初回治療法 年次推移

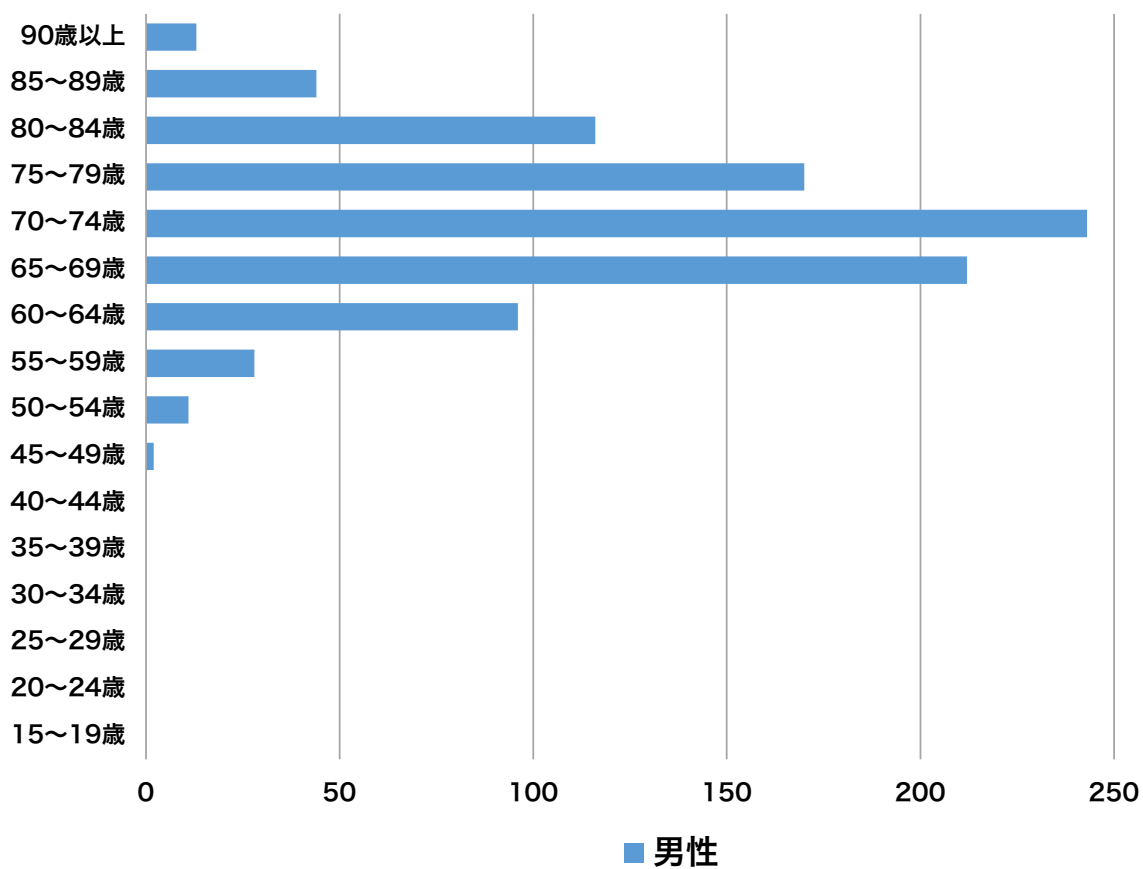


子宮（体部） 初回治療法 施設別

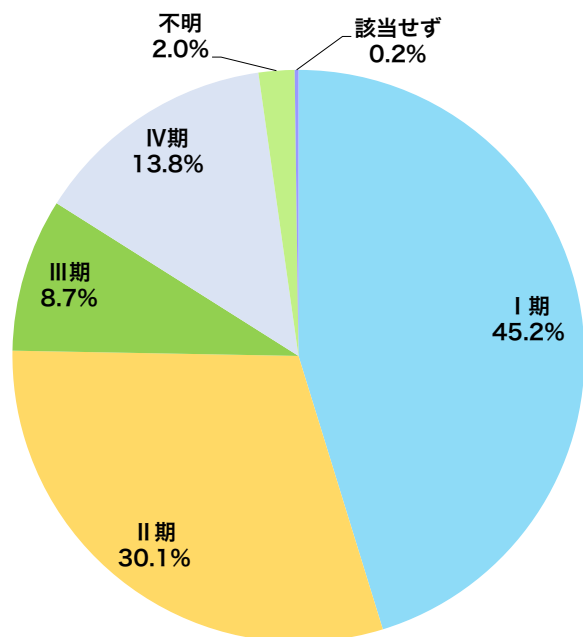


前立腺

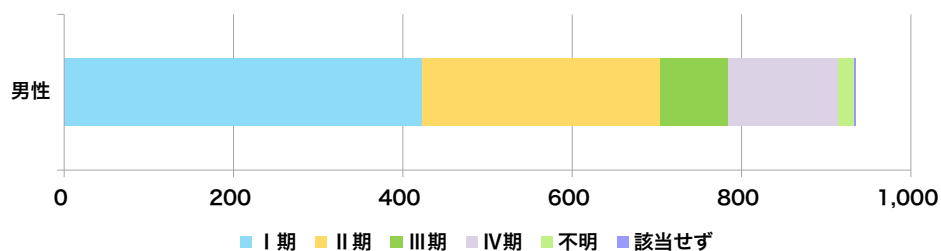
前立腺 年齢階級別



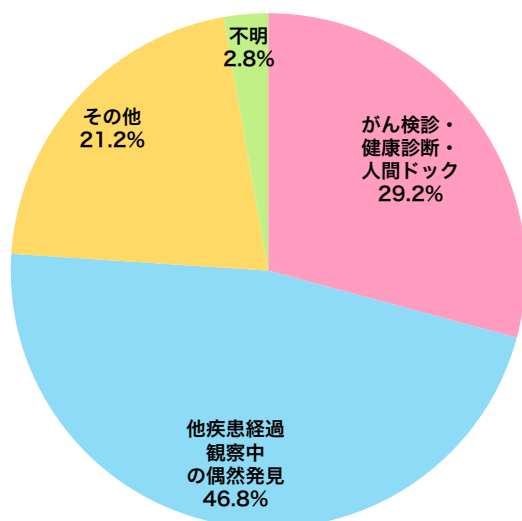
前立腺 ステージ 全体



前立腺 ステージ 性別



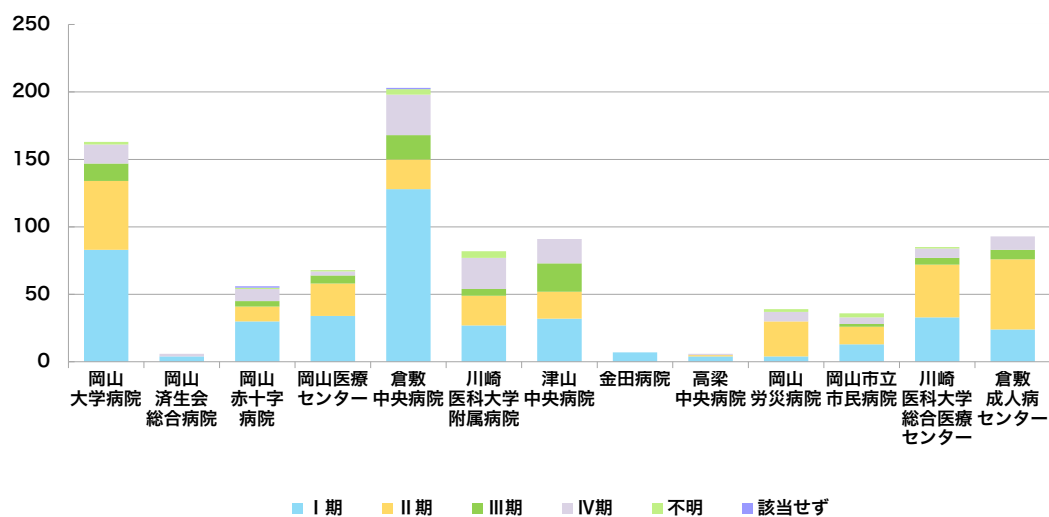
前立腺 発見経緯 全体



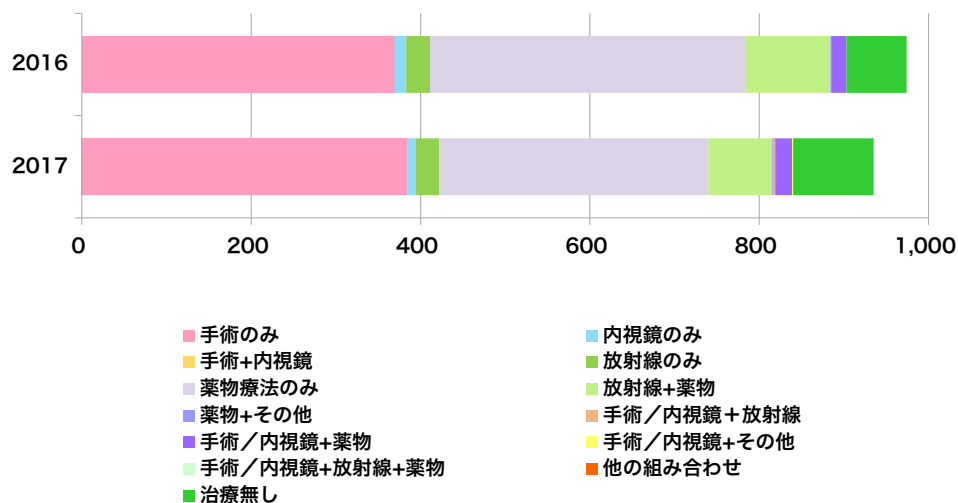
※その他…自覚症状による受診を含む

発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	273
他疾患経過観察中の偶然発見	438
その他	198
不明	26
合計	935

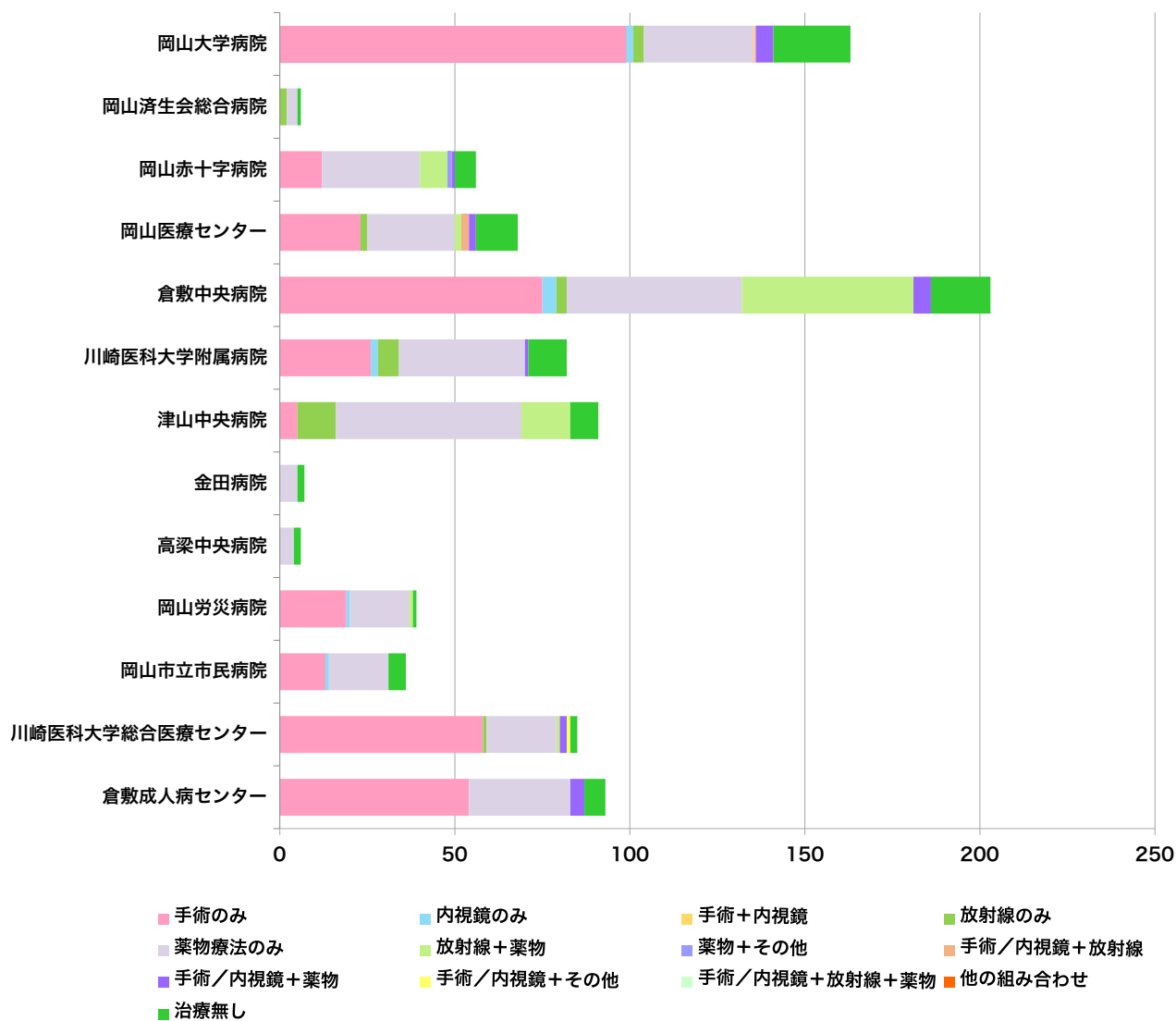
前立腺 ステージ 施設別



前立腺 初回治療法 年次推移

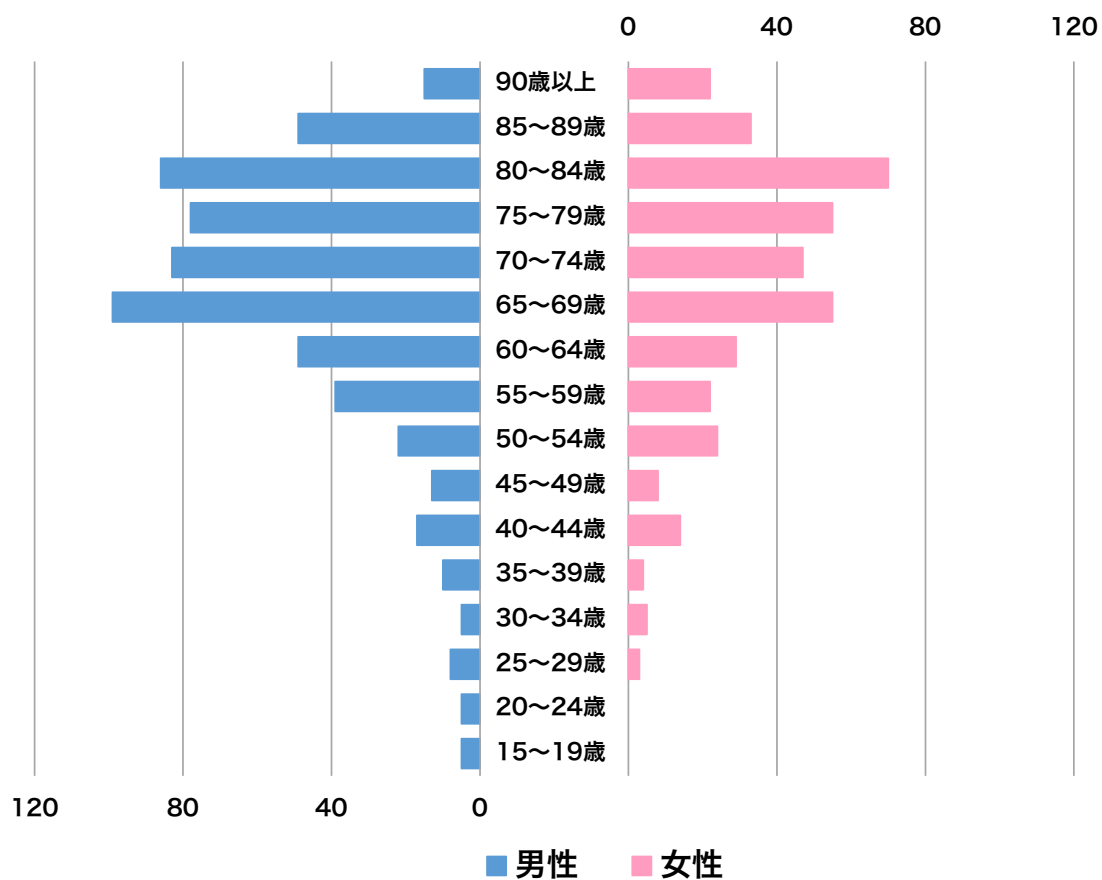


前立腺 初回治療法 施設別



血液腫瘍

血液腫瘍 年齡階級別

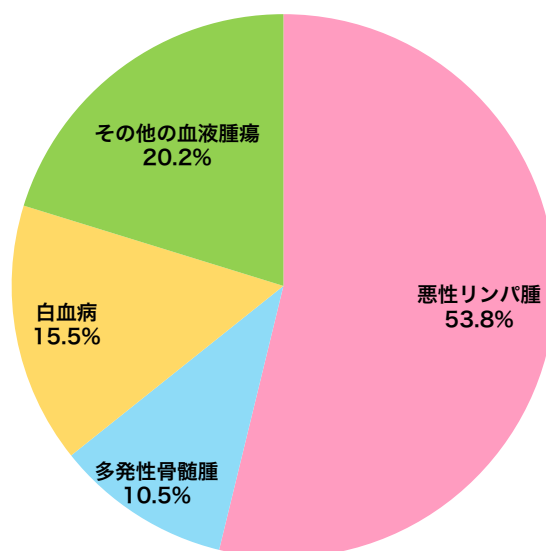


血液腫瘍 組織別登録数 年次推移

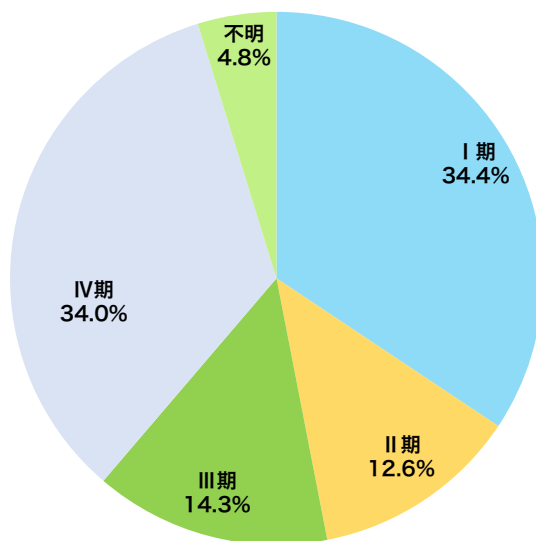
			2015	2016	2017
悪性リンパ腫	成熟B細胞リンパ腫	びまん性大細胞性B細胞型リンパ腫	236	265	241
		濾胞性リンパ腫	96	74	105
		辺縁層B細胞性リンパ腫	64	66	64
		成熟B細胞リンパ腫	32	27	31
	成熟T細胞及びNK細胞リンパ腫		60	38	43
	ホジキンリンパ腫		20	21	21
	悪性リンパ腫他		12	15	19
多発性骨髄腫			103	107	102
成人T細胞白血病／リンパ腫			7~9	7~9	4~6
白血病	慢性骨髄性白血病		25	37	37
	急性骨髄性白血病		70	79	76
	慢性リンパ性白血病		14	4~6	7~9
	急性リンパ性白血病		11	15	17
	白血病他		11	14	7~9
その他の血液腫瘍	骨髄異形成症候群		129	128	141
	慢性骨髄増殖性疾患		51	39	38
	その他※		7~9	7~9	18
合計			950	946	974

※9988/3：骨髄異形成症候群に伴う急性白血球など

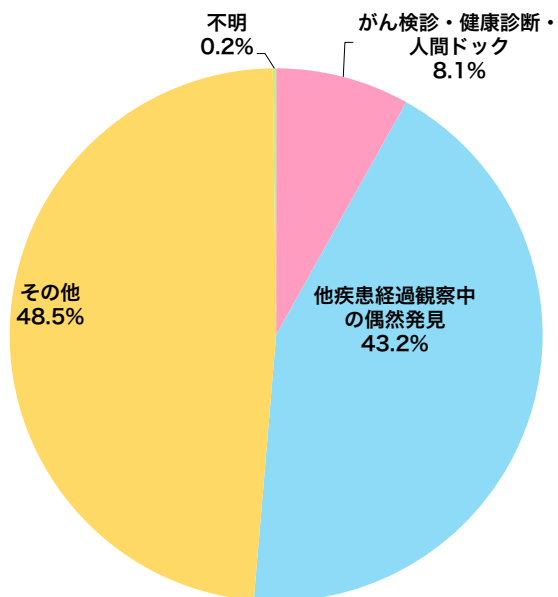
血液腫瘍 組織別登録数 割合（2017年症例）



血液腫瘍（悪性リンパ腫） ステージ 全体



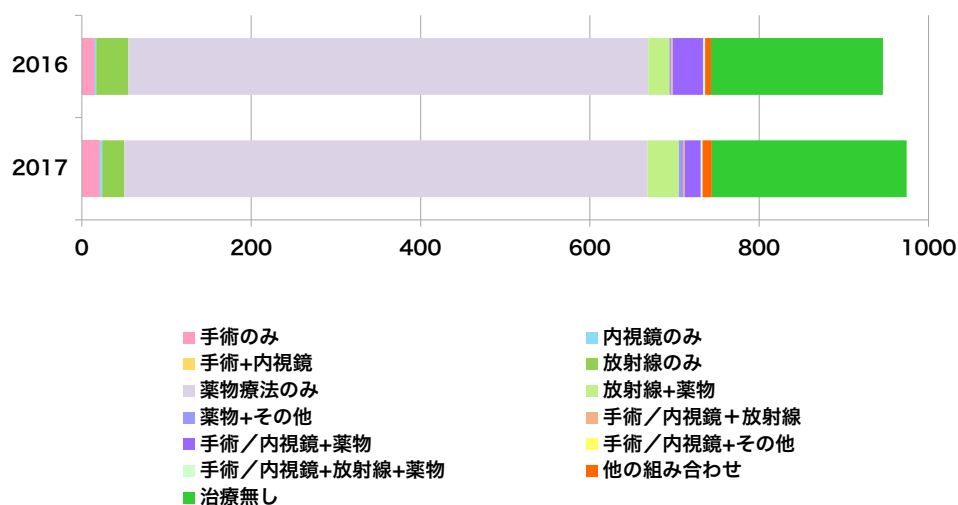
血液腫瘍 発見経緯 全体



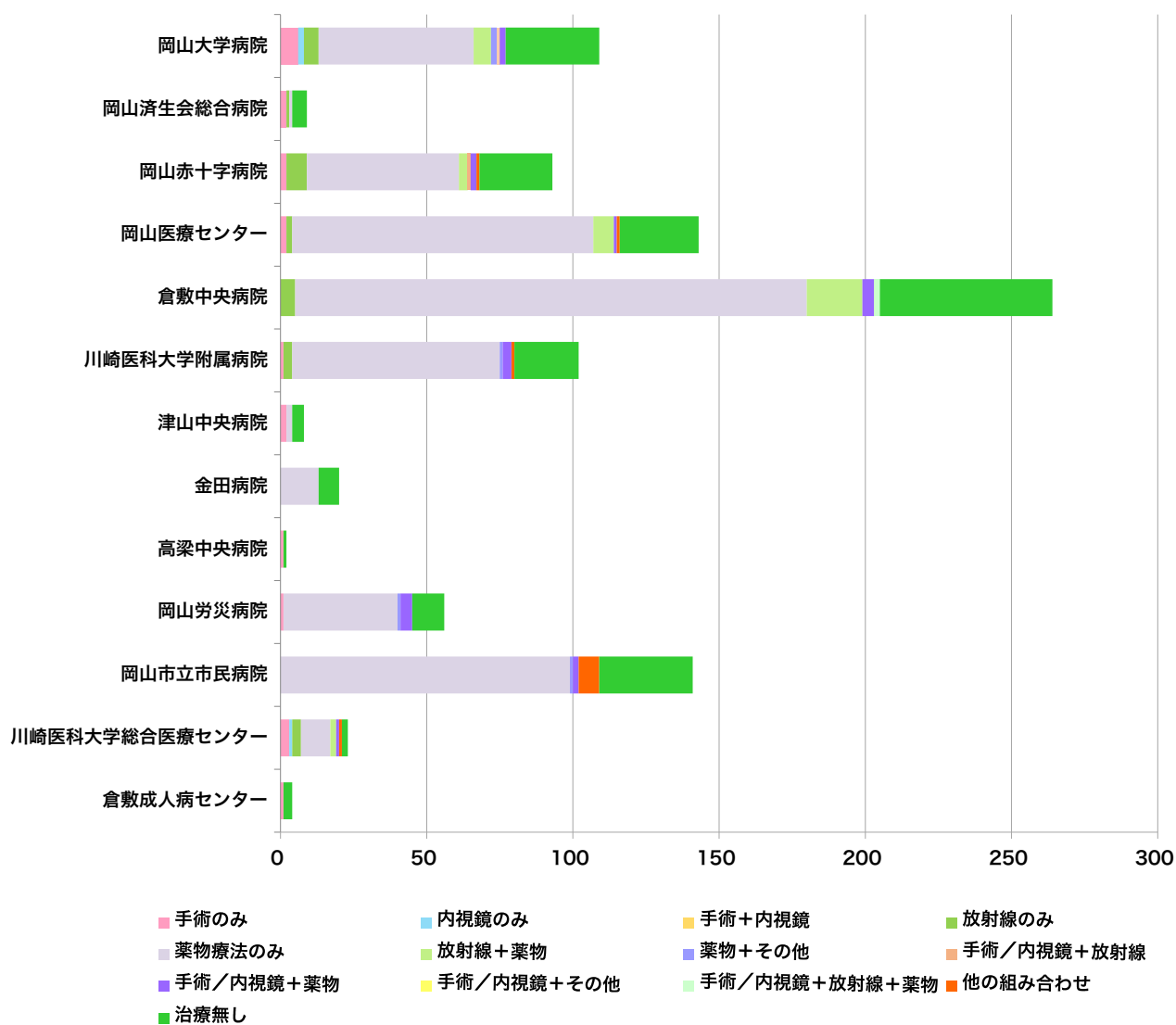
発見経緯	登録数
がん検診・健康診断・人間ドック	79
他疾患経過観察中の偶然発見	421
その他	472
不明	1~3
合計	974

※その他…自覚症状による受診を含む

血液腫瘍 初回治療法 年次推移



血液腫瘍 初回治療法 施設別



発 行 岡山県がん診療連携協議会事務局（岡山大学病院）

発行日 2020 年 3 月

本報告書に関する問合せ先

岡山県がん診療連携協議会事務局 岡山大学病院医事課

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1

電話 086-235-7072

印 刷 友野印刷株式会社